

科目名	キャリア教育（1）	必修選択	必修	年次	1	担当教員	相原充伸
		授業形態	講義	総時間（単位）	30 2単位		
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一						
教員の略歴							
授業の学習内容	<p>滋慶学園が提示するキャリア教育マップを基に社会に出た後に「職業人」として成立するための人間教育を行う。ワークショップやグループワークを行うことでクラスの意識付けを行い、「社会（クラス）」のなかの役割のなかで主体的に行動できる人材育成を目指す。</p> <p>キャリアセンターと共に就職活動における教育を行う。</p>						
到達目標	<p>社会人基礎力（主要である「主体性」「働きかけ力」「実行力」「課題発見力」「計画力」「想像力」「傾聴力」「発信力」「チームワーク力」）を理解する。</p> <p>「社会（クラス）」のなかで役割を見つけ主体的に行動できる。</p>						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点□						

授業計画・内容													
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習	時間外学習(学習課題)								
1		演習	クラスのノームの意識付を行い「学生生活の基盤」を作る、クラス目標の作成を行う	配布プリントを記入し次回提出									
2		講義	「主体性」：状況を読みとり自分のすべきことを見つけて行動することが出来るようになる	配布プリントを記入し次回提出									
3		演習	起こり得る学校行事においての学生の状況やモチベーションを説明し、計画的に主体的行動がとれるよう考え方させる	配布プリントを記入し次回提出									
4		講義	「傾聴力」：人の話を聞くことの重要性を知り、相手との信頼関係を作ることから仕事とは何かを知る	配布プリントを記入し次回提出									
5		講義	「発信力」：伝える内容をわかりやすく伝える力を学ぶ	配布プリントを記入し次回提出									
6		演習	「傾聴力」「発信力」をワークショップ形式で実践させ 講義で覚えるだけでなく行動出来るようにする	配布プリントを記入し次回提出									
7		講義	イベントスタッフとして活動する上での言葉遣いやマナーを学ぶ	配布プリントを記入し次回提出									
8		講義	学園祭やイベントを通じて自分自身の課題を見出し、解決していく力を養う	配布プリントを記入し次回提出									
9		講義	日常スコアシートを用い、仕事の上での自分の特性を知り自己理解を深める	配布プリントを記入し次回提出									
10		講義	「計画力」：計画的に行動する力を学ぶ	配布プリントを記入し次回提出									
11		演習	「実行力」：目標を設定して着実に行動する力を学ぶ	配布プリントを記入し次回提出									
12		講義	「課題発見力」：今の状況から課題を見つける力を学ぶ	配布プリントを記入し次回提出									
13		講義	夏休みに入るにあたり現場での態度・マナーや「明日への扉」について説明しやる気や成長に繋げる	配布プリントを記入し次回提出									
14		実習	イベント・実戦を通して、達成感やチームワークを学ぶ	レポート提出									
15		実習	イベント・実戦を通して、達成感やチームワークを学ぶ	レポート提出									
準備学習 時間外学習		各課題に向けて自主的に取り組む。次回の授業時に確認。											
【使用教科書・教材・参考書】													
個人作成プリント・日常スコアシート・学生サポートハンドブック													

科目名	キャリア教育（2）	必修選択	必修	年次	1	担当教員	相原充伸								
		授業形態	講義	総時間（単位）	30 2単位										
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	教員の略歴													
授業の学習内容	<p>滋慶学園が提示するキャリア教育マップを基に社会に出た後に「職業人」として成立するための人間教育を行う。1年次後期では滋慶学園グループが必修で行っている「コミュニケーションスキルアップ検定」の問題内容を基に人間教育を行う。</p> <p>また、キャリアセンターと共に就職活動における教育を行う。</p>														
到達目標	<p>社会人基礎力(主要である「主体性」「働きかけ力」「実行力」「課題発見力」「計画力」「想像力」「傾聴力」「発信力」「チームワーク力」を理解する。</p> <p>「社会(クラス)」のなかで役割を見つけ主体的に行動できる。</p> <p>コミュニケーションスキルアップ検定の合格。</p>														
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点□														

授業計画・内容													
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習	時間外学習(学習課題)								
1		講義	合同企業説明会を前にして仕事という理解を深めると共に社会の中での自分の役割とは何かを考える	配布プリントを記入し次回提出									
2		演習	「チームワーク力」：現状況と役割を理解して協力し合う大切さを学ぶ	配布プリントを記入し次回提出									
3		演習	「働きかけ力」：自力から進んで取り組む力、チームワーク力と共に必要であることを学ぶ	配布プリントを記入し次回提出									
4		演習	「創造力」：新しい価値を生み出す力をグループワークショップ方式で学ぶ	配布プリントを記入し次回提出									
5		講義	ジョブカードを用い、職業理解を深める	就職活動に挑戦したい企業一覧を記入し提出									
6		演習	【履歴書の書き方】これまで取り組んできた学内イベントを整理し、自らの経験を伝えられるようになる	学校指定履歴書の学歴欄を記入し提出									
7		演習	【履歴書の書き方】自分について伝えられるようになるため自己理解を深め客観視出来るようになる	学校指定履歴書の右欄を記入し提出									
8		演習	【履歴書の書き方】ジョブカード作成内、自分の長所・短所が伝えられるようになる	授業に引き続きジョブカードの作成を行う									
9		講義	コミュニケーションスキルアップ検定受験に伴う特別講義の実施(基本的対話スキルについて)	配布プリントを記入し次回提出									
10		講義	コミュニケーションスキルアップ検定受験に伴う特別講義の実施(自己表現スキルについて)	配布プリントを記入し次回提出									
11		講義	コミュニケーションスキルアップ検定受験に伴う特別講義の実施(社会的スキルについて)	配布プリントを記入し次回提出									
12		講義	コミュニケーションスキルアップ検定受験に伴う特別講義の実施(サービスマインドについて)	配布プリントを記入し次回提出									
13		試験	コミュニケーションスキルアップ検定試験の受験	本日の試験で出来なかった部分を各自復習									
14		実習	イベント・実戦を通して、達成感やチームワークを学ぶ	レポート提出									
15		実習	イベント・実戦を通して、達成感やチームワークを学ぶ	レポート提出									
準備学習 時間外学習		各課題に向けて自主的に取り組む。次回の授業時に確認。											
【使用教科書・教材・参考書】													
個人作成プリント・キャリアプランシート・キャリアプラン作成補助シート・ジョブカード・学生サポートハンドブック													

科目名	キャリア教育（3）	必修選択	必修	年次	2	担当教員	相原充伸								
		授業形態	講義	総時間（単位）	30 2単位										
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	教員の略歴													
授業の学習内容	<p>滋慶学園が提示するキャリア教育マップを基に社会に出た後に「職業人」として成立するための人間教育を行う。ワークショップやグループワークを行うことでクラスの意識付けを行い、「社会（クラス）」のなかの役割のなかで主体的に行動できる人材育成を目指す。</p> <p>キャリアセンターと共に就職活動における教育を行う。</p>														
到達目標	<p>社会人基礎力(主要である「主体性」「働きかけ力」「実行力」「課題発見力」「計画力」「想像力」「傾聴力」「発信力」「チームワーク力」を理解する。</p> <p>「社会（クラス）」のなかで役割を見つけ主体的に行動できる。</p>														
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点□														

授業計画・内容													
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習	時間外学習(学習課題)								
1		演習	クラスのノームの意識付を行い「学生生活の基盤」を作る、クラス目標の作成を行う	配布プリントを記入し次回提出									
2		講義	「主体性」:状況を読みとり自分のすべきことを見つけて行動することが出来るようになる	配布プリントを記入し次回提出									
3		演習	起こり得る学校行事においての学生の状況やモチベーションを説明し、計画的に主体的行動がとれるよう考え方を学ぶ	配布プリントを記入し次回提出									
4		講義	「傾聴力」:人の話を聞くことの重要性を知り、相手との信頼関係を作ることから仕事とは何かを知る	配布プリントを記入し次回提出									
5		講義	「発信力」:伝える内容をわかりやすく伝える力を学ぶ	配布プリントを記入し次回提出									
6		演習	「傾聴力」「発信力」をワークショップ形式で実践させ講義で覚えるだけでなく行動出来るようにする	配布プリントを記入し次回提出									
7		講義	イベントスタッフとして活動する上での言葉遣いやマナーを学ぶ	配布プリントを記入し次回提出									
8		講義	学園祭やイベントを通じて自分自身の課題を発見し、解決していく力を養う	配布プリントを記入し次回提出									
9		講義	エンターテイメント業界で活躍している企業の方をお招きし、職種や働き方を学ぶ	本日の感想をレポートにて提出									
10		講義	「計画力」:計画的に行動する力を学ぶ	配布プリントを記入し次回提出									
11		演習	「実行力」:目標を設定して着実に行動する力を学ぶ	配布プリントを記入し次回提出									
12		講義	「課題発見力」:今の状況から課題を見つける力を学ぶ	配布プリントを記入し次回提出									
13		講義	夏休みに入るにあたり現場での態度・マナーや「明日への扉」について説明しやる気や成長に繋げる	配布プリントを記入し次回提出									
14		実習	イベント・実戦を通して、達成感やチームワークを学ぶ	レポート提出									
15		実習	イベント・実戦を通して、達成感やチームワークを学ぶ	レポート提出									
準備学習 時間外学習		各課題に向けて自主的に取り組む。次回の授業時に確認。											
【使用教科書・教材・参考書】													
個人作成プリント・日常スコアシート・学生サポートハンドブック													

科目名	キャリア教育(4)	必修選択	必修	年次	2	担当教員	相原充伸
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業形態	講義	総時間(単位)	30 2単位		
教員の略歴							
授業の学習内容	滋慶学園が提示するキャリア教育マップを基に社会に出た後に「職業人」として成立するための人間教育を行う。ワークショップやグループワークを行うことでクラスの意識付けを行い、「社会(クラス)」のなかの役割のなかで主体的に行動できる人材育成を目指す。キャリアセンターと共に就職活動における教育を行う。						
到達目標	社会人基礎力(主要である「主体性」「働きかけ力」「実行力」「課題発見力」「計画力」「想像力」「傾聴力」「発信力」「チームワーク力」を理解する。「社会(クラス)」のなかで役割を見つけ主体的に行動できる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点□						

授業計画・内容													
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習	時間外学習(学習課題)								
1		講義	合同企業説明会を前にして仕事という理解を深めると共に社会の中での自分の役割とは何かを考える	配布プリントを記入し次回提出									
2		演習	「チームワーク力」: 現状況と役割を理解して協力し合う大切さを学ぶ	配布プリントを記入し次回提出									
3		演習	「働き欠け力」: 自分から進んで取り組む力、チームワーク力と共に必要であることを学ぶ	配布プリントを記入し次回提出									
4		演習	「創造力」: 新しい価値を生み出す力をグループワークショップ方式で学ぶ	配布プリントを記入し次回提出									
5		講義	ジョブカードを用い、職業理解を深める	就職活動に挑戦したい企業一覧を記入し提出									
6		演習	【履歴書の書き方】これまで取り組んできた子内イベントを整理し、自らの経験を伝えられるようになる	学校指定履歴書の学歴欄を記入し提出									
7		演習	【履歴書の書き方】自分について伝えられるようになるため自己理解を深め客観視出来るようになる	学校指定履歴書の右欄を記入し提出									
8		演習	【履歴書の書き方】ジョブカード作成内、自分の長所・短所が伝えられるようになる	授業に引き続きジョブカードの作成を行う									
9		講義	エンターテイメント業界で活躍している企業の方をお招きし、職種や働き方を学ぶ	配布プリントを記入し次回提出									
10		講義	日常スコアシートを用い、仕事の上での自分の特性を知り自己理解を深める	配布プリントを記入し次回提出									
11		講義	SMBCファイナンスの方をお招きし、マネー講座を開催、社会人になった時に掛かるお金について学ぶ	配布プリントを記入し次回提出									
12		講義	社会に出る際のビジネスマナー・身なり・挨拶の大切さを学ぶ	配布プリントを記入し次回提出									
13		講義	社会に出る際のビジネスマナー・メールのやり取り・座席位置	本日の試験で出来なかった部分を各自復習									
14		実習	イベント・実戦を通して、達成感やチームワークを学ぶ	レポート提出									
15		実習	イベント・実戦を通して、達成感やチームワークを学ぶ	レポート提出									
準備学習 時間外学習		各課題に向けて自主的に取り組む。次回の授業時に確認。											
【使用教科書・教材・参考書】													
個人作成プリント・キャリアプランシート・キャリアプラン作成補助シート・ジョブカード・学生サポートハンドブック													

科目名	PCスキルアップ(1)	必修選択	必修	年次	1	担当教員	唐澤 淳								
		授業形態	講義	総時間(単位)	30 2単位										
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	教員の略歴													
授業の学習内容	<p>Excelを中心に基本的な使い方から、現場で役立つ応用まで1年かけて身につけていく。Microsoftの検定を取れるようにするのではなく、あくまでも業界でよく使われたり役立つ部分に特化して即戦力をを目指してスキルを身に付けます。</p> <p>現在の就職におけるパソコンスキルは必須となっており、またその求められるレベルは年々上がってきています。テクノロジーの進化と最新のソフトウェアにも対応が求められるため、習得すべきスキルは多いのですが、エンタメ業界で働く上で最低限のスキルを効率よく習得できるように授業は進めています。</p>														
到達目標	<p>以下の3点が達成出来るようになることを目標としている。</p> <p>(1)Excelの基本的な使い方(表のデザイン、計算式)を身につける。</p> <p>(2)PowerPointの基本的な使い方を身につけプレゼンテーションスキルを上げる。</p> <p>(3)Wordの基本的な使い方を身につける。</p>														
評価方法と基準	<p>1. レポート提出(%) : 50%</p> <p>2. 筆記課題(%) : 50%</p>														

授業計画・内容													
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習	時間外学習(学習課題)								
1		講義	WindowsとMacの違いを理解する。ショートカットキーが使えるようになる。	キーボード配列を覚える。ショートカットを覚える。									
2		講義	【Excel】罫線について、表の作り方を理解する。	セルの仕組みを覚え、エクセルの基本操作を覚えることを目標に提示した課題の表を作成する。									
3		講義	【Excel】表の作り方／タイムテーブルの横軸が作成出来るようになる。	授業内課題を30分以内で作れることを目標に提示した課題の表を作成する。									
4		講義	【Excel】表の作り方／タイムテーブルの縦軸が作成出来るようになる。	授業内課題を30分以内で作れることを目標に提示した課題の表を作成する。									
5		講義	【Excel】表と計算式／動員集計表を理解する。	計算式の仕組みを覚えることを目標に提示した課題の表を作成する。									
6		講義	【Excel】表と計算式／動員集計表が作成出来るようになる。	授業内課題を45分以内で作れるようにすることを目標に提示した課題の表を作成する。									
7		講義	【Excel】表と計算式／売り上げ管理表から数字を理解出来るようになる。	授業内で扱った数式の仕組みを覚えることを目標に提示した課題の表を作成する。									
8		講義	【Excel】表と計算式／売り上げ管理表を理解する。作成出来るようになる。	授業内で扱った数式の仕組みを覚えることを目標に提示した課題の表を作成する。									
9		講義	【Excel】表と計算式／テストの平均点を理解し、作成出来るようになる。	授業内で扱った数式の仕組みを覚えることを目標に提示した課題の表を作成する。									
10		講義	【Excel】表と計算式／予算表を作成出来るようになる。	授業内課題を60分以内で作れるようにすることを目標に提示した課題の表を作成する。									
11		講義	【Excel】表と計算式／請求書を作成出来るようになる。	授業内課題を45分以内で作れるようにすることを目標に提示した課題の表を作成する。									
12		講義	【Excel】图形描画／イベントシートとステージ簡易図面が作成出来るようになる。	造形描画の種類を使いたいを覚えることを目標に提示した課題の图形を作成する。									
13		講義	【Excel】图形描画／イベントシートとステージ簡易図面が作成出来るようになる。	授業内課題を60分以内で作れるようにすることを目標に提示した課題の表を作成する。									
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出									
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出									
準備学習 時間外学習		各課題に向けて自主的に取り組む。次回の授業時に確認。											
【使用教科書・教材・参考書】													
インターネット & ホームページ													

科目名	PCスキルアップ(2)	必修選択	必修	年次	1	担当教員	唐澤 淳								
		授業形態	講義	総時間(単位)	30 2単位										
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	教員の略歴													
授業の学習内容	<p>Excelを中心に基本的な使い方から、現場で役立つ応用まで1年かけて身につけていく。Microsoftの検定を取れるようにするのではなく、あくまでも業界でよく使われたり役立つ部分に特化して即戦力をを目指してスキルを身に付けます。</p> <p>現在の就職におけるパソコンスキルは必須となっており、またその求められるレベルは年々上がってきています。テクノロジーの進化と最新のソフトウェアにも対応が求められるため、習得すべきスキルは多いのですが、エンタメ業界で働く上で最低限のスキルを効率よく習得できるように授業は進めています。</p>														
到達目標	<p>以下の3点が達成出来るようになることを目標としている。</p> <p>(1)Excelの基本的な使い方(表のデザイン、計算式)を身につける。</p> <p>(2)PowerPointの基本的な使い方を身につけプレゼンテーションスキルを上げる。</p> <p>(3)Wordの基本的な使い方を身につける。</p>														
評価方法と基準	<p>1. レポート提出(%) : 50%</p> <p>2. 筆記課題(%) : 50%</p>														

授業計画・内容															
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習	時間外学習(学習課題)										
1		講義	【PowerPoint】PPの基本仕様、Word、Excelとの互換性を理解する	スライド3枚で自分のお気に入り紹介資料を作成する。											
2		演習	【PowerPoint】スライドマスタを理解し、用途に合ったスタイルを使用することが出来る	スライドマスタを理解して、マスタを5種類作る。											
3		演習	【PowerPoint】挿入出来る種類の図と挿入方法を理解して、プロフィールシートを作成する	授業内で作ったプロフィールシート以外で1種類作る。											
4		演習	【PowerPoint】プレゼンテーション資料の作成:スライドを理解し、設定出来るようになる	これまで作成した資料をスライド設定させる。											
5		演習	【PowerPoint】プレゼンテーション資料の作成:アニメーションを理解し、効果的に設定できるようになる	これまで作成した資料にアニメーションを加える。											
6		演習	【Excel】作業工程表の作成が出来るようになる	授業内課題に取りかかるにあたり作業行程表を作成する。											
7		演習	【Word】段組、文字の回り込みを理解し、プレゼンテーション原稿を作成する	Wordの基本的な仕組みを復習する目的に新聞を作成する。											
8		実習	これまで学んだ総まとめとしてプレゼンテーション資料(原稿・アニメーション付)を作成する	次回プレゼンテーション発表が出来るように練習しておく。											
9		実習	PC設定も自分で行い、プレゼンテーションを発表する	他人の発表を見てどのパワーポイントが効果的に伝わったかを考察し800字以内で提出。											
10		演習	PowerPointとExcel・Word全てのソフトを使用し自己紹介を行うための資料を作成する。	次回の発表に向けて準備を行う。											
11		実習	PowerPointとExcel・Word全てのソフトを使用し自己紹介の発表を行う。	他人の発表を見てどの資料が効果的に伝わったかを考察し800字以内で提出。											
12		演習	【PowerPoint】進級制作展を校内宣伝するための資料を作成する	資料を基に各校舎教職員に確認してもらい校内放送してもらう。											
13		演習	【PowerPoint】卒業制作展を校内宣伝するための資料を作成する	資料を基に各校舎教職員に確認してもらい校内放送してもらう。											
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出											
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出											
準備学習 時間外学習		各課題に向けて自主的に取り組む。次回の授業時に確認。													
【使用教科書・教材・参考書】															
インターネット & ホームページ															

科目名	舞台知識(A)(1)	必修選択	選択	年次	1	担当教員	江見 千尋
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業形態	講義	総時間(単位)	60 4単位		
教員の略歴							
授業の学習内容	劇場や舞台の機構、使用する物の名称や使い方、仕事の段取りなど舞台の仕事をしていく上で必要と思われる基本的な知識を身につける。						
到達目標	学生は、舞台を制作していく上で必要な基本的事柄を学習し身につけることで実際の現場に入っても他のスタッフとコミュニケーションを円滑に行いスムーズな業務を遂行できるようになる。						
評価方法と基準	レポート課題提出30% 筆記による舞台知識を測る期末試験の得点で評価 70%						

授業計画・内容													
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習	時間外学習(学習課題)								
1		講義	舞台用語を習得する。	習った舞台用語を復習し、覚える。									
2		講義	劇場/舞台という空間についての知識を習得する。	本日の授業を基に出された課題を提出する。									
3		講義	劇場やホールの種類と形状を習得する。	本日の授業を基に出された課題を提出する。									
4		講義	搬入・搬出方法を習得する。	本日の授業を基に出された課題を提出する。									
5		講義	吊りものの種類を習得する。	本日の授業を基に出された課題を提出する。									
6		講義	吊り方の理論を習得する。	舞台平面図にバトン位置を記入する									
7		講義	照明卓の操作方法を習得する。	舞台断面図に照明バトンを記入する									
8		講義	幕の吊りものの種類を取得する。	本日の授業を基に出された課題を提出する。									
9		講義	幕の吊り方・照明のシートの作業方法を習得する。	本日の授業を基に出された課題を提出する。									
10		講義	緞帳の操作方法を習得する。	本日の授業を基に出された課題を提出する。									
11		講義	舞台道具(箱馬・平台)の説明や使い方を習得する。	平台、箱馬などを図面化する									
12		講義	舞台道具(トラス・バトン)の説明や使い方を習得する。	本日の授業を基に出された課題を提出する。									
13		講義	「明日への扉」を題材に舞台機構を学ぶ①	本日の授業を基に出された課題を提出する。									
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出									
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出									
準備学習 時間外学習		各課題に向けて自主的に取り組む。次回の授業時に確認。											
【使用教科書・教材・参考書】													
「ステージ・PA・照明用語辞典」 リットーミュージック													

科目名	舞台知識(A)(2)	必修選択	選択	年次	1	担当教員 江見 千尋	
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業形態	講義	総時間(単位)	60 4単位		
教員の略歴							
授業の学習内容	運営・制作以外の裏方の仕事の段取りなど舞台の仕事をしていく上で必要と思われる基本的な知識を身につける。						
到達目標	舞台を制作していく上で必要な基本的事柄を学習し身につけることで実際の現場に入って他のスタッフとコミュニケーションを円滑に行いスムーズな業務を遂行できるようになる。						
評価方法と基準	舞台知識を問う課題提出 30% 知識を活かし、進級制作展への積極的な参加により、コミュニケーションを図り仕事が円滑に出来たかを演習を通して評価 70%						

授業計画・内容									
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習	時間外学習(学習課題)				
1		講義	舞台装置の種類と効果を習得する	本日の授業を基に出された課題を提出する。					
2		講義	舞台美術で使用する道具について習得する	教室の平面図を作成する					
3		講義	舞台の空間認識について習得する	舞台美術を自分自身でプランする					
4		講義	舞台の寸法・縮尺の知識について習得する	本日の授業を基に出された課題を提出する。					
5		講義	舞台で使用する図の解釈と使用方法を習得する	教室の平面図を作成する					
6		講義	舞台の流れ（段取り・音響の流れに関して）を習得する	PAエンジニアコースから「明日への扉」時の流れを聞きレポートにて提出					
7		講義	音響が実際に使う機材を時間の流れに沿って習得する	本日の授業を基に出された課題を提出する。					
8		講義	舞台の流れ（段取り・照明の流れに関して）	照明スタッフコースから「明日への扉」時の流れを聞きレポートにて提出					
9		講義	照明が実際に使う機材を時間の流れに沿って習得する	本日の授業を基に出された課題を提出する。					
10		講義	舞台の流れ（段取り・舞台監督の流れに関して）	舞台制作スタッフコースから「明日への扉」時の流れを聞きレポートにて提出					
11		講義	舞台監督が実際に使う機材を時間の流れに沿って習得する	本日の授業を基に出された課題を提出する。					
12		講義	筆記復習テスト	試験にて出来なかった部分を復習する。					
13		講義	進級制作展で使用する実際の図面や資料を見て流れを舞台の流れを習得する。	進級制作展の図面資料を元にレポートの作成。					
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出					
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出					
準備学習 時間外学習		各課題に向けて自主的に取り組む。次回の授業時に確認。							
【使用教科書・教材・参考書】									
「ステージ・PA・照明用語辞典」 リットーミュージック									

科目名	舞台知識(B)(1)	必修選択	選択	年次	1	担当教員	江見 千尋
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業形態	講義	総時間(単位)	30 2単位		
教員の略歴							
授業の学習内容	劇場や舞台の機構、使用する物の名称や使い方、仕事の段取りなど舞台の仕事をしていく上で必要と思われる基本的な知識を身につける。						
到達目標	学生は、舞台を制作していく上で必要な基本的事柄を学習し身につけることで実際の現場に入っても他のスタッフとコミュニケーションを円滑に行いスムーズな業務を遂行できるようになる。						
評価方法と基準	レポート課題提出30% 筆記による舞台知識を測る期末試験の得点で評価 70%						

授業計画・内容											
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習	時間外学習(学習課題)						
1		講義	舞台用語を習得する	習った舞台用語を復習し、覚える。							
2		講義	劇場/舞台という空間についての知識を習得する	本日の授業を基に出された課題を提出する。							
3		講義	劇場やホールの種類と形状を習得する	本日の授業を基に出された課題を提出する。							
4		講義	搬入・搬出方法を習得する	本日の授業を基に出された課題を提出する。							
5		講義	吊りものの種類を習得する	本日の授業を基に出された課題を提出する。							
6		講義	吊り方を習得する	舞台平面図にバトン位置を記入する							
7		講義	照明卓の操作方法を習得する	舞台断面図に照明バトンを記入する							
8		講義	幕の吊りものの種類を取得する	本日の授業を基に出された課題を提出する。							
9		講義	幕の吊り方・照明のシートの作業方法を習得する	本日の授業を基に出された課題を提出する。							
10		講義	緞帳の操作方法を習得する	本日の授業を基に出された課題を提出する。							
11		講義	舞台道具(箱馬・平台)の説明や使い方を習得する	平台、箱馬などを図面化する							
12		講義	舞台道具(トラス・バトン)の説明や使い方を習得する	本日の授業を基に出された課題を提出する。							
13		講義	「明日への扉」運営・制作スタッフとして参加し、舞台を創る。	本日の授業を基に出された課題を提出する。							
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出							
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出							
準備学習 時間外学習			各課題に向けて自主的に取り組む。次回の授業時に確認。								
【使用教科書・教材・参考書】 「ステージ・PA・照明用語辞典」 リットーミュージック											

科目名	舞台知識(B)(2)	必修選択	選択	年次	1	担当教員	江見 千尋
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業形態	講義	総時間(単位)	30 2単位		
教員の略歴							
授業の学習内容	運営・制作以外の裏方の仕事の段取りなど舞台の仕事をしていく上で必要と思われる基本的な知識を身につける。						
到達目標	舞台を制作していく上で必要な基本的事柄を学習し身につけることで実際の現場に入って他のスタッフとコミュニケーションを円滑に行いスムーズな業務を遂行できるようになる。						
評価方法と基準	舞台知識を問う課題提出 30% 知識を活かし、進級制作展への積極的な参加により、コミュニケーションを図り仕事が円滑に出来たかを演習を通して評価 70%						

授業計画・内容																	
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習	時間外学習(学習課題)												
1		講義	舞台装置の種類と効果を習得する	本日の授業を基に出された課題を提出する。													
2		講義	舞台美術で使用する道具について習得する	教室の平面図を作成する													
3		講義	舞台の空間認識について習得する	舞台美術を自分自身でプランする													
4		講義	舞台の寸法・縮尺の知識について習得する	本日の授業を基に出された課題を提出する。													
5		講義	舞台で使用する図の解釈と使用方法を習得する	教室の平面図を作成する													
6		講義	舞台の流れ（段取り・音響の流れに関して）を習得する	PAエンジニアコースから「明日への扉」時の流れを聞きレポートにて提出													
7		講義	音響が実際に使う機材を時間の流れに沿って習得する	本日の授業を基に出された課題を提出する。													
8		講義	舞台の流れ（段取り・照明の流れに関して）	照明スタッフコースから「明日への扉」時の流れを聞きレポートにて提出													
9		講義	照明が実際に使う機材を時間の流れに沿って習得する	本日の授業を基に出された課題を提出する。													
10		講義	舞台の流れ（段取り・舞台監督の流れに関して）	舞台制作スタッフコースから「明日への扉」時の流れを聞きレポートにて提出													
11		講義	舞台監督が実際に使う機材を時間の流れに沿って習得する	本日の授業を基に出された課題を提出する。													
12		講義	筆記復習テスト	試験にて出来なかった部分を復習する。													
13		講義	進級制作展で使用する実際の図面や資料を見て流れを舞台の流れを習得する。	進級制作展の図面資料を元にレポートの作成。													
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出													
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出													
準備学習 時間外学習		各課題に向けて自主的に取り組む。次回の授業時に確認。															
【使用教科書・教材・参考書】																	
「ステージ・PA・照明用語辞典」 リットーミュージック																	

科目名	音楽史(洋楽)	必修選択	選択	年次	1	担当教員	西田 剛
		授業形態	講義	総時間(単位)	30 2単位		
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一						
教員の略歴							
授業の学習内容	<p>この授業の目的は「音楽を考える力」を育むことであり、主にヨーロッパ及びアメリカで発生し発展してきた芸術音楽について概要を学びます。 その歴史(中世～20世紀)の中で対位法、オペラ、無調性音楽などに触れ、形式を理解するとともに、音楽的な視野を広めます。</p>						
到達目標	<p>西洋音楽の進化について深い理解を示すことができる。それは、楽曲を聴いた時の分析力となり、その曲の歴史的位置づけ・意味合いがわかるようになる。 そして、自分の作品と西洋音楽を深いレベルで結びつけることができるようになる。</p>						
評価方法と基準	<p>1)定期テスト60% 2)出席数40%</p>						

授業計画・内容							
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)			
1		講義	中世の音楽音楽の始まり～グレゴリオ聖歌 教会旋法	授業の進め方(資料、音源、DVD、実演)の確認 レベルチェック:小テスト 身近なクラシック曲(あし笛の踊り)			
2		講義	ルネサンス期の音楽	配布プリント(年表、ルネサンス、バッハのメヌエット) 目標再確認、メヌエットで学ぶ対位法、ルネサンス音楽を聞く			
3		講義	バロック期の音楽（オペラ）	バロックという時代を知る。オペラの始まり1600～バッハの死1750 名作：蝶々夫人 椿姫 魔笛 コシ・ファン・トゥッテ 鑑賞 考察：オペラ歌手 ソプラノ（コロラトゥーラ、リリコ、などの違いを聴く）			
4		講義	J.S.バッハの音楽	バロックとバッハ 時代と背景 対位法、カノン形式について学習する 主よ、人の望みの喜びよ バッヘルベルのカノン オペラとオラトリオ などプリントに沿って学習			
5		講義	クラシック音楽”の時代(ハイドン、モーツアルト)	モーツアルトと古典派 ソナタ形式と交響曲の構成を理解する。K550 その他 協奏曲とはどんな音楽か説明できるようにする。			
6		小テスト 講義	ここまで のポイント整理	カノン形式、ソナタ形式、交響曲の構成、オペラとオラトリオの違いなどを言葉で説明できる。			
7		講義	クラシック音楽”の時代(ベートーベン)	ベートーベンと古典派～ロマン派の流れを理解する 交響曲「運命」(ソナタ形式)、エリーゼのために、月光など代表曲。ハイドン「天地創造」(オラトリオ)			
8		講義	初期ロマン派の音楽(シューベルト、ベルリオーズ)	ロマン派①シューベルト ベルリオーズなど考察 ショパン、シューマン、リスト、メンデルスゾーン(生だったピアノ曲) を聞きピアノという楽器の歴史を理解する。			
9		講義	後期ロマン派の音楽(ワーグナー、マーラー)	ロマン派②ワーグナー、ヴェルディ、ヨハン・シュトラウス2世、サン=サーンス、ドヴォルザーク。前回からの2週で、ロマン派の音楽が重視した人間の感情や個性を理解する。			
10		講義	20世紀の音楽 (ストラヴィン斯基)	1882-1971 初期の3作品(『火の鳥』、『ペトルーシュカ』、『春の祭典』)			
11		講義	20世紀の音楽(シェーンベルグ)ケージ、ヴェーブルン 芸術音楽	シェーンベルクを中心に20世紀の音楽 12音技法の解説 音列を知る その他(サティ、ラヴェルなど)			
12		テスト	テスト	レポート提出			
13		講義	振り返り	中世から20世紀までの時代を振り返り、曲の雰囲気がわかるようになったか確認する。オーケストラの基本編成や様々なジャンル(交響曲、協奏曲、ピアノ曲)を再認識する。			
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出			
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出			
準備学習 時間外学習							
【使用教科書・教材・参考書】							

科目名	DTP(1)	必修選択	選択	年次	1	担当教員	唐澤 淳
		授業形態					
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	講義	総時間(単位)	30 2単位			
教員の略歴							
授業の学習内容	<p>現在の就職におけるパソコンスキルは必須となっており、またその求められるレベルは年々上がってきています。テクノロジーの進化と最新のソフトウェアにも対応が求められるため、習得すべきスキルは多いのですが、エンターテイメント業界で働く上で最低限のスキルを効率よく習得できるように授業は進めています。パソコンの理解度の向上とソフトウェアのスキルの向上を目的に、現場で役立つことに特化して学んでいきます。</p>						
到達目標	<p>以下の3点が達成出来るようになることを目標としている。</p> <p>(1) Adobe Illustratorの基本的な使い方 (2) DTPの基本的な解釈と留意点 (3) デザイン的な創作の解釈と留意点</p>						
評価方法と基準	<p>1. データーレポート提出(%) : 50%</p> <p>2. 授業内課題(%) : 50%</p>						

授業計画・内容													
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習	時間外学習(学習課題)								
1		講義	【Illustrator】基本知識と機能を理解し、等級表を作成する	基礎の仕組みを覚え、慣れておくことを目標に提示した課題の表を作成する。									
2		講義	【Illustrator】名刺作成を課題に、表示・オブジェクト・テキスト入力を理解する	名刺に関するビジネスマナー(渡し方やおじぎ・挨拶等)を調べて資料として提出。									
3		講義	【Illustrator】名刺作成を課題に、レイヤー・レイアウトを理解する	次回の授業に備え名刺作成時に使用するレイヤー・レイアウトを参考し決めておく。									
4		講義	【Illustrator】名刺作成を課題に、数値を入力しての正確な移動を理解する	使い方の復習を目標に提示した課題を作成する。									
5		講義	【Illustrator】名刺作成を課題に、印刷設定を理解する	授業内で作ったもの以外に数種類作成し提出する。									
6		講義	【Illustrator】オブジェクトを使ったイラスト作成を課題に、ベジェ曲線を理解する	授業で取り組んだ同様の課題を提示し、30分以内で作成出来るようになる。									
7		講義	【Illustrator】図面作成を課題にパスツールを理解する	パスの仕組みを復習し、理解することを目標に提示した課題の表を作成する。									
8		講義	【Illustrator】図面を作成する	授業内課題を60分以内で作れるようにすることを目標に提示した図面を作成する。									
9		講義	【Illustrator】ロゴマークの作成を課題に、文字のアウトライン化・クリッピングマスクを理解する	フォント毎にアウトライン化された場合のオブジェクトを確認して修正する。									
10		講義	【Illustrator】ロゴマークの作成を課題に、画像の配置・ライptracesを理解する。	スキャンしたデータを読み込み、手書きの文字をライptracesして提出。									
11		講義	【Illustrator】これまで学習したスキルを使って地図を作成する。	授業内課題を45分以内で作れるようにすることを目標に提示した課題の表を作成する。									
12		講義	【Illustrator】フライヤーの作成を課題にパス内文字ツールを理解する。	授業内容を基に様々な文字の入力方法で入力し、データを提出する。									
13		講義	【Illustrator】フライヤーの作成を課題にエフェクト効果を理解する。	エフェクト効果を使った作品を作成し提出する。									
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出									
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出									
準備学習 時間外学習		各課題に向けて自主的に取り組む。次回の授業時に確認。											
【使用教科書・教材・参考書】													
Photoshop ver.CS6・Illustrator ver.CS6													

科目名	DTP(2)	必修選択	選択	年次	1	担当教員	唐澤 淳
		授業形態					
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	講義	総時間(単位)	30 2単位			
教員の略歴							
授業の学習内容	<p>現在の就職におけるパソコンスキルは必須となっており、またその求められるレベルは年々上がってきています。テクノロジーの進化と最新のソフトウェアにも対応が求められるため、習得すべきスキルは多いのですが、エンターテイメント業界で働く上で最低限のスキルを効率よく習得できるように授業は進めています。パソコンの理解度の向上とソフトウェアのスキルの向上を目的に、現場で役立つことに特化して学んでいきます。</p>						
到達目標	<p>以下の3点が達成出来るようになることを目標としている。</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) Adobe Illustratorの基本的な使い方 (2) DTPの基本的な解釈と留意点 (3) デザイン的な創作の解釈と留意点 						
評価方法と基準	<ol style="list-style-type: none"> 1. データーレポート提出(%) : 50% 2. 授業内課題(%) : 50% 						

授業計画・内容													
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習	時間外学習(学習課題)								
1		講義	【Photoshop】基本知識・レイヤー・デバイスからの取り込みを覚える	作品制作に向けての構想を練り、デザイン案を作成する。									
2		講義	作品制作に合う写真素材を定めた画素数や形式を基に撮影する	作品制作課題に向けてフォトロケーションを調べて提出する。									
3		講義	【Photoshop】画像解像度を理解する	画像解像度を理解し、1つの写真から72dpiのデータと350dpiのデータを作成し提出。									
4		講義	【Photoshop】保存形式を理解する	保存形式によっての特徴を理解するためjpg/gif/pngで保存した画像をそれぞれ提出する。									
5		講義	【Photoshop】色調補正・カラー・モード・レタッチを理解する	自分で撮影した写真を使って授業内で覚えたトリミングを駆使し作品を提出する。									
6		講義	【Photoshop】レタッチを理解する	本日の授業を理解した上で「雪が降っている画像」と「湯気が出ている画像」を作成し提出する。									
7		講義	【Photoshop】切り抜きと合成を理解する	切り抜きのクオリティーを高めるために提示された課題を提出する。									
8		講義	【Photoshop】作品(フライヤー)制作に取り組む	作品制作に向けての構想を練り、デザイン案を提出する。									
9		講義	【Photoshop】作品(フライヤー)制作に取り組む	制作を進めて提出する。									
10		講義	<課題試験>これまで習得した知識・技術を駆使し、ポストカードを制作する	作品制作に向けての構想を練り、デザイン案を作成する。									
11		講義	<課題試験>これまで習得した知識・技術を駆使し、ポストカードを制作する	制作を進めて提出する。									
12		講義	進級制作展を校内宣伝するためのフライヤーを作成する	資料を基に各校舎教職員に確認してもらい校内に設置してもらう。									
13		講義	卒業制作展を校内宣伝するためのフライヤーを作成する	資料を基に各校舎教職員に確認してもらい校内に設置してもらう。									
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出									
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出									
準備学習 時間外学習		各課題に向けて自主的に取り組む。次回の授業時に確認。											
【使用教科書・教材・参考書】													
Photoshop ver.CS6・Illustrator ver.CS6													

科目名	音楽業界知識(1)	必修選択	選択	年次	1	担当教員	米澤 憲一
		授業形態					
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	講義	総時間(単位)	30 2単位			
教員の略歴							
授業の学習内容	<p>プロの業界人として必要とされる音楽ビジネスのしくみを確実に理解できるようになる。 音楽業界の基本となる権利ビジネスのしくみや制作のスケジュール感を身につける。 音楽業界にはどのような職種があるのかを知る。 レーベル、プロダクション、イベント、アーティストなど音楽業界の関係性を理解できるようになる。</p>						
到達目標	<p>レーベル、プロダクション、イベント、アーティストやそれらを取り巻くメディアを中心にそれぞれがどのように関わって音楽業界が成り立っているのかを把握する。自分が目指す職種の業界内での立ち位置を理解し、そこに関わる役割分担を理解する。</p>						
評価方法と基準	<p>試験評価:出席率、時間外学習での理解度を加味し、90~100点をA、80~90点をB、70~80点をC、70~60点をD、それ以下をFとする。</p>						

授業計画・内容							
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習	時間外学習(学習課題)		
1		講義	プロになることの心構えと業界の実情を把握する	レポート			
2		講義	プロになるために大切な音楽の知識の必要性が理解できる	レポート			
3		講義	音楽業界は権利ビジネスであることが理解できる	レポート			
4		講義	音楽業界全体の役割分担を理解できる	レポート			
5		講義	レーベルのしくみを知る①	レポート			
6		講義	レーベルのしくみを知る②	レポート			
7		講義	音楽制作の行程、スケジュールを理解する	レポート			
8		講義	著作権という概念を理解できる	レポート			
9		講義	印税と音楽著作権使用料を理解できる	レポート			
10		講義	業界をとりまくメディアの役割を理解できる	レポート			
11		講義	プロモーションの考え方を理解できる	レポート			
12		講義	マーケティングというものを理解できる	レポート			
13		試験	テスト	テスト			
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出			
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出			
準備学習 時間外学習							
【使用教科書・教材・参考書】							

科目名	音楽業界知識(2)	必修選択	選択	年次	1	担当教員	米澤 憲一
		授業形態					
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	講義	総時間(単位)	30 2単位			
教員の略歴							
授業の学習内容	<p>プロの業界人として必要とされる音楽ビジネスのしくみを確実に理解できるようになる。 音楽業界の基本となる権利ビジネスのしくみや制作のスケジュール感を身につける。 音楽業界にはどのような職種があるのかを知る。 レーベル、プロダクション、イベント、アーティストなど音楽業界の関係性を理解できるようになる。</p>						
到達目標	<p>レーベル、プロダクション、イベント、アーティストやそれらを取り巻くメディアを中心にそれぞれがどのように関わって音楽業界が成り立っているのかを把握する。自分が目指す職種の業界内での立ち位置を理解し、そこに関わる役割分担を理解する。</p>						
評価方法と基準	<p>試験評価:出席率、時間外学習での理解度を加味し、90~100点をA、80~90点をB、70~80点をC、70~60点をD、それ以下をFとする。</p>						

授業計画・内容							
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習	時間外学習(学習課題)		
1		講義	プロダクションの仕事内容と業界での役割分担を理解できる	レポート			
2		講義	イベントの仕事内容と業界での役割分担を理解できる	レポート			
3		講義	コンサートの現場の構成を理解できる	レポート			
4		講義	CDリリースに関する予算を理解できる	レポート			
5		講義	CDリリースに関する原価計算ができる	レポート			
6		講義	プロの作曲家の仕事の行程が理解できる	レポート			
7		講義	肖像権の考え方を理解できる	レポート			
8		講義	音楽配信とネットと音楽の関わりを理解できる	レポート			
9		講義	原盤権と出版権を理解できる	レポート			
10		講義	音楽に関わる様々な職種が理解できる	レポート			
11		講義	契約という概念を理解できる	レポート			
12		講義	今後の業界の展望が理解できる	レポート			
13		試験	テスト	テスト			
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出			
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出			
準備学習 時間外学習							
【使用教科書・教材・参考書】							

科目名	著作権(1)	必修選択	選択	年次	1	担当教員	西田 剛
		授業形態					
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	講義	総時間(単位)	30 2単位			
教員の略歴							
授業の学習内容	<p>この授業の目的は「音楽を考える力」を育むことであり、知的財産権の重要性が高い現代において欠かせない知識を学びます。</p> <p>それは、著作権、および著作権を活用した音楽ビジネスの世界における、お金の流れを知ることになります。</p> <p>著作物とは何か？著作権法とは何か？、を、具体的なケースを題材に多角的に学習することで、基礎スキルを習得します。</p>						
到達目標	<p>著作権、および著作権を活用した音楽ビジネスの基本的な理解。</p> <p>目標とするレベル 「ビジネス著作権検定 初級」</p>						
評価方法と基準	1)定期テスト80% 2)平常点20%						

授業計画・内容							
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習	時間外学習(学習課題)		
1		講義	生活の中の「知的財産権」を知る授業での目標の確認 レベルチェック実施	毎日の生活が知的財産権にあふれていることを確認し、この授業で学ぶべきことを明確にする。			
2		講義	授業概要について明確にする「著作権の全体像」「著作物」「著作者」「著作者人格権」とは？	授業概要…著作権の全体像、著作物、著作者、著作者人格権、著作権（内容・制限・保護期間）	出版権と著作隣接権、権利侵害に対する措置、著作権法の周辺知識		
3		講義	著作権(内容・制限・保護期間) JASRAC その1	法律としての「著作権」を言葉の定義を大事にしながら一步ずつ理解する	私的録音録画、補償金制度、営利を目的としないケース等。		
4		講義	出版権と著作隣接権	実演家とは？ リテラシーも含め、権利の所在を正しく理解できるようにしよう。	プロダクション・レコード会社・音楽出版社の仕事を知る その1		
5		講義	「権利侵害に対する措置」「著作権法の周辺知識」	契約に関する知識を契約書から学んでみよう。			
6		講義	契約に関連する民法知識 JASRACその2	著作権印税の流れ。印税とは？誰にいくら、どのように支払われているのか？			
7		講義	著作物とは その2 音楽以外の著作物に関する知識	広告代理店の仕事 著作権使用料など、お金の流れを学ぶ。	パブリシティ権・肖像権・名譽毀損・誹謗中傷などの法律的な取り扱いはどうか。		
8		講義	知的財産権に関する時事ニュース著作者の権利をより深く学ぶ	著作権をめぐる裁判・判例の争点を考察する			
9		講義	身近な著作権例)パブリックビューイング	著作権等管理事業者について学ぶJASRACについての具体的な事案を考察してみる。			
10		講義	実演家の契約について考える音楽出版社の役割	音楽出版社とは、どういう会社で、どんな役割をになっているかを学ぶ。	大きなロジックと、具体的な契約内容について理解する。		
11		講義	知的財産権全般(特許・実用新案・意匠・商標等)	時代の急激な変化とグローバルな視点での知的財産権を考える。	新たなメディア(youtube等)との向き合い方を各自で考える。		
12		講義	テスト	レポート提出			
13		講義	振り返り	基本的な知識があることを前提に、具体的なケースに対処してみる。			
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出			
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出			
準備学習 時間外学習							
【使用教科書・教材・参考書】							

科目名	舞台機構調整士(1)	必修選択	選択	年次	1	担当教員	小瀬高夫
		授業形態					
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	講義	総時間(単位)	30 2単位			
教員の略歴							
授業の学習内容	音の性質、音響心理、電気の基礎、アース、ノイズ、電気音響機器、楽器音、音楽の判断、簡易PAセット組み上げおよび調整を学ぶ。						
到達目標	簡易PAセットを組み上げられるようになる。音波の性質を理解して調整ができるようになる。						
評価方法と基準	小テスト 20% 学習ジャーナル 10% 筆記試験 35% 実技試験 35%						

授業計画・内容													
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習	時間外学習(学習課題)								
1		講義	講師紹介、他人紹介、授業の進め方、教科書についての説明。ケーブル巻きを学ぶ。	シラバス、教科書、確認しておく事。									
2		講義	ケーブル、マイクスタンド、ホルダー、マイクについての知識を学ぶ。	ケーブル、マイクスタンド、ホルダー、マイクについて復習レポートを作成。									
3		講義	スピーカー、スピーカースタンドについての知識を学ぶ。	スピーカー、スピーカースタンドについて復習レポートを作成。									
4		講義	ブロックダイヤグラム、ミキシングコンソール、パワーアンプについての知識を学ぶ。	ブロックダイヤグラム、ミキシングコンソール、パワーアンプについて復習レポートを作成。									
5		講義	簡易PAセットの組み上げ方を学ぶ。	簡易PAセット組み上げその1について復習レポートを作成。									
6		講義	簡易PAセットの組み上げ方を学ぶ。	簡易PAセット組み上げその2について復習レポートを作成。									
7		講義	簡易PAセットの組み上げ方を学ぶ。	簡易PAセット組み上げその3について復習レポートを作成。									
8		講義	簡易PAセットにCDを接続し、AUXの使い方とリバーブの接続を学ぶ。	CD接続、AUX、リバーブについて復習レポートを作成。									
9		講義	上記のセットにさらにGEQを接続する方法を身につける。	GEQ接続について復習レポートを作成。									
10		講義	上記にさらにモニタースピーカーを接続する方法を身につける。	モニタースピーカー接続について復習レポートを作成。									
11		講義	上記全セットの組み上げと調整の仕方を身につける。	上記セットを各自組み上げ、調整1について復習レポートを作成。									
12		講義	「明日への扉」音響スタッフとして参加し、実際の現場で必要となる仕込み、パラシ、プラン等を理解する。	現場において気付いた事柄をまとめてレポート提出する。									
13		講義	「明日への扉」音響スタッフとして参加し、実際の現場で必要となる仕込み、パラシ、プランを理解する。	現場において気付いた事柄をまとめてレポート提出する。									
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出									
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出									
準備学習 時間外学習		現場に積極的に参加する事。予習、復習を必ず行う事。体調管理しっかりする事。											
【使用教科書・教材・参考書】													
PA入門改訂版、ステージ、PA、照明用語事典、舞台音響技能検定過去問題ナビゲーション3級													

科目名	舞台機器調整士(2)	必修選択	選択	年次	1	担当教員	小瀬高夫
		授業形態					
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	講義	総時間(単位)	30 2単位			
教員の略歴							
授業の学習内容	音の性質、音響心理、電気の基礎、アース、ノイズ、電気音響機器、楽器音、音楽の判断、簡易PAセット組み上げおよび調整を学ぶ。						
到達目標	簡易PAセットを組み上げられるようになる。音波の性質を理解して調整ができるようになる。						
評価方法と基準	小テスト 20% 学習ジャーナル 10% 筆記試験 35% 実技試験 35%						

授業計画・内容													
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習	時間外学習(学習課題)								
1		講義	音について～音はなぜ聞こえるのか～を学ぶ。	音について、音はなぜ聞こえるのか、について復習レポートを作成。									
2		講義	音波の伝播や音場、音速について理解する。	音波の伝播 音場 音速 、について復習レポートを作成。									
3		講義	周波数、可聴限界周波数、波長、振幅について理解する。	周波数 可聴限界周波数 波長 振幅、について復習レポートを作成。									
4		講義	音色、オームヘルムホルツの法則、音波の性質について理解する。	音色 オームヘルムホルツの法則 音波の性質1、について復習レポートを作成。									
5		講義	音波の性質2、音圧、音圧レベル、音量について理解する。	音波の性質2 音圧 音圧レベル 音量、について復習レポートを作成。									
6		講義	騒音、NC値、音響心理1について学ぶ。	騒音 NC値 音響心理1、について復習レポートを作成。									
7		講義	音響心理2について学ぶ。	音響心理2、について復習レポートを作成。									
8		講義	電気の基礎1について学ぶ。	電気の基礎1、について復習レポートを作成。									
9		講義	電気の基礎2 アース ノイズについて学ぶ。	電気の基礎2 アース ノイズ、について復習レポートを作成。									
10		講義	電気音響機器1について学ぶ。	電気音響機器1、について復習レポートを作成。									
11		講義	電気音響機器2について学ぶ。	電気音響機器2、について復習レポートを作成。									
12		講義	電気音響機器3について学ぶ。	電気音響機器3、について復習レポートを作成。									
13		講義	進級制作展に音響スタッフとして参加し、実際の現場で必要となる仕込み、バランス、プラン等を理解する。	現場において気付いた事柄をまとめてレポート提出する。									
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出									
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出									
準備学習 時間外学習		現場に積極的に参加する事。予習、復習を必ず行う事。体調管理しっかりする事。											
【使用教科書・教材・参考書】													
PA入門改訂版、ステージ、PA、照明用語事典、舞台音響技能検定過去問題ナビゲーション3級													

科目名	音響電気知識(1)	必修選択	選択	年次	1	担当教員	小瀬高夫
		授業形態					
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	講義	総時間(単位)	30 2単位			
教員の略歴							
授業の学習内容	音の性質、音響心理、電気の基礎、アース、ノイズ、電気音響機器、楽器音、音楽の判断、簡易PAセット組み上げおよび調整を学ぶ。						
到達目標	簡易PAセットを組み上げられるようになる。音波の性質を理解して調整ができるようになる。						
評価方法と基準	小テスト 20% 学習ジャーナル 10% 筆記試験 35% 実技試験 35%						

授業計画・内容													
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習	時間外学習(学習課題)								
1		講義	講師紹介、他人紹介、授業の進め方、教科書についての説明。ケーブル巻きを学ぶ。	シラバス、教科書、確認しておく事。									
2		講義	ケーブル、マイクスタンド、ホルダー、マイクについての知識を学ぶ。	ケーブル、マイクスタンド、ホルダー、マイクについて復習レポートを作成。									
3		講義	スピーカー、スピーカースタンドについての知識を学ぶ。	スピーカー、スピーカースタンドについて復習レポートを作成。									
4		講義	ブロックダイヤグラム、ミキシングコンソール、パワーアンプについての知識を学ぶ。	ブロックダイヤグラム、ミキシングコンソール、パワーアンプについて復習レポートを作成。									
5		講義	簡易PAセットの組み上げ方を学ぶ。	簡易PAセット組み上げその1について復習レポートを作成。									
6		講義	簡易PAセットの組み上げ方を学ぶ。	簡易PAセット組み上げその2について復習レポートを作成。									
7		講義	簡易PAセットの組み上げ方を学ぶ。	簡易PAセット組み上げその3について復習レポートを作成。									
8		講義	簡易PAセットにCDを接続し、AUXの使い方とリバーブの接続を学ぶ。	上記にCD接続、AUX、リバーブについて復習レポートを作成。									
9		講義	上記のセットにさらにGEQを接続する方法を身につける。	上記にGEQ接続について復習レポートを作成。									
10		講義	上記にさらにモニタースピーカーを接続する方法を身につける。	上記にモニタースピーカー接続について復習レポートを作成。									
11		講義	上記全セットの組み上げと調整の仕方を身につける。	上記セットを各自組み上げ、調整1について復習レポートを作成。									
12		講義	「明日への扉」音響スタッフとして参加し、仕込み、パラシ、プラン等を理解する。	現場において気付いた事柄をまとめてレポート提出する。									
13		講義	「明日への扉」音響スタッフとして参加し、仕込み、パラシ、プランを理解する。	現場において気付いた事柄をまとめてレポート提出する。									
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出									
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出									
準備学習 時間外学習		現場に積極的に参加する事。予習、復習を必ず行う事。体調管理しっかりする事。											
【使用教科書・教材・参考書】													
PA入門改訂版、ステージ、PA、照明用語事典、舞台音響技能検定過去問題ナビゲーション3級													

科目名	音響電気知識(2)	必修選択	選択	年次	1	担当教員	小瀬高夫
		授業形態					
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	講義	総時間(単位)	30 2単位			
教員の略歴							
授業の学習内容	音の性質、音響心理、電気の基礎、アース、ノイズ、電気音響機器、楽器音、音楽の判断、簡易PAセット組み上げおよび調整を学ぶ。						
到達目標	簡易PAセットを組み上げられるようになる。音波の性質を理解して調整ができるようになる。						
評価方法と基準	小テスト 20% 学習ジャーナル 10% 筆記試験 35% 実技試験 35%						

授業計画・内容													
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習	時間外学習(学習課題)								
1		講義	音について～音はなぜ聞こえるのか～を学ぶ。	音について、音はなぜ聞こえるのか、について復習レポートを作成。									
2		講義	音波の伝播や音場、音速について理解する。	音波の伝播、音場、音速について復習レポートを作成。									
3		講義	周波数、可聴限界周波数、波長、振幅について理解する。	周波数、可聴限界周波数、波長、振幅について復習レポートを作成。									
4		講義	音色、オームヘルムホルツの法則、音波の性質について理解する。	音色 オームヘルムホルツの法則 音波の性質1について復習レポートを作成。									
5		講義	音波の性質2、音圧、音圧レベル、音量について理解する。	音波の性質2、音圧、音圧レベル、音量について復習レポートを作成。									
6		講義	騒音、NC値、音響心理1について学ぶ。	騒音、NC値、音響心理1について復習レポートを作成。									
7		講義	音響心理2について学ぶ。	音響心理2について復習レポートを作成。									
8		講義	電気の基礎1について学ぶ。	電気の基礎1について復習レポートを作成。									
9		講義	電気の基礎2 アース ノイズについて学ぶ。	電気の基礎2 アース ノイズについて復習レポートを作成。									
10		講義	電気音響機器1について学ぶ。	電気音響機器1について復習レポートを作成。									
11		講義	電気音響機器2について学ぶ。	電気音響機器2について復習レポートを作成。									
12		講義	電気音響機器3について学ぶ。	電気音響機器3について復習レポートを作成。									
13		講義	進級制作展に音響スタッフとして参加し、実際の現場で必要となる仕込み、バランス、プラン等を理解する。	現場において気付いた事柄をまとめてレポート提出する。									
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出									
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出									
準備学習 時間外学習		現場に積極的に参加する事。予習、復習を必ず行う事。体調管理しっかりする事。											
【使用教科書・教材・参考書】													
PA入門改訂版、ステージ、PA、照明用語事典、舞台音響技能検定過去問題ナビゲーション3級													

科目名	楽器知識(1)	必修選択	選択	年次	1	担当教員	水見博
		授業形態					
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	講義	総時間(単位)	30 2単位			
教員の略歴							
授業の学習内容	コンサートスタッフに必要なドラム、ベース、ギター、キーボード等の楽器に関する基礎知識を学ぶ。各楽器の構造、特徴、形状、音色、略称等を学び、ドラムのセッティング方法を習得する。						
到達目標	楽器に興味を持ち、コンサート現場やプロダクション業務、学校行事等において必要となる基本的な楽器の知識を習得する。						
評価方法と基準	筆記試験 70% レポート課題提出 30%						

授業計画・内容													
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習	時間外学習(学習課題)								
1		講義	オリエンテーション	興味のある楽器について調べておく。									
2		講義	楽器の特徴の基礎知識を知り・覚える	楽器販売店に出向き 様々な楽器の視察、カタログの入手									
3		講義	DRUMSの基本セットを知り・覚える	販売メーカーのHP、収集したカタログを参照し、ドラムについてレポート作成。									
4		講義	DRUMの メーカー名 知る Bass Drum の 構造・特徴・組立方を知り・覚える	販売メーカーのHP、収集したカタログを参照し、バスドラについてレポート作成。									
5		講義	Snare Drumの構造・特徴・組立方を知り・覚える	販売メーカーのHP、収集したカタログを参照し、スネアについてレポート作成。									
6		講義	HI-HATの構造・特徴・組立方を知り・覚える	販売メーカーのHP、収集したカタログを参照し、ハイハットについてレポート作成。									
7		講義	HI-HAT STANDの構造・特徴・組立方を知り・覚える	販売メーカーのHP、収集したカタログを参照し、ハイハットスタンドについてレポート作成。									
8		講義	Dr 3点のセッティング・FLOOR TOM の構造・特徴を知り・覚える	販売メーカーのHP、収集したカタログを参照し、タムについてレポート作成。									
9		講義	TOM TOM の構造・特徴・組立方を知り・覚える	販売メーカーのHP、収集したカタログを参照し、タムについてレポート作成。									
10		講義	CYMBAL及びCYMBAL STANDのメーカー名・構造・特徴・組立方を知り・覚える	販売メーカーのHP、収集したカタログを参照し、シンバルについてレポート作成。									
11		講義	DRUMS 基本セット 全体のセッティングを知り・覚える	販売メーカーのHP、収集したカタログを参照し、セット全般についてレポート作成。									
12		講義	DRUMS 基本セット 全体のセッティングを知り・覚える	販売メーカーのHP、収集したカタログを参照し、セット全般についてレポート作成。									
13		講義	明日への扉にスタッフとして参加し、仕込みやミュージカル現場についての理解を深める①	使用されている楽器(劇中バンド)についてレポートを作成。									
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出									
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出									
準備学習 時間外学習		授業内容と関連した楽器についてカタログやHP等で調べ、レポートを作成。											
【使用教科書・教材・参考書】													
iPad、各楽器メーカーの商品カタログ													

科目名	楽器知識(2)	必修選択	選択	年次	1	担当教員	水見博
		授業形態					
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	講義	総時間(単位)	30 2単位			
教員の略歴							
授業の学習内容	コンサートスタッフに必要なドラム、ベース、ギター、キーボード等の楽器に関する基礎知識を学ぶ。各楽器の構造、特徴、形状、音色、略称等を学び、ドラムのセッティング方法を習得する。						
到達目標	楽器に興味を持ち授業に於いて基礎知識(名称・構造・特徴・形・音色・セッティング方法・音の出し方)等を習得し、学内イベント等現場での経験を通じ、実践力を養い将来的即戦力につなげる。						
評価方法と基準	筆記試験 70% レポート課題提出 30%						

授業計画・内容													
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習	時間外学習(学習課題)								
1		講義	前期の総復習 DrSETのSETTING	ドラムセッティングの復習レポートを作成。									
2		講義	電気に関する事を知り、覚える	海外と国内の電源事情を調べてレポートを作成。									
3		講義	弦楽器全般について	楽器販売店にてカタログを収集する。									
4		講義	弦楽器 ギターについて	販売メーカーのHP、収集したカタログの参照しギターについてレポート作成。									
5		講義	弦楽器 ベースについて	販売メーカーのHP、収集したカタログの参照しベースについてレポート作成。									
6		講義	弦楽器 ギター、ベースアンプの基礎知識について	販売メーカーのHP、収集したカタログの参照しアンプについてレポート作成。									
7		講義	弦楽器 ギター、ベースアンプのトランジスターアンプ知識について	販売メーカーのHP、収集したカタログの参照しアンプについてレポート作成。									
8		講義	弦楽器 ギター、ベースアンプの真空管アンプ知識について	販売メーカーのHP、収集したカタログの参照し真空管アンプについてレポート作成。									
9		講義	鍵盤楽器 全般においての基礎知識	販売メーカーのHP、収集したカタログの参照し鍵盤楽器についてレポート作成。									
10		講義	鍵盤楽器 デジタルシンセサイザーについて	販売メーカーのHP、収集したカタログの参照しデジタルシンセサイザーについてレポート作成。									
11		講義	後期講義に関してのまとめ	上記以外で興味のある楽器について調べてレポート作成。									
12		講義	楽器についての総まとめ	過去資料を参考し理解を深める。									
13		講義	進級制作展にスタッフとして参加し、楽器仕込みや音についての理解を深める。	使用されている楽器についてレポートを作成。									
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出									
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出									
準備学習 時間外学習		授業内容と関連した楽器についてカタログやHP等で調べ、レポートを作成。											
【使用教科書・教材・参考書】													
iPad、各楽器メーカーの商品カタログ													

科目名	舞台美術概論(1)	必修選択	選択	年次	1	担当教員	北英樹
		授業形態					
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	講義	総時間(単位)	30 2単位			
教員の略歴							
授業の学習内容	舞台美術(セット)はなくてはならない物です。それを理解することはコンサート系コースのどのコースにおいても必ず意味があります。この授業では、紀元前からの舞台史を学び、舞台美術の知識を通してイマジネイションを広げて、スキルを上げていきます。						
到達目標	舞台の歴史を知ることで、これから新しいイベント、舞台を創造しゆく知識を習得することができ、創造力豊かな舞台スタッフとしての人材を育成する。						
評価方法と基準	筆記試験 50% 実技試験 50%						

授業計画・内容													
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習	時間外学習(学習課題)								
1		講義	舞台美術全般についての概要を説明する。	授業内容について復習レポートを作成。									
2		講義	様々なジャンルのパフォーマンスについて学ぶ(日本のコンサート)	日本のコンサートについて復習レポートを作成。									
3		講義	様々なジャンルのパフォーマンスについて学ぶ(ミュージカル)	ミュージカルについて復習レポートを作成。									
4		講義	様々なジャンルのパフォーマンスについて学ぶ(ストレートプレイ)	ストレートプレイについて復習レポートを作成。									
5		講義	様々なジャンルのパフォーマンスについて学ぶ(ダンスパフォーマンス)	ダンスパフォーマンスについて復習レポートを作成。									
6		講義	様々なジャンルのパフォーマンスについて学ぶ(世界のコンサート)	世界のコンサートについて復習レポートを作成。									
7		講義	様々なジャンルのパフォーマンスについて学ぶ(ショップデザイン)	ショップデザインについて復習レポートを作成。									
8		講義	様々なジャンルのパフォーマンスについて学ぶ(ウインドウディスプレイ)	ウインドウディスプレイについて復習レポートを作成。									
9		講義	舞台美術スタッフの仕事を学ぶ	舞台美術スタッフの仕事をについて復習レポートを作成。									
10		講義	工具、道具の知識と扱い方を学ぶ	工具、道具の知識と扱い方について復習レポートを作成。									
11		講義	美術デザイナーの仕事について学ぶ	美術デザイナーの仕事について復習レポートを作成。									
12		講義	舞台演出について学ぶ	舞台演出について復習レポートを作成。									
13		講義	演劇公演の美術製作に関わる①	演劇公演の美術製作について復習レポートを作成。									
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出									
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出									
準備学習 時間外学習		授業内容と関連した楽器についてカタログやHP等で調べ、レポートを作成。											
【使用教科書・教材・参考書】													
iPad、各楽器メーカーの商品カタログ													

科目名	Vector Works Basic(1)	必修選択	選択	年次	1	担当教員	川原宏幸
		授業形態					
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	講義	総時間(単位)	60 4単位			
教員の略歴							
授業の学習内容	図面製作ソフトベクターワークスの基本的な使い方を学び、実践で扱える技術を身につける。						
到達目標	ベクターワークスを使い、図形作成の知識、スキルを習得する。						
評価方法と基準	知識を測るレポート提出 50% 実技試験 50%						

授業計画・内容									
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習	時間外学習(学習課題)				
1		講義	前期授業についての概要説明、MACの基本操作を学ぶ。	基本的なPC操作の復習レポートを作成。					
2		講義	ベクターワークスに慣れる①	授業内容の復習レポートを作成。					
3		講義	ベクターワークスに慣れる②	授業内容の復習レポートを作成。					
4		講義	直線・曲線を自由に描く	直線、曲線を描く復習レポートを作成。					
5		講義	多角線を描く	多角線を描く復習レポートを作成。					
6		講義	図形を描く	図形を描く復習レポートを作成。					
7		講義	線と図形を組み合わせて描く	図形を描く復習レポートを作成。					
8		講義	縮尺を理解し、慣れて使う①	授業内容の復習レポートを作成。					
9		講義	縮尺を理解し、慣れて使う②	授業内容の復習レポートを作成。					
10		講義	劇場図面を理解する①	様々な劇場の図面を調べてみる。					
11		講義	劇場図面を理解する②	様々な劇場の図面を調べてみる。					
12		講義	明日への扉の舞台演出部として参加。ミュージカル舞台の図面を作成する。	明日への扉の図面作成と資料の整理					
13		講義	明日への扉の舞台演出部として参加。ミュージカル舞台の図面を作成する。	明日への扉の図面作成と資料の整理					
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出					
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出					
準備学習 時間外学習		授業内容の復習レポートを作成し、資料のまとめ、整理をする。							
【使用教科書・教材・参考書】									
ベクターワークス レーニングブックより抜粋									

科目名	Vector Works Basic (2)	必修選択	選択	年次	1	担当教員	川原宏幸
		授業形態					
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	講義	総時間(単位)	60 4単位			
教員の略歴							
授業の学習内容	図面製作ソフトベクターワークスの基本的な使い方を学び、実践で扱える技術を身につける。						
到達目標	ベクターワークスを使い、図形作成・照明仕込み図作成の知識、スキルを習得する。						
評価方法と基準	知識を測るレポート提出 50% 実技試験 50%						

授業計画・内容													
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習	時間外学習(学習課題)								
1		講義	前期授業内容のふりかえり	前期授業内容の復習をしておく。									
2		講義	袖幕配置、照明仕込み図のシンボル登録方法を学ぶ。	袖幕、シンボル登録の復習レポートを作成。									
3		講義	舞台セット図と照明サス仕込み図が作成できるようになる。	セット図、サス仕込み図の復習レポートを作成。									
4		講義	舞台セット図と照明サス仕込み図が作成できるようになる。	セット図、サス仕込み図の復習レポートを作成。									
5		講義	舞台総合図と照明サス仕込み図が作成できるようになる。	セット図、サス仕込み図の復習レポートを作成。									
6		講義	舞台図面の色つけと照明仕込み図の作成方法を学ぶ。	色付け、仕込み図の復習レポートを作成。									
7		講義	舞台図面のオリジナル図作成と照明仕込み図の作成方法を学ぶ。	オリジナル図の課題提出、仕込み図復習レポートを作成。									
8		講義	舞台のデザイン図と照明仕込み図の作成方法を学ぶ。	デザイン図の課題提出、仕込み図復習レポートを作成。									
9		講義	卒業進級制作展演目別図面を作成する。	卒業進級制作展の内容を調べておく。									
10		講義	卒業進級制作展演目別図面を作成する。	卒業進級制作展の内容を調べておく。									
11		講義	卒業進級制作展演目別図面を作成する。	卒業進級制作展内容変更修正の把握。									
12		講義	卒業進級制作展演目別図面を作成する。	卒業進級制作展内容変更修正の把握。									
13		講義	作成した図面を活かし、進級制作展の舞台、照明を仕込む。	進級制作展の図面作成と資料の整理									
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出									
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出									
準備学習 時間外学習		授業内容の復習レポートを作成し、資料のまとめ、整理をする。											
【使用教科書・教材・参考書】													
ベクターワークス レーニングブックより抜粋													

科目名	文章基礎(1)	必修選択	選択	年次	1	担当教員	天井潤之介											
		授業形態																
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一																	
教員の略歴																		
授業の学習内容	<p>「書く」という技術の習得。そのためのルールと基本構造を学んでもらいます。自分が考えている・思っていることを言葉／文字に変換する。そしてその言葉／文字を使いこなして、自分の考え方や意図する思いを相手に正確に「伝える」ためにはどうすればよいか。文章力の養成を通じて、思考力やコミュニケーション能力も養成することができればベストだと考えています。授業の進め方ですが、一コマめにその日の課題となる授業内容をレクチャーし、二コマめにその授業内容に沿ったライティングを実践してもらいます。</p>																	
到達目標	<p>「書く」という技術は、企画立案や会議でのプレゼンテーションなど、自分の考え方や意図を相手に正しく伝えるという様々なビジネスの場面で基礎となるものです。授業では主に音楽に関するテーマの文章作成を課すことが多くなると思いますが、そうした作業を通じて、説得力と具体性を持った論理の筋道を立てること、個人的な感想や感動を「情報整理／分析」へと昇華できるような技術と能力を養うことが目標です。</p>																	
評価方法と基準	<p>課題の提出が前提、原稿の出来栄えを評価します。学習内容と到達目標を踏まえた上での総合判断を評価の基準とします。</p>																	

授業計画・内容													
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習	時間外学習(学習課題)								
1		講義	年間の授業方針と文章力の必要性について学ぶ	本日の授業を基にした400字程度の課題提出									
2		演習	句読点を正しく使い、文意の伝わる文章作成を学ぶ	本日の授業を基にした400字程度の課題提出									
3		演習	句読点を正しく使い、文意の伝わる文章作成を学ぶ	本日の授業を基にした400字程度の課題提出									
4		演習	改行を使いこなし、内容や趣旨を意識した文章作成が出来るようになる	本日の授業を基にした400字程度の課題提出									
5		演習	改行を使いこなし、内容や趣旨を意識した文章作成が出来るようになる	本日の授業を基にした400字程度の課題提出									
6		演習	例文の校正・添削を通じて、「主語・述語」の使い方を学ぶ	本日の授業を基にした400字程度の課題提出									
7		演習	例文の校正・添削を通じて、「主語・述語」の使い方を学ぶ	本日の授業を基にした400字程度の課題提出									
8		演習	助詞を正しく使いこなし、誤読や誤解を生まない文章作成を学ぶ	本日の授業を基にした400字程度の課題提出									
9		演習	助詞を正しく使いこなし、誤読や誤解を生まない文章作成を学ぶ	本日の授業を基にした400字程度の課題提出									
10		演習	書き言葉と話し言葉の違いを学び効果的な使い方で文章作成を学ぶ	本日の授業を基にした400字程度の課題提出									
11		演習	書き言葉と話し言葉の違いを学び効果的な使い方で文章作成を学ぶ	本日の授業を基にした400字程度の課題提出									
12		演習	起承転結を意識した文章作成を学ぶ	本日の授業を基にした400字程度の課題提出									
13		演習	起承転結を意識した文章作成を学ぶ	本日の授業を基にした400字程度の課題提出									
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出									
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出									
準備学習 時間外学習		授業内容の復習レポートを作成し、資料のまとめ、整理をする。											
【使用教科書・教材・参考書】													
ベクターワークス トレーニングブックより抜粋													

科目名	文章基礎(2)	必修選択	選択	年次	1	担当教員	天井潤之介
		授業形態					
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一						
教員の略歴							
授業の学習内容	<p>「書く」という技術の習得。そのためのルールと基本構造を学んでもらいます。自分が考えている・思っていることを言葉／文字に変換する。そしてその言葉／文字を使いこなして、自分の考え方や意図する思いを相手に正確に「伝える」ためにはどうすればよいか。文章力の養成を通じて、思考力やコミュニケーション能力も養成することができればベストだと考えています。授業の進め方ですが、一コマめにその日の課題となる授業内容をレクチャーし、二コマめにその授業内容に沿ったライティングを実践してもらいます。</p>						
到達目標	<p>「書く」という技術は、企画立案や会議でのプレゼンテーションなど、自分の考え方や意図を相手に正しく伝えるという様々なビジネスの場面で基礎となるものです。授業では主に音楽に関するテーマの文章作成を課すことが多くなると思いますが、そうした作業を通じて、説得力と具体性を持った論理の筋道を立てること、個人的な感想や感動を「情報整理／分析」へと昇華できるような技術と能力を養うことが目標です。</p>						
評価方法と基準	<p>課題の提出が前提、原稿の出来栄えを評価します。学習内容と到達目標を踏まえた上での総合判断を評価の基準とします。</p>						

授業計画・内容													
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習	時間外学習(学習課題)								
1		講義	前期の復習。文章力の基礎を固める。	本日の授業を基にした400字程度の課題提出									
2		演習	前期の復習。文章力の基礎を固める。	本日の授業を基にした400字程度の課題提出									
3		演習	前期の復習。文章力の基礎を固める。	本日の授業を基にした400字程度の課題提出									
4		演習	両論併記を意識した文章作成を学ぶ	本日の授業を基にした400字程度の課題提出									
5		演習	両論併記を意識した文章作成を学ぶ	本日の授業を基にした400字程度の課題提出									
6		演習	文章にリズムをつけて読み手が飽きない文章作成を学ぶ	本日の授業を基にした400字程度の課題提出									
7		演習	文章にリズムをつけて読み手が飽きない文章作成を学ぶ	本日の授業を基にした400字程度の課題提出									
8		演習	漢字とひらがなのバランスを考え読みやすい文章作成を学ぶ	本日の授業を基にした400字程度の課題提出									
9		演習	漢字とひらがなのバランスを考え読みやすい文章作成を学ぶ	本日の授業を基にした400字程度の課題提出									
10		演習	同義語を意識し語彙力を上げ表現力豊かな文章作成を学ぶ	本日の授業を基にした400字程度の課題提出									
11		演習	同義語を意識し語彙力を上げ表現力豊かな文章作成を学ぶ	本日の授業を基にした400字程度の課題提出									
12		演習	段落を活用し各コンテンツに適した文字数でまとめる学ぶ	本日の授業を基にした400字程度の課題提出									
13		演習	段落を活用し各コンテンツに適した文字数でまとめる学ぶ	本日の授業を基にした400字程度の課題提出									
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出									
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出									
準備学習 時間外学習		授業内容の復習レポートを作成し、資料のまとめ、整理をする。											
【使用教科書・教材・参考書】													
ベクターワークス トレーニングブックより抜粋													

科目名	PCスキルアップ(3)	必修選択	必修	年次	2	担当教員	唐澤 淳
		授業形態	講義	総時間(単位)	30 2単位		
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一						
教員の略歴							
授業の学習内容	<p>現在の就職におけるパソコンスキルは必須となっており、またその求められるレベルは年々上がってきています。テクノロジーの進化と最新のソフトウェアにも対応が求められるため、習得すべきスキルは多いのですが、特にテクニカルなセクションにおけるエンターテイメント業界で働く上で最低限のスキルを効率よく習得できるように進めていきます。Excel・Illustrator・Photoshopの基本的な使い方を身につけ、即戦力をを目指します。</p>						
到達目標	<p>一年次に習得した「PCスキルアップ I・II」「DTP」の復習とともに新たに以下の3点を身につける。</p> <p>(1) Adobe Premiere proの基本的な使い方を習得する。 (2) Adobe Photoshopの応用方法を習得する。 (3) Adobe Illustratorの応用方法を習得する。</p>						
評価方法と基準	<p>1. 実技試験(%) : 50% 2. 課題(%) : 50%</p>						

授業計画・内容													
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習	時間外学習(学習課題)								
1		講義	WindowsとMacの違いを理解し、ショートカットキーを習得する。	キーボード配列を覚える。ショートカットを覚える。									
2		講義	ITリテラシーを理解し、ビジネスにおけるWebメールの送り方を習得する。	ITリテラシー理解度テストを行う。									
3		講義	【Excel】表の作り方／タイムテーブルの横軸の作成を課題に用紙の設定を習得する。	授業内課題を30分以内で作れることを目標に提示した課題の表を作成する。									
4		講義	【Excel】表の作り方／タイムテーブルの横軸の作成を課題にフォントとサイズの設定を習得する。	身近な印刷物で文字の大きさなどを理解することが出来るよう提示された課題をやる									
5		講義	【Excel】表の作り方／タイムテーブルの横軸の作成を課題に印刷の設定を習得する。	授業内課題を30分以内で作れることを目標に提示した課題の表を作成する。									
6		講義	【Excel】表の作り方／タイムテーブルの縦軸が作成出来るようになる。	授業内課題を30分以内で作れることを目標に提示した課題の表を作成する。									
7		講義	【Excel】図形描画／イベントシートが作成出来るようになる。	造形描画の種類を使いたかを覚えることを目標に提示した課題の表を作成する。									
8		講義	【Excel】図形描画／ステージの簡易的な図面が作成出来るようになる。	造形描画の種類を使いたかを覚えることを目標に提示した課題の図形を作成する。									
9		講義	【Excel】図形描画／ステージの簡易的な図面が作成出来るようになる。	授業内課題を60分以内で作れるようにすることを目標に提示した図面を作成する。									
10		講義	【Excel】表と計算式／動員集計表を理解する。	計算式の仕組みを覚えることを目標に提示した課題の表を作成する。									
11		講義	【Illustrator】基本知識と機能を理解し、等級表を作成する	基礎の仕組みを覚え、慣れておくことを目標に提示した課題の表を作成する。									
12		講義	【Illustrator】名刺作成を課題に、表示・オブジェクト・テキスト入力を理解する	名刺に関するビジネスマナー(渡し方やおじぎ・挨拶等)を調べて資料として提出。									
13		講義	【Illustrator】名刺作成を課題に、レイヤー・レイアウトを理解する	次回の授業に備え名刺作成時に使用するレイヤー・レイアウトを参考し決めておく。									
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出									
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出									
準備学習 時間外学習		各課題に向けて自主的に取り組む。次回の授業時に確認。											
【使用教科書・教材・参考書】													
必要に応じてプリント配布。ITリテラシー、COMポータル													

科目名	PCスキルアップ(4)	必修選択	必修	年次	2	担当教員	唐澤 淳								
		授業形態	講義	総時間(単位)	30 2単位										
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	教員の略歴													
授業の学習内容	<p>1年時に習得した「PCスキルアップ I・III」「DTP」のスキルをベースに応用を学びます。加えて、重要度が高まっている映像関連の最低限のスキルを身につけます。実習作業を中心に反復練習を繰り返すことで身体で覚えながら、様々なテクニックも身につけていきます。</p>														
到達目標	<p>一年次に習得した「PCスキルアップ I・III」「DTP」の復習とともに新たに以下の3点を身につける。</p> <p>(1) Adobe Premiere proの基本的な使い方を習得する。 (2) Adobe Photoshopの応用方法を習得する。 (3) Adobe Illustratorの応用方法を習得する。</p>														
評価方法と基準	<p>1. レポート提出(%) : 50% 2. 筆記課題(%) : 50%</p>														

授業計画・内容																
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習	時間外学習(学習課題)											
1		講義	【Premiere】基本的な概念を習得する。	基礎の仕組みを覚え、慣れておく。												
2		講義	【Premiere】Lyric Video製作を通してレイヤー・タイトル・波形の使い方を習得する。	授業で使用する音源・歌詞を用意し提出。												
3		講義	【Premiere】Lyric Video製作を通して文字エフェクト・Fadeの使い方を習得する。	機能の復習として作品制作内歌詞を入力しておく。												
4		講義	【Premiere】Lyric Video製作を通して画像・動画の挿入を習得する。	機能の復習として作品制作内画像・動画を挿入しておく。												
5		講義	【Premiere他】Illustrator・photoshopとの連携を習得する。	機能の復習として作品制作内でIllustrator・photoshopの要素を入れ込む。												
6		講義	【Premiere】Lyric Video製作を通してレンダリングを習得する。	機能の復習として作品制作内レンダリングしておく。												
7		講義	【Premiere】Lyric Video製作を通して書き出し・仕上げを習得する。	YouTubeにてアップする。												
8		講義	【Premiere】動画素材の撮影・デバイスから動画の取り込み・QT録画を習得する。	次回の授業用に、複数人で1つの被写体を同時に録画してくる。												
9		講義	【Premiere】動画作成を課題に複数カメラからの編集を習得する。	スローモーション、早回しをしたら良さそうな素材を撮影してくる。												
10		講義	【Premiere】動画作成を課題に速度調整を習得する。	単色の背景の前での動画素材を撮影してくる。												
11		講義	【Premiere】動画作成を課題にクロマキーを習得する。	クロマキー合成のクオリティーを上げた編集を再度しておく。												
12		講義	【Premiere】動画作成を課題にアフレコを習得する。	作品制作のプランニングをし、絵コンテを描いてくる。												
13		講義	【Premiere】「明日への扉」を題材に3分間の映像制作(素材の回収(必要であれば撮影))	授業内で出来なかった部分を各自進める。												
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出												
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出												
準備学習 時間外学習			各課題に向けて自主的に取り組む。次回の授業時に確認。													
【使用教科書・教材・参考書】																
インターネット & ホームページ																

科目名	舞台知識Advance(1)	必修選択	選択	年次	2	担当教員	江見 千尋
		授業形態					
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	講義					
教員の略歴							
授業の学習内容	一年次に履修した「舞台知識」の講義をもとに、講義→演習のかたちで実際の現場で使用できる図面や資料の作成方法を学ぶ。 学内イベントミュージカル「明日への扉」を素材に実際にイベントで使用した上でより良いものにする。						
到達目標	舞台を作っていく具体的な流れ、段取りを把握し実際に現場で活用できる図面や資料を作成出来るようになる。						
評価方法と基準	課題の出来による評価を行う。 30% 期日までに課題が提出されているか・必要な資料が揃っているか・課題のテーマに則しているか・よく考えられたプランになっているかを評価 70%						

授業計画・内容							
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習	時間外学習(学習課題)		
1		講義	会場図面の作成方法を習得する	「明日への扉」で使用する会場の情報を収集しておく			
2		講義	「明日への扉」に使用する会場図面の作成を行う	授業に引き続き作成を行い、提出する			
3		講義	進行プランの作成方法を習得する	「明日への扉」で使用する進行の情報を収集しておく			
4		講義	「明日への扉」に使用する進行プランの作成を行う	授業に引き続き作成を行い、提出する			
5		講義	演出プランの作成方法を習得する	「明日への扉」で登場する演出の情報を収集しておく			
6		講義	「明日への扉」に使用する演出プランの作成を行う	授業に引き続き作成を行い、提出する			
7		講義	セット図の作成方法を習得する	「明日への扉」で登場するセットの情報を収集しておく			
8		講義	「明日への扉」に使用するセット図の作成を行う	授業に引き続き作成を行い、提出する			
9		講義	タイムテーブルの作成方法を習得する	「明日への扉」小屋入り～本番までの各セクションのスケジュールを収集しておく			
10		講義	「明日への扉」に使用するタイムテーブルの作成を行う	授業に引き続き作成を行い、提出する			
11		講義	同セクション担当が打ち合わせを行い、各資料問題が無いか確認する	問題や変更があった部分を修正し提出する。			
12		講義	授業内課題提出による試験を行う	試験にて出来なかった部分を復習する。			
13		講義	「明日への扉」を題材に舞台機構を学ぶ	本日の授業を基に出された課題を提出する。			
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出			
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出			
準備学習 時間外学習		各課題に向けて自主的に取り組む。次回の授業時に確認。					
【使用教科書・教材・参考書】							

科目名	舞台知識Advance(2)	必修選択	選択	年次	2	担当教員	江見 千尋
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業形態	講義	総時間(単位)	60 4単位		
教員の略歴							
授業の学習内容	一年次に履修した「舞台知識」の講義をもとに、講義→演習のかたちで実際の現場で使用できる図面や資料の作成方法を学ぶ。 学内イベントミュージカル「明日への扉」を素材に実際にイベントで使用した上でより良いものにする。						
到達目標	舞台を作っていく具体的な流れ、段取りを把握し実際に現場で活用できる図面や資料を作成出来るようになる。						
評価方法と基準	課題の出来による評価を行う。 30% 期日までに課題が提出されているか・必要な資料が揃っているか・課題のテーマに則しているか・よく考えられたプランになっているかを評価 70%						

授業計画・内容					
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習	時間外学習(学習課題)
1		講義	会場図面の作成方法を習得する	卒業制作展で使用する会場の情報を収集しておく	
2		講義	卒業制作展に使用する会場図面の作成を行う	授業に引き続き作成を行い、提出する	
3		講義	進行プランの作成方法を習得する	卒業制作展で使用する進行の情報を収集しておく	
4		講義	卒業制作展に使用する進行プランの作成を行う	授業に引き続き作成を行い、提出する	
5		講義	演出プランの作成方法を習得する	卒業制作展で登場する演出の情報を収集しておく	
6		講義	卒業制作展に使用する演出プランの作成を行う	授業に引き続き作成を行い、提出する	
7		講義	セット図の作成方法を習得する	卒業制作展で登場するセットの情報を収集しておく	
8		講義	卒業制作展に使用するセット図の作成を行う	授業に引き続き作成を行い、提出する	
9		講義	タイムテーブルの作成方法を習得する	卒業制作展小屋入り～本番までの各セクションのスケジュールを収集しておく	
10		講義	卒業制作展に使用するタイムテーブルの作成を行う	授業に引き続き作成を行い、提出する	
11		講義	同セクション担当が打ち合わせを行い、各資料問題が無いか確認する	問題や変更があった部分を修正し提出する	
12		講義	授業内課題提出による試験を行う	試験にて出来なかった部分を復習する	
13		講義	卒業制作展の舞台機構を学ぶ①	本日の授業を基に出された課題を提出する。	
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出	
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出	
準備学習 時間外学習		各課題に向けて自主的に取り組む。次回の授業時に確認。			
【使用教科書・教材・参考書】					

科目名	音楽史(邦楽)	必修選択	選択	年次	2	担当教員	江見 千尋
		授業形態					
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	講義	総時間(単位)	30 2単位			
教員の略歴							
授業の学習内容	この授業の目的は「音楽を考える力」を育むことであり、日本におけるポップ・ロックミュージックの起こりから現代まで、その発達の歴史を深く学びます。その歴史や文化に触れ、広い視点で日本におけるポピュラー音楽の位置づけを概観することができる。						
到達目標	時代の流れに沿った、日本のロック・ポップスの発達を深く知ることで、自分たちの作り出す音楽と、日本のロック・ポップスの歴史・進化を結び付け評価することができる。 また、進路となる日本のミュージックシーンすなわち業界の先輩となる方々の功績を学ぶ。						
評価方法と基準	1)定期テスト80% 2)出席数20%						

授業計画・内容							
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習	時間外学習(学習課題)		
1		講義	授業の進め方(資料、音源、映像等)の確認 日本のポップスの夜明け 美空ひばり、坂本九など昭和の象徴と呼べる大御所 グループサウンズと呼ばれたブームを探る				
2		講義	フォークの時代 吉田拓郎、井上陽水、かぐや姫などフォークの名曲を歌詞にスポットを当てて時代背景を探る				
3		講義	日本流の本格派ロック～ニューミュージック フラワートラベリングバンド、ユーミン、CHARなど、70年代のミュージックシーンを探る				
4		講義	歌謡曲とロック・ポップスの融合 山口百恵、松田聖子、中森明菜など当時のアイドル文化 職業作詞家／作曲家の存在を探る				
5		講義	ジャパニーズ・ニューウエイヴの衝撃 イエローマジックオーケストラ(YMO)を中心に日本独自のテクノポップ世界を探る				
6		講義	ロックの大衆化とバンドブーム① チッカーズ、レベッカ、BOOWYなどと共に80年代シーンを探る。メジャー・デビューについて考察。バンドブーム				
7		講義	ロックの大衆化とバンドブーム② TMネットワーク、ブルーハーツ、X JAPANなどと共に80年代シーンを探る。80年代という時代を、オーディションやCMタイアップなどから考察する。				
8		講義	90年代型ロックスターの登場① L'Arc~en~Ciel、ドリカム、B'zなどと共に90年代シーンを探る				
9		講義	90年代型ロックスターの登場② LUNA SEA、GLAYなどと共に90年代シーンを探る				
10		講義	オルタナティヴ指向の定着とシーンの二極化 PIZZICATO FIVE、Mr.Children、椎名林檎などのアーティスト考察				
11		講義	90以降 多様化を謳歌する日本の音楽シーン 多様化するシーンを、Globe、MISIA、宇多田ヒカル、MONGOL 800などのアーティストと共に探る。インディーズ、アイドル文化、アニソンなど				
12		講義	テストの実施 レポート提出				
13		講義	テスト返却、総復習 全体のふりかえり＆未来を探る				
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ レポート提出				
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ レポート提出				
準備学習 時間外学習		各課題に向けて自主的に取り組む。次回の授業時に確認。					
【使用教科書・教材・参考書】							

科目名	著作権(1)	必修選択	選択	年次	2	担当教員	西田 剛
		授業形態					
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一						
教員の略歴							
授業の学習内容	<p>この授業の目的は「音楽を考える力」を育むことであり、知的財産権の重要性が高い現代において欠かせない知識を学びます。</p> <p>それは、著作権、および著作権を活用した音楽ビジネスの世界における、お金の流れを知ることになります。</p> <p>著作物とは何か？著作権法とは何か？を、具体的なケースを題材に多角的に学習することで、基礎スキルを習得します。</p>						
到達目標	<p>著作権、および著作権を活用した音楽ビジネスの基本的な理解。</p> <p>目標とするレベル 「ビジネス著作権検定 初級」</p>						
評価方法と基準	1)定期テスト80% 2)平常点20%						

授業計画・内容							
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習	時間外学習(学習課題)		
1		講義	生活の中の「知的財産権」を知る授業での目標の確認 レベルチェック実施	毎日の生活が知的財産権にあふれていることを確認し、この授業で学ぶべきことを明確にする。			
2		講義	授業概要について明確にする「著作権の全体像」「著作物」「著作者」「著作者人格権」とは？	授業概要…著作権の全体像、著作物、著作者、著作者人格権、著作権(内容・制限・保護期間) 出版権と著作隣接権、権利侵害に対する措置、著作権法の周辺知識			
3		講義	著作権(内容・制限・保護期間) JASRAC その1	法律としての「著作権」を言葉の定義を大事にしながら一步ずつ理解する 私的録音録画、補償金制度、営利を目的としないケース等。			
4		講義	出版権と著作隣接権	実演家とは？ リテラシーも含め、権利の所在を正しく理解できるようにしよう。 プロダクション・レコード会社・音楽出版社の仕事を知る その1			
5		講義	「権利侵害に対する措置」「著作権法の周辺知識」	契約に関する知識を契約書から学んでみよう。			
6		講義	契約に関連する民法知識 JASRACその2	著作権印税の流れ。印税とは？誰にいくら、どのように支払われているのか？			
7		講義	著作物とは その2 音楽以外の著作物に関する知識	広告代理店の仕事 著作権使用料など、お金の流れを学ぶ。 パブリシティ権・肖像権・名誉毀損・誹謗中傷などの法律的な取り扱いはどうか。			
8		講義	知的財産権に関する時事ニュース著作者の権利をより深く学ぶ	著作権をめぐる裁判・判例の争点を考察する			
9		講義	身近な著作権例)パブリックビューイング	著作権等管理事業者について学ぶ JASRACについての具体的な事案を考察してみる。			
10		講義	実演家の契約について考える音楽出版社の役割	音楽出版社とは、どういう会社で、どんな役割をになっているかを学ぶ。 大きなロジックと、具体的な契約内容について理解する。			
11		講義	知的財産権全般(特許・実用新案・意匠・商標等)	時代の急激な変化とグローバルな視点での知的財産権を考える。 新たなメディア(Youtube等)との向き合い方を各自で考える。			
12		講義	テストの実施	レポート提出			
13		講義	振り返り	基本的な知識があることを前提に、具体的なケースに対応してみる。			
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出			
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出			
準備学習 時間外学習		各課題に向けて自主的に取り組む。次回の授業時に確認。					
【使用教科書・教材・参考書】							

科目名	著作権(2)	必修選択	選択	年次	2	担当教員	西田 剛
		授業形態					
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	講義	総時間(単位)	30 2単位			
教員の略歴							
授業の学習内容	<p>この授業の目的は「音楽を考える力」を育むことであり、知的財産権の重要性が高い現代において欠かせない知識を学びます。</p> <p>それは、著作権、および著作権を活用した音楽ビジネスの世界における、お金の流れを知ることになります。</p> <p>著作物とは何か？著作権法とは何か？を、具体的なケースを題材に多角的に学習することで、基礎スキルを習得します。</p>						
到達目標	<p>著作権、および著作権を活用した音楽ビジネスの基本的な理解。</p> <p>目標とするレベル 「ビジネス著作権検定 初級」</p>						
評価方法と基準	1)定期テスト80% 2)平常点20%						

授業計画・内容							
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習	時間外学習(学習課題)		
1		講義	生活の中の「知的財産権」を知る授業での目標の確認 レベルチェック実施	毎日の生活が知的財産権にあふれていることを確認し、この授業で学ぶべきことを明確にする。			
2		講義	授業概要について明確にする「著作権の全体像」「著作物」「著作者」「著作者人格権」とは？	授業概要…著作権の全体像、著作物、著作者、著作者人格権、著作権(内容・制限・保護期間) 出版権と著作隣接権、権利侵害に対する措置、著作権法の周辺知識			
3		講義	著作権(内容・制限・保護期間) JASRAC その1	法律としての「著作権」を言葉の定義を大事にしながら一步ずつ理解する 私的録音録画、補償金制度、営利を目的としないケース等。			
4		講義	出版権と著作隣接権	実演家とは？ リテラシーも含め、権利の所在を正しく理解できるようにしよう。 プロダクション・レコード会社・音楽出版社の仕事を知る その1			
5		講義	「権利侵害に対する措置」「著作権法の周辺知識」	契約に関する知識を契約書から学んでみよう。			
6		講義	契約に関連する民法知識 JASRACその2	著作権印税の流れ。印税とは？誰にいくら、どのように支払われているのか？			
7		講義	著作物とは その2 音楽以外の著作物に関する知識	広告代理店の仕事 著作権使用料など、お金の流れを学ぶ。 パブリシティ権・肖像権・名誉毀損・誹謗中傷などの法律的な取り扱いはどうか。			
8		講義	知的財産権に関する時事ニュース著作者の権利をより深く学ぶ	著作権をめぐる裁判・判例の争点を考察する			
9		講義	身近な著作権例)パブリックビューイング	著作権等管理事業者について学ぶ JASRACについての具体的な事案を考察してみる。			
10		講義	実演家の契約について考える音楽出版社の役割	音楽出版社とは、どういう会社で、どんな役割をになっているかを学ぶ。 大まかなロジックと、具体的な契約内容について理解する。			
11		講義	知的財産権全般(特許・実用新案・意匠・商標等)	時代の急激な変化とグローバルな視点での知的財産権を考える。 新たなメディア(Youtube等)との向き合い方を各自で考える。			
12		講義	テストの実施	レポート提出			
13		講義	振り返り	基本的な知識があることを前提に、具体的なケースに対応してみる。			
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出			
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出			
準備学習 時間外学習		各課題に向けて自主的に取り組む。次回の授業時に確認。					
【使用教科書・教材・参考書】							

科目名	コンサート演出研究(1)	必修選択	選択	年次	2	担当教員	唐澤淳
		授業形態					
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一						
教員の略歴							
授業の学習内容	<p>海外の最先端コンサート情報と近代コンサート事情の歴史を知り、考察することで、新しいコンサートを作るための柔軟な思考を育てる。</p> <p>1)最先端のコンサート演出、情報を知る。 2)最先端の情報の収集が出来るようになる。 3)海外コンサートの実態を知る。</p>						
到達目標	最先端のコンサートを知ることで、未来を創ることができるスタッフを目指す。						
評価方法と基準	<p>1. 実技試験(%) : 50%</p> <p>2. 課題提出(%) : 50%</p>						

授業計画・内容							
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習	時間外学習(学習課題)		
1		講義	最先端コンサートに興味を持とう	最先端のコンサートについて復習レポートを作成。			
2		講義	4/19-21のコーチェラフェスティバルを振り返る	コーチェラフェスティバルについて調べてレポートを作成。			
3		講義	NFL Superbowl Halftime Showで近代コンサートを見てみよう1995-2004、2022	近代コンサートについて調べてレポートを作成。			
4		講義	NFL Superbowl Halftime Showで近代コンサートを見てみよう2005-2013、2021	近代コンサートについて調べてレポートを作成。			
5		講義	NFL Superbowl Halftime Showで近代コンサートを見てみよう2014-2020	近代コンサートについて調べてレポートを作成。			
6		講義	コンサートとは何か?なぜ行うのか?を考える	授業内容について復習レポートを作成。			
7		講義	みんなのオススメコンサート演出の共有(1)	オススメコンサートの資料を準備する。			
8		講義	U2を中心に近代の演出考察	U2というバンドについて調べてレポートを作成。			
9		講義	BrunoMars/2017-2018 TOURを中心に近代の演出考察	BrunoMarというバンドについて調べてレポートを作成。			
10		講義	みんなのオススメコンサート演出の共有(2)	オススメコンサートの資料を準備する。			
11		講義	海外フェス演出	海外フェスについて調べてレポートを作成。			
12		講義	イベントスタッフとして演出を学ぶ①	イベントの演出についてレポートを作成。			
13		講義	イベントスタッフとして演出を学ぶ②	イベントの演出についてレポートを作成。			
14		実習	イベント・実戦を通して、達成感やチームワークを学ぶ	レポート提出			
15		実習	イベント・実戦を通して、達成感やチームワークを学ぶ	レポート提出			
準備学習 時間外学習			授業に向けて事前調べと資料の準備、授業内容の復習レポートを作成。				
【使用教科書・教材・参考書】							

科目名	コンサート演出研究(2)	必修選択	選択	年次	2	担当教員	唐澤淳
		授業形態					
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	講義	総時間(単位)	60 4単位			
教員の略歴							
授業の学習内容	<p>海外の最先端コンサート情報と近代コンサート事情の歴史を知り、考察することで、新しいコンサートを作るための柔軟な思考を育てる。</p> <p>1)最先端のコンサート演出、情報を知る。 2)最先端の情報の収集が出来るようになる。 3)海外コンサートの実態を知る。</p>						
到達目標	最先端のコンサートを知ることで、未来を創ることができるスタッフを目指す。						
評価方法と基準	<p>1. 実技試験(%) : 50%</p> <p>2. 課題提出(%) : 50%</p>						

授業計画・内容							
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習	時間外学習(学習課題)		
1		講義	現在のアメリカコンサート事情	現在のアメリカコンサート事情について復習レポートを作成。			
2		講義	Drake/2018、the carters/2018、Travis Scott/2019などHIP-HOP	HIP-HOPについて調べてレポートを作成。			
3		講義	THIS IS ITでMichel Jacksonを知る	Michel Jacksonについて調べてレポートを作成。			
4		講義	INTER BEE見学(開催日によって前後あり)	INTER BEEを調べてレポートを作成。			
5		講義	MADONNA、JanetなどのGIRL'S POPクラシック	MADONNA、Janet			
6		講義	Areana、Katy、Taylor、GagaなどのGIRL'S POP最先端	Areana、Katy、Taylor、Gaga			
7		講義	IDOL(日本除く)コンサート	IDOL(日本除く)コンサート			
8		講義	コンサート機材最新情報(Lighting & Sound Americaを使用)	コンサート機材最新情報			
9		講義	オリンピック開会式演出(平昌2018、日本2021)	オリンピック開会式演出(平昌2018、日本2021)			
10		講義	オリンピック開会式演出(リオ2016、平昌2018)、リオ東京プレゼンテーション	オリンピック開会式演出(リオ2016、平昌2018)、リオ東京プレゼンテーション			
11		講義	最新コンサート情報についての考察(1)	授業内容の復習レポートを作成。			
12		講義	最新コンサート情報についての考察(2)	授業内容の復習レポートを作成。			
13		試験	Superbowl 振り返り。復習試験。	Superbowlについてレポートを作成。			
14		実習	イベント・実戦を通して、達成感やチームワークを学ぶ	レポート提出			
15		実習	イベント・実戦を通して、達成感やチームワークを学ぶ	レポート提出			
準備学習 時間外学習		授業に向けて事前調べと資料の準備、授業内容の復習レポートを作成。					
【使用教科書・教材・参考書】							

科目名	文章基礎(3)	必修選択	選択	年次	2	担当教員	天井潤之介
		授業形態					
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	講義	総時間(単位)	60 4単位			
教員の略歴							
授業の学習内容	<p>「書く」という技術の習得。そのためのルールと基本構造を学んでもらいます。自分が考えている・思っていることを言葉／文字に変換する。そしてその言葉／文字を使いこなして、自分の考え方や意図する思いを相手に正確に「伝える」ためにはどうすればよいのか。文章力の養成を通じて、思考力やコミュニケーション能力も養成することができればベストだと考えています。授業の進め方ですが、一コマめにその日の課題となる授業内容をレクチャーし、二コマめにその授業内容に沿ったライティングを実践してもらいます。</p>						
到達目標	<p>「書く」という技術は、企画立案や会議でのプレゼンテーションなど、自分の考え方や意図を相手に正しく伝えるという様々なビジネスの場面で基礎となるものです。授業では主に音楽に関するテーマの文章作成を課すことが多くなると思いますが、そうした作業を通じて、説得力と具体性を持った論理の筋道を立てること、個人的な感想や感動を「情報整理／分析」へと昇華できるような技術と能力を養うことが目標です。</p>						
評価方法と基準	<p>課題の提出が前提、原稿の出来栄えを評価します。学習内容と到達目標を踏まえた上での総合判断を評価の基準とします。</p>						

授業計画・内容													
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習	時間外学習(学習課題)								
1		講義	年間の授業方針と文章力の必要性について学ぶ	本日の授業を基にした400字程度の課題提出									
2		演習	句読点を正しく使い、文意の伝わる文章作成を学ぶ	本日の授業を基にした400字程度の課題提出									
3		演習	句読点を正しく使い、文意の伝わる文章作成を学ぶ	本日の授業を基にした400字程度の課題提出									
4		演習	改行を使いこなし、内容や趣旨を意識した文章作成が出来るようになる	本日の授業を基にした400字程度の課題提出									
5		演習	改行を使いこなし、内容や趣旨を意識した文章作成が出来るようになる	本日の授業を基にした400字程度の課題提出									
6		演習	例文の校正・添削を通じて、「主語・述語」の使い方を学ぶ	本日の授業を基にした400字程度の課題提出									
7		演習	例文の校正・添削を通じて、「主語・述語」の使い方を学ぶ	本日の授業を基にした400字程度の課題提出									
8		演習	助詞を正しく使いこなし、誤読や誤解を生まない文章作成を学ぶ	本日の授業を基にした400字程度の課題提出									
9		演習	助詞を正しく使いこなし、誤読や誤解を生まない文章作成を学ぶ	本日の授業を基にした400字程度の課題提出									
10		演習	書き言葉と話し言葉の違いを学び効果的な使い方で文章作成を学ぶ	本日の授業を基にした400字程度の課題提出									
11		演習	書き言葉と話し言葉の違いを学び効果的な使い方で文章作成を学ぶ	本日の授業を基にした400字程度の課題提出									
12		演習	起承転結を意識した文章作成を学ぶ	本日の授業を基にした400字程度の課題提出									
13		演習	起承転結を意識した文章作成を学ぶ	本日の授業を基にした400字程度の課題提出									
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出									
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出									
準備学習 時間外学習		授業内容の復習レポートを作成し、資料のまとめ、整理をする。											
【使用教科書・教材・参考書】													
ベクターワークス トレーニングブックより抜粋													

科目名	文章基礎(4)	必修選択	選択	年次	1	担当教員	天井潤之介
		授業形態					
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一						
教員の略歴							
授業の学習内容	<p>「書く」という技術の習得。そのためのルールと基本構造を学んでもらいます。自分が考えている・思っていることを言葉／文字に変換する。そしてその言葉／文字を使いこなして、自分の考え方や意図する思いを相手に正確に「伝える」ためにはどうすればよいか。文章力の養成を通じて、思考力やコミュニケーション能力も養成することができればベストだと考えています。授業の進め方ですが、一コマめにその日の課題となる授業内容をレクチャーし、二コマめにその授業内容に沿ったライティングを実践してもらいます。</p>						
到達目標	<p>「書く」という技術は、企画立案や会議でのプレゼンテーションなど、自分の考え方や意図を相手に正しく伝えるという様々なビジネスの場面で基礎となるものです。授業では主に音楽に関するテーマの文章作成を課すことが多くなると思いますが、そうした作業を通じて、説得力と具体性を持った論理の筋道を立てること、個人的な感想や感動を「情報整理／分析」へと昇華できるような技術と能力を養うことが目標です。</p>						
評価方法と基準	<p>課題の提出が前提、原稿の出来栄えを評価します。学習内容と到達目標を踏まえた上での総合判断を評価の基準とします。</p>						

授業計画・内容													
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習	時間外学習(学習課題)								
1		講義	前期の復習。文章力の基礎を固める。	本日の授業を基にした400字程度の課題提出									
2		演習	前期の復習。文章力の基礎を固める。	本日の授業を基にした400字程度の課題提出									
3		演習	前期の復習。文章力の基礎を固める。	本日の授業を基にした400字程度の課題提出									
4		演習	両論併記を意識した文章作成を学ぶ	本日の授業を基にした400字程度の課題提出									
5		演習	両論併記を意識した文章作成を学ぶ	本日の授業を基にした400字程度の課題提出									
6		演習	文章にリズムをつけて読み手が飽きない文章作成を学ぶ	本日の授業を基にした400字程度の課題提出									
7		演習	文章にリズムをつけて読み手が飽きない文章作成を学ぶ	本日の授業を基にした400字程度の課題提出									
8		演習	漢字とひらがなのバランスを考え読みやすい文章作成を学ぶ	本日の授業を基にした400字程度の課題提出									
9		演習	漢字とひらがなのバランスを考え読みやすい文章作成を学ぶ	本日の授業を基にした400字程度の課題提出									
10		演習	同義語を意識し語彙力を上げ表現力豊かな文章作成を学ぶ	本日の授業を基にした400字程度の課題提出									
11		演習	同義語を意識し語彙力を上げ表現力豊かな文章作成を学ぶ	本日の授業を基にした400字程度の課題提出									
12		演習	段落を活用し各コンテンツに適した文字数でまとめる学ぶ	本日の授業を基にした400字程度の課題提出									
13		演習	段落を活用し各コンテンツに適した文字数でまとめる学ぶ	本日の授業を基にした400字程度の課題提出									
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出									
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出									
準備学習 時間外学習		授業内容の復習レポートを作成し、資料のまとめ、整理をする。											
【使用教科書・教材・参考書】													
ベクターワークス トレーニングブックより抜粋													

科目名	舞台知識Advance(1)	必修選択	選択	年次	2	担当教員	江見 千尋
		授業形態					
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	講義					
教員の略歴							
授業の学習内容	一年次に履修した「舞台知識」の講義をもとに、講義→演習のかたちで実際の現場で使用できる図面や資料の作成方法を学ぶ。 学内イベントミュージカル「明日への扉」を素材に実際にイベントで使用した上でより良いものにする。						
到達目標	舞台を作っていく具体的な流れ、段取りを把握し実際に現場で活用できる図面や資料を作成出来るようになる。						
評価方法と基準	課題の出来による評価を行う。 30% 期日までに課題が提出されているか・必要な資料が揃っているか・課題のテーマに則しているか・よく考えられたプランになっているかを評価 70%						

授業計画・内容							
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習	時間外学習(学習課題)		
1		講義	会場図面の作成方法を習得する	「明日への扉」で使用する会場の情報を収集しておく			
2		講義	「明日への扉」に使用する会場図面の作成を行う	授業に引き続き作成を行い、提出する			
3		講義	進行プランの作成方法を習得する	「明日への扉」で使用する進行の情報を収集しておく			
4		講義	「明日への扉」に使用する進行プランの作成を行う	授業に引き続き作成を行い、提出する			
5		講義	演出プランの作成方法を習得する	「明日への扉」で登場する演出の情報を収集しておく			
6		講義	「明日への扉」に使用する演出プランの作成を行う	授業に引き続き作成を行い、提出する			
7		講義	セット図の作成方法を習得する	「明日への扉」で登場するセットの情報を収集しておく			
8		講義	「明日への扉」に使用するセット図の作成を行う	授業に引き続き作成を行い、提出する			
9		講義	タイムテーブルの作成方法を習得する	「明日への扉」小屋入り～本番までの各セクションのスケジュールを収集しておく			
10		講義	「明日への扉」に使用するタイムテーブルの作成を行う	授業に引き続き作成を行い、提出する			
11		講義	同セクション担当が打ち合わせを行い、各資料問題が無いか確認する	問題や変更があった部分を修正し提出する。			
12		講義	授業内課題提出による試験を行う	試験にて出来なかった部分を復習する。			
13		講義	「明日への扉」を題材に舞台機構を学ぶ	本日の授業を基に出された課題を提出する。			
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出			
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出			
準備学習 時間外学習		各課題に向けて自主的に取り組む。次回の授業時に確認。					
【使用教科書・教材・参考書】							

科目名	舞台知識Advance(2)	必修選択	選択	年次	2	担当教員	江見 千尋
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業形態	講義	総時間(単位)	60 4単位		
教員の略歴							
授業の学習内容	一年次に履修した「舞台知識」の講義をもとに、講義→演習のかたちで実際の現場で使用できる図面や資料の作成方法を学ぶ。 学内イベントミュージカル「明日への扉」を素材に実際にイベントで使用した上でより良いものにする。						
到達目標	舞台を作っていく具体的な流れ、段取りを把握し実際に現場で活用できる図面や資料を作成出来るようになる。						
評価方法と基準	課題の出来による評価を行う。 30% 期日までに課題が提出されているか・必要な資料が揃っているか・課題のテーマに則しているか・よく考えられたプランになっているかを評価 70%						

授業計画・内容					
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習	時間外学習(学習課題)
1		講義	会場図面の作成方法を習得する	卒業制作展で使用する会場の情報を収集しておく	
2		講義	卒業制作展に使用する会場図面の作成を行う	授業に引き続き作成を行い、提出する	
3		講義	進行プランの作成方法を習得する	卒業制作展で使用する進行の情報を収集しておく	
4		講義	卒業制作展に使用する進行プランの作成を行う	授業に引き続き作成を行い、提出する	
5		講義	演出プランの作成方法を習得する	卒業制作展で登場する演出の情報を収集しておく	
6		講義	卒業制作展に使用する演出プランの作成を行う	授業に引き続き作成を行い、提出する	
7		講義	セット図の作成方法を習得する	卒業制作展で登場するセットの情報を収集しておく	
8		講義	卒業制作展に使用するセット図の作成を行う	授業に引き続き作成を行い、提出する	
9		講義	タイムテーブルの作成方法を習得する	卒業制作展小屋入り～本番までの各セクションのスケジュールを収集しておく	
10		講義	卒業制作展に使用するタイムテーブルの作成を行う	授業に引き続き作成を行い、提出する	
11		講義	同セクション担当が打ち合わせを行い、各資料問題が無いか確認する	問題や変更があった部分を修正し提出する	
12		講義	授業内課題提出による試験を行う	試験にて出来なかった部分を復習する	
13		講義	卒業制作展の舞台機構を学ぶ①	本日の授業を基に出された課題を提出する。	
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出	
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出	
準備学習 時間外学習		各課題に向けて自主的に取り組む。次回の授業時に確認。			
【使用教科書・教材・参考書】					

科目名	楽器知識(3)	必修選択	選択	年次	2	担当教員	水見博
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業形態	講義	総時間(単位)	30 2単位		
教員の略歴							
授業の学習内容	コンサートスタッフに必要なドラム、ベース、ギター、キーボード等の楽器に関する基礎知識を学ぶ。各楽器の構造、特徴、形状、音色、略称等を学び、ドラムのセッティング方法を習得する。						
到達目標	楽器に興味を持ち、コンサート現場やプロダクション業務、学校行事等において必要となる基本的な楽器の知識を習得する。						
評価方法と基準	筆記試験 70% レポート課題提出 30%						

授業計画・内容																	
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習	時間外学習(学習課題)												
1		講義	オリエンテーション	興味のある楽器について調べておく。													
2		講義	楽器の特徴の基礎知識を知り・覚える	楽器販売店に出向き 様々な楽器の視察、カタログの入手													
3		講義	DRUMSの基本セットを知り・覚える	販売メーカーのHP、収集したカタログを参照し、ドラムについてレポート作成。													
4		講義	DRUMの メーカー名 知る Bass Drum の 構造・特徴・組立方を知り・覚える	販売メーカーのHP、収集したカタログを参照し、バスドラについてレポート作成。													
5		講義	Snare Drumの構造・特徴・組立方を知り・覚える	販売メーカーのHP、収集したカタログを参照し、スネアについてレポート作成。													
6		講義	HI-HATの構造・特徴・組立方を知り・覚える	販売メーカーのHP、収集したカタログを参照し、ハイハットについてレポート作成。													
7		講義	HI-HAT STANDの構造・特徴・組立方を知り・覚える	販売メーカーのHP、収集したカタログを参照し、ハイハットスタンドについてレポート作成。													
8		講義	Dr 3点のセッティング・FLOOR TOM の構造・特徴を知り・覚える	販売メーカーのHP、収集したカタログを参照し、タムについてレポート作成。													
9		講義	TOM TOM の構造・特徴・組立方を知り・覚える	販売メーカーのHP、収集したカタログを参照し、タムについてレポート作成。													
10		講義	CYMBAL及びCYMBAL STANDのメーカー名・構造・特徴・組立方を知り・覚える	販売メーカーのHP、収集したカタログを参照し、シンバルについてレポート作成。													
11		講義	DRUMS 基本セット 全体のセッティングを知り・覚える	販売メーカーのHP、収集したカタログを参照し、セット全般についてレポート作成。													
12		講義	DRUMS 基本セット 全体のセッティングを知り・覚える	販売メーカーのHP、収集したカタログを参照し、セット全般についてレポート作成。													
13		講義	明日への扉にスタッフとして参加し、仕込みやミュージカル現場についての理解を深める①	使用されている楽器(劇中バンド)についてレポートを作成。													
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出													
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出													
準備学習 時間外学習		授業内容と関連した楽器についてカタログやHP等で調べ、レポートを作成。															
【使用教科書・教材・参考書】																	
iPad、各楽器メーカーの商品カタログ																	

科目名	楽器知識(4)	必修選択	選択	年次	2	担当教員	水見博
		授業形態					
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	講義	総時間(単位)	30 2単位			
教員の略歴							
授業の学習内容	コンサートスタッフに必要なドラム、ベース、ギター、キーボード等の楽器に関する基礎知識を学ぶ。各楽器の構造、特徴、形状、音色、略称等を学び、ドラムのセッティング方法を習得する。						
到達目標	楽器に興味を持ち授業に於いて基礎知識(名称・構造・特徴・形・音色・セッティング方法・音の出し方)等を習得し、学内イベント等現場での経験を通じ、実践力を養い将来的即戦力につなげる。						
評価方法と基準	筆記試験 70% レポート課題提出 30%						

授業計画・内容													
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習	時間外学習(学習課題)								
1		講義	前期の総復習 DrSETのSETTING	ドラムセッティングの復習レポートを作成。									
2		講義	電気に関する事を知り、覚える	海外と国内の電源事情を調べてレポートを作成。									
3		講義	弦楽器全般について	楽器販売店にてカタログを収集する。									
4		講義	弦楽器 ギターについて	販売メーカーのHP、収集したカタログの参照しギターについてレポート作成。									
5		講義	弦楽器 ベースについて	販売メーカーのHP、収集したカタログの参照しベースについてレポート作成。									
6		講義	弦楽器 ギター、ベースアンプの基礎知識について	販売メーカーのHP、収集したカタログの参照しアンプについてレポート作成。									
7		講義	弦楽器 ギター、ベースアンプのトランジスターアンプ知識について	販売メーカーのHP、収集したカタログの参照しアンプについてレポート作成。									
8		講義	弦楽器 ギター、ベースアンプの真空管アンプ知識について	販売メーカーのHP、収集したカタログの参照し真空管アンプについてレポート作成。									
9		講義	鍵盤楽器 全般においての基礎知識	販売メーカーのHP、収集したカタログの参照し鍵盤楽器についてレポート作成。									
10		講義	鍵盤楽器 デジタルシンセサイザーについて	販売メーカーのHP、収集したカタログの参照しデジタルシンセサイザーについてレポート作成。									
11		講義	後期講義に関してのまとめ	上記以外で興味のある楽器について調べてレポート作成。									
12		講義	楽器についての総まとめ	過去資料を参考し理解を深める。									
13		講義	進級制作展にスタッフとして参加し、楽器仕込みや音についての理解を深める。	使用されている楽器についてレポートを作成。									
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出									
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出									
準備学習 時間外学習		授業内容と関連した楽器についてカタログやHP等で調べ、レポートを作成。											
【使用教科書・教材・参考書】													
iPad、各楽器メーカーの商品カタログ													

科目名	舞台スタッフ基礎講座(1)	必修選択	選択	年次	2	担当教員 北英樹	
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業形態	講義	総時間(単位)	30 2単位		
教員の略歴							
授業の学習内容	舞台美術、デザイン、PA、照明、特効等の舞台制作及び舞台監督に於いて有益な他セクションの仕事を学ぶ講義及び実技						
到達目標	舞台美術、デザイン、舞台制作、PA、照明、楽器、特効等の具体的な内容を習得して将来的な仕事での知識及び即戦力に繋げる						
評価方法と基準	1)定期試験90% 2)小テスト5% 3)レポート・論文5% 1)定期テスト50% 2)出席数50% 1)定期テスト(筆記50% 実技50%)						

授業計画・内容											
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習	時間外学習(学習課題)						
1		講義	オリエンテーションコンサートツアーの仕組みを理解する	授業日時間を確実に理解する日本の都道府県名を調べる							
2		講義・演習	舞台備品に関して理解する	舞台備品とは何かを調べる							
3		講義	PAの基礎知識に関して理解する	PAとは何かを調べる							
4		講義	照明の基礎知識に関して理解する	照明とは何かを調べる							
5		講義・演習	映像の基礎知識に関して理解する	映像とは何かを調べる							
6		講義・演習	映像機材及びシステムに関して理解する	映像の機材とは何かを調べる							
7		試験・演習	中間試験及び復習講義	講義の内容の復習をする							
8		講義・演習	PA機材及びシステムを理解する	PA機材の種類システムを調べる							
9		講義・演習	照明機材及びシステムを理解する	照明機材の種類システムを調べる							
10		講義・演習	舞台での足場に関して理解する	舞台での足場とは何か調べる							
11		講義・演習	楽器に関して理解する	楽器の種類を調べる							
12		講義・演習	特殊効果に関して理解する	特殊効果とは何かを調べる							
13		講義・演習	前期テスト(筆記及び実技)	前期の全ての授業内容の復習							
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出							
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出							
準備学習 時間外学習		準備学習 各授業のテーマを調べて下さい 時間外学習 授業日の曜日に必ず復習して下さい									
【使用教科書・教材・参考書】											
学内にある全ての機材の使用											

科目名	舞台スタッフ基礎講座(2)	必修選択	選択	年次	2	担当教員 北英樹	
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業形態	講義	総時間(単位)	30 2単位		
教員の略歴							
授業の学習内容	舞台美術、デザイン、PA、照明、特効等の舞台制作及び舞台監督に於いて有益な他セクションの仕事を学ぶ講義及び実技						
到達目標	舞台美術、デザイン、舞台制作、PA、照明、楽器、特効等の具体的な内容を習得して将来的な仕事での知識及び即戦力に繋げる						
評価方法と基準	1)定期試験90% 2)小テスト5% 3)レポート・論文5% 1)定期テスト50% 2)出席数50% 1)定期テスト(筆記50% 実技50%)						

授業計画・内容									
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習	時間外学習(学習課題)				
1		講義	オリエンテーションコンサートツアーの仕組みを理解する	授業日時間を確実に理解する日本の都道府県名を調べる					
2		講義・演習	舞台備品に関して理解する	舞台備品とは何かを調べる					
3		講義	PAの基礎知識に関して理解する	PAとは何かを調べる					
4		講義	照明の基礎知識に関して理解する	照明とは何かを調べる					
5		講義・演習	映像の基礎知識に関して理解する	映像とは何かを調べる					
6		講義・演習	映像機材及びシステムに関して理解する	映像の機材とは何かを調べる					
7		試験・演習	中間試験及び復習講義	講義の内容の復習をする					
8		講義・演習	PA機材及びシステムを理解する	PA機材の種類システムを調べる					
9		講義・演習	照明機材及びシステムを理解する	照明機材の種類システムを調べる					
10		講義・演習	舞台での足場に関して理解する	舞台での足場とは何か調べる					
11		講義・演習	楽器に関して理解する	楽器の種類を調べる					
12		講義・演習	特殊効果に関して理解する	特殊効果とは何かを調べる					
13		講義・演習	前期テスト(筆記及び実技)	前期の全ての授業内容の復習					
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出					
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出					
準備学習 時間外学習		準備学習 各授業のテーマを調べて下さい 時間外学習 授業日の曜日に必ず復習して下さい							
【使用教科書・教材・参考書】									
学内にある全ての機材の使用									

科目名	舞台機構調整士 II(1)	必修選択	選択	年次	2	担当教員	北英樹
		授業形態					
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	講義	総時間(単位)	30 2単位			
教員の略歴							
授業の学習内容	舞台機構調整技能検定3級試験対策授業。試験の合格を目指す。問題集を利用した筆記試験対策と作業試験対策として反復練習を繰り返し行う。						
到達目標	7月に実施の3級舞台機構調整技能士(厚生労働省)の取得。						
評価方法と基準	小テスト 20% 学習ジャーナル 10% 筆記試験 35% 実技試験 35%						

授業計画・内容													
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習	時間外学習(学習課題)								
1		講義	講師紹介、授業の進め方、教科書の確認、3級舞台機構調整技能士について学習する。	シラバス、教科書、確認しておく。									
2		講義	2018年度筆記試験の解説を行い、過去問題に取組む。	2018年度の筆記試験問題を自習する。									
3		講義	2017年度過去問題に取組み、検証する。作業試験についての流れを理解する。	2017年度の筆記試験問題を自習する。									
4		講義	2016年度過去問題に取組み、検証する。作業試験の内容について把握する。	2016年度の筆記試験問題を自習する。									
5		講義	2015年度過去問題に取組み、検証する。作業試験の練習をする。	2015年度の筆記試験問題を自習する。作業試験の練習をする。									
6		講義	2014年度過去問題に取組み、検証する。作業試験の練習をする。	2014年度の筆記試験問題を自習する。作業試験の練習をする。									
7		講義	2013年度過去問題に取組み、検証する。作業試験の練習をする。	2013年度の筆記試験問題を自習する。作業試験の練習をする。									
8		講義	2012年度過去問題に取組み、検証する。作業試験が制限時間内に出来るよう練習する。	2012年度の筆記試験問題を自習する。作業試験の練習をする。									
9		講義	作業試験仕上げ。一人ひとりの問題点を洗い出し修正する。	作業試験の練習を自習する。									
10		講義	作業試験仕上げ。一人ひとりの問題点を洗い出し修正する。	作業試験の練習を自習する。									
11		講義	作業試験の最終調整を行い、合格を目指す。	作業試験の練習を自習する。									
12		講義	試験の振り返りを行い、問題点改善に取り組む。	作業試験の練習を自習する。									
13		講義	「明日への扉」音響スタッフとして参加し、仕込み、パラシ、プラン、オペレート等を理解する。	現場において気付いた事柄をまとめてレポート提出する。									
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出									
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出									
準備学習 時間外学習		現場に積極的に参加する事。予習、復習を必ず行う事。体調管理しっかりする事。											
【使用教科書・教材・参考書】													
PA入門改訂版、ステージ、PA、照明用語事典、舞台音響技能検定過去問題ナビゲーション3級													

科目名	舞台機構調整士Ⅱ(2)	必修選択	選択	年次	2	担当教員	北英樹
		授業形態					
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	講義	総時間(単位)	30 2単位			
教員の略歴							
授業の学習内容	音の性質、音響心理、電気の基礎、アース、ノイズ、電気音響機器、楽器音、音楽の判断、PAシステム組み上げおよび調整を学ぶ。						
到達目標	PAシステムを組み上げられるようになる。音波の性質を理解して調整ができるようになる。						
評価方法と基準	小テスト 20% 学習ジャーナル 10% 筆記試験 35% 実技試験 35%						

授業計画・内容													
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習	時間外学習(学習課題)								
1		講義	マイク種類、ダイナミック、コンデンサーマイクについて学ぶ。	マイク種類、ダイナミック、コンデンサーマイクについて復習レポートを作成。									
2		講義	ワイヤレスマイク、指向性について学ぶ。	ワイヤレスマイク、指向性について復習レポートを作成。									
3		講義	スピーカー、エンクロージャーについて学ぶ。	スピーカー、エンクロージャーについて復習レポートを作成。									
4		講義	スピーカーシステム、ヘッドフォンについて学ぶ。	スピーカーシステム、ヘッドフォンについて復習レポートを作成。									
5		講義	プロセッサー、クロスオーバー、パワーアンプについて学ぶ。	プロセッサー、クロスオーバー、パワーアンプについて復習レポートを作成。									
6		講義	アナログとデジタル、ミキシングコンソールについて学ぶ。	アナログとデジタル、ミキシングコンソールについて復習レポートを作成。									
7		講義	インプットモジュール、HAの性能について学ぶ。	インプットモジュール、HAの性能について復習レポートを作成。									
8		講義	イコライザー、AUXについて学ぶ。	イコライザー、AUXについて復習レポートを作成。									
9		講義	マスターセクションについて学ぶ。	マスターセクションについて復習レポートを作成。									
10		講義	エフェクターの種類、周波数系エフェクター、GEQ,PEQについて学ぶ。	エフェクターの種類、周波数系エフェクター、GEQ,PEQについて復習レポートを作成。									
11		講義	ダイナミクス系エフェクターについて学ぶ。	ダイナミクス系エフェクターについて復習レポートを作成。									
12		講義	空間系エフェクターについて学ぶ。	空間系エフェクターについて復習レポートを作成。									
13		講義	卒業制作展に音響スタッフとして参加し仕込み、バランス、プラン、オペレート等を理解する。	現場において気付いた事柄をまとめてレポート提出する。									
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出									
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出									
準備学習 時間外学習		現場に積極的に参加する事。予習、復習を必ず行う事。体調管理しっかりする事。											
【使用教科書・教材・参考書】													
PA入門改訂版、ステージ、PA、照明用語事典、舞台音響技能検定過去問題ナビゲーション3級													

科目名	音響学(1)	必修選択	選択	年次	2	担当教員	北英樹
		授業形態					
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	講義	総時間(単位)	30 2単位			
教員の略歴							
授業の学習内容	前期は舞台機構調整士の授業と連動して舞台機構調整技能検定3級試験対策を授業として行い、試験の合格を目指す。問題集を利用した筆記試験対策と作業試験対策として反復練習を繰り返し行う。						
到達目標	7月に実施の3級舞台機構調整技能士(厚生労働省)の取得。						
評価方法と基準	小テスト 20% 学習ジャーナル 10% 筆記試験 35% 実技試験 35%						

授業計画・内容													
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習	時間外学習(学習課題)								
1		講義	授業の進め方、教科書の説明、3級舞台機構調整技能士について学ぶ。	シラバス、教科書、確認しておく。									
2		講義	筆記試験解説 作業試験のケーブル巻き、マイクスタンド、PA卓等の仕込みを理解する。	ケーブル巻き、マイクスタンド、PA卓等の仕込みについて復習レポートを作成。									
3		講義	筆記試験解説 作業試験のマイキング、PA卓の扱い方を理解する。	マイキング、PA卓の扱い方について復習レポートを作成。									
4		講義	筆記試験解説 作業試験のポン出し、フェーダー操作を理解する。	ポン出し、フェーダー操作について復習レポートを作成。									
5		講義	筆記試験解説 作業試験の台本読み、試験官とのやりとりについて学ぶ。	台本読み、試験官とのやりとりについて復習レポートを作成。									
6		講義	筆記試験解説 作業試験の一連の流れを通して行う。	一連の流れ作業について復習レポートを作成。									
7		講義	筆記試験解説 作業試験を制限時間内に出来るよう取り組む。	制限時間内に作業をするについて復習レポートを作成。									
8		講義	筆記試験解説 作業試験について生徒別に問題点を修正する。	自分の問題点を補うための練習をする。									
9		講義	筆記試験解説 作業試験練習(反復練習①)	自主練習をする。									
10		講義	筆記試験解説 作業試験練習(反復練習②)	自主練習をする。									
11		講義	筆記試験解説 作業試験練習(反復練習③)	自主練習をする。									
12		講義	試験を終えての反省点、問題点の考查	試験を終えての反省点をレポートにまとめておく。									
13		講義	明日への扉のPAスタッフとして舞台音響の経験を積む(1)	稽古立会い、資料の作成。									
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出									
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出									
準備学習 時間外学習		現場に積極的に参加する事。予習、復習を必ず行う事。体調管理しっかりする事。											
【使用教科書・教材・参考書】													
PA入門改訂版、ステージ、PA、照明用語事典、舞台音響技能検定過去問題ナビゲーション3級													

科目名	音響学(2)	必修選択	選択	年次	2	担当教員	北英樹
		授業形態					
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	講義	総時間(単位)	30 2単位			
教員の略歴							
授業の学習内容	音の性質、音響心理、電気の基礎、アース、ノイズ、電気音響機器、楽器音、音楽の判断、PAシステム組み上げおよび調整を学ぶ。						
到達目標	PAシステムを組み上げられるようになる。音波の性質を理解して調整ができるようになる。						
評価方法と基準	小テスト 20% 学習ジャーナル 10% 筆記試験 35% 実技試験 35%						

授業計画・内容													
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習	時間外学習(学習課題)								
1		講義	マイク種類、ダイナミック、コンデンサーマイクについて学ぶ。	マイク種類、ダイナミック、コンデンサーマイクについて復習レポートを作成。									
2		講義	ワイヤレスマイク、指向性について学ぶ。	ワイヤレスマイク、指向性について復習レポートを作成。									
3		講義	スピーカー、エンクロージャーについて学ぶ。	スピーカー、エンクロージャーについて復習レポートを作成。									
4		講義	スピーカーシステム、ヘッドフォンについて学ぶ。	スピーカーシステム、ヘッドフォンについて復習レポートを作成。									
5		講義	プロセッサー、クロスオーバー、パワーアンプについて学ぶ。	プロセッサー、クロスオーバー、パワーアンプについて復習レポートを作成。									
6		講義	アナログとデジタル、ミキシングコンソールについて学ぶ。	アナログとデジタル、ミキシングコンソールについて復習レポートを作成。									
7		講義	インプットモジュール、HAの性能について学ぶ。	インプットモジュール、HAの性能について復習レポートを作成。									
8		講義	イコライザー、AUXについて学ぶ。	イコライザー、AUXについて復習レポートを作成。									
9		講義	マスターセクションについて学ぶ。	マスターセクションについて復習レポートを作成。									
10		講義	エフェクターの種類、周波数系エフェクター、GEQ,PEQ について学ぶ。	エフェクターの種類、周波数系エフェクター、GEQ,PEQについて復習レポートを作成。									
11		講義	ダイナミクス系エフェクターについて学ぶ。	ダイナミクス系エフェクターについて復習レポートを作成。									
12		講義	空間系エフェクターについて学ぶ。	空間系エフェクターについて復習レポートを作成。									
13		講義	卒業制作展に音響スタッフとして参加し、実際の現場で必要となる仕込み、パラシ、プラン、オペレート等を理解する。	現場において気付いた事柄をまとめてレポート提出する。									
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出									
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出									
準備学習 時間外学習		現場に積極的に参加する事。予習、復習を必ず行う事。体調管理しっかりする事。											
【使用教科書・教材・参考書】													
PA入門改訂版、ステージ、PA、照明用語事典、舞台音響技能検定過去問題ナビゲーション3級													

科目名	楽器知識(3)	必修選択	選択	年次	2	担当教員	水見博
		授業形態					
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	講義	総時間(単位)	30 2単位			
教員の略歴							
授業の学習内容	コンサートスタッフに必要なドラム、ベース、ギター、キーボード等の楽器に関する基礎知識を学ぶ。各楽器の構造、特徴、形状、音色、略称等を学び、ドラムのセッティング方法を習得する。						
到達目標	楽器に興味を持ち、コンサート現場やプロダクション業務、学校行事等において必要となる基本的な楽器の知識を習得する。						
評価方法と基準	筆記試験 70% レポート課題提出 30%						

授業計画・内容													
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習	時間外学習(学習課題)								
1		講義	オリエンテーション	興味のある楽器について調べておく。									
2		講義	楽器の特徴の基礎知識を知り・覚える	楽器販売店に出向き 様々な楽器の視察、カタログの入手									
3		講義	DRUMSの基本セットを知り・覚える	販売メーカーのHP、収集したカタログを参照し、ドラムについてレポート作成。									
4		講義	DRUMの メーカー名 知る Bass Drum の 構造・特徴・組立方を知り・覚える	販売メーカーのHP、収集したカタログを参照し、バスドラについてレポート作成。									
5		講義	Snare Drumの構造・特徴・組立方を知り・覚える	販売メーカーのHP、収集したカタログを参照し、スネアについてレポート作成。									
6		講義	HI-HATの構造・特徴・組立方を知り・覚える	販売メーカーのHP、収集したカタログを参照し、ハイハットについてレポート作成。									
7		講義	HI-HAT STANDの構造・特徴・組立方を知り・覚える	販売メーカーのHP、収集したカタログを参照し、ハイハットスタンドについてレポート作成。									
8		講義	Dr 3点のセッティング・FLOOR TOM の構造・特徴を知り・覚える	販売メーカーのHP、収集したカタログを参照し、タムについてレポート作成。									
9		講義	TOM TOM の構造・特徴・組立方を知り・覚える	販売メーカーのHP、収集したカタログを参照し、タムについてレポート作成。									
10		講義	CYMBAL及びCYMBAL STANDのメーカー名・構造・特徴・組立方を知り・覚える	販売メーカーのHP、収集したカタログを参照し、シンバルについてレポート作成。									
11		講義	DRUMS 基本セット 全体のセッティングを知り・覚える	販売メーカーのHP、収集したカタログを参照し、セット全般についてレポート作成。									
12		講義	DRUMS 基本セット 全体のセッティングを知り・覚える	販売メーカーのHP、収集したカタログを参照し、セット全般についてレポート作成。									
13		講義	明日への扉にスタッフとして参加し、仕込みやミュージカル現場についての理解を深める①	使用されている楽器(劇中バンド)についてレポートを作成。									
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出									
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出									
準備学習 時間外学習		授業内容と関連した楽器についてカタログやHP等で調べ、レポートを作成。											
【使用教科書・教材・参考書】													
iPad、各楽器メーカーの商品カタログ													

科目名	楽器知識(4)	必修選択	選択	年次	2	担当教員	水見博
		授業形態					
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	講義	総時間(単位)	30 2単位			
教員の略歴							
授業の学習内容	コンサートスタッフに必要なドラム、ベース、ギター、キーボード等の楽器に関する基礎知識を学ぶ。各楽器の構造、特徴、形状、音色、略称等を学び、ドラムのセッティング方法を習得する。						
到達目標	楽器に興味を持ち授業に於いて基礎知識(名称・構造・特徴・形・音色・セッティング方法・音の出し方)等を習得し、学内イベント等現場での経験を通じ、実践力を養い将来的即戦力につなげる。						
評価方法と基準	筆記試験 70% レポート課題提出 30%						

授業計画・内容													
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習	時間外学習(学習課題)								
1		講義	前期の総復習 DrSETのSETTING	ドラムセッティングの復習レポートを作成。									
2		講義	電気に関する事を知り、覚える	海外と国内の電源事情を調べてレポートを作成。									
3		講義	弦楽器全般について	楽器販売店にてカタログを収集する。									
4		講義	弦楽器 ギターについて	販売メーカーのHP、収集したカタログの参照しギターについてレポート作成。									
5		講義	弦楽器 ベースについて	販売メーカーのHP、収集したカタログの参照しベースについてレポート作成。									
6		講義	弦楽器 ギター、ベースアンプの基礎知識について	販売メーカーのHP、収集したカタログの参照しアンプについてレポート作成。									
7		講義	弦楽器 ギター、ベースアンプのトランジスターアンプ知識について	販売メーカーのHP、収集したカタログの参照しアンプについてレポート作成。									
8		講義	弦楽器 ギター、ベースアンプの真空管アンプ知識について	販売メーカーのHP、収集したカタログの参照し真空管アンプについてレポート作成。									
9		講義	鍵盤楽器 全般においての基礎知識	販売メーカーのHP、収集したカタログの参照し鍵盤楽器についてレポート作成。									
10		講義	鍵盤楽器 デジタルシンセサイザーについて	販売メーカーのHP、収集したカタログの参照しデジタルシンセサイザーについてレポート作成。									
11		講義	後期講義に関してのまとめ	上記以外で興味のある楽器について調べてレポート作成。									
12		講義	楽器についての総まとめ	過去資料を参考し理解を深める。									
13		講義	進級制作展にスタッフとして参加し、楽器仕込みや音についての理解を深める。	使用されている楽器についてレポートを作成。									
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出									
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出									
準備学習 時間外学習		授業内容と関連した楽器についてカタログやHP等で調べ、レポートを作成。											
【使用教科書・教材・参考書】													
iPad、各楽器メーカーの商品カタログ													

科目名	Ableton Live(1)	必修選択	選択	年次	2	担当教員 阿瀬 文彦	
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業形態	講義	総時間(単位)	30 2単位		
教員の略歴							
授業の学習内容	コンサートや舞台などの現場を想定したAbleton Liveの使用法の学習。						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・PA現場で必須となっているAbleton Liveのオペレートを習得。 ・現場でのLiveセットの仕込みをスピーディーに行える。 ・オーディオトラック、MIDIトラックの編集技術を習得。 						
評価方法と基準	定期テスト(実技試験:70%) 出席率30%						

授業計画・内容						
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習	時間外学習(学習課題)	
1		講義	起動方法からLiveの初期設定、基本概念と特徴、PA現場での具体的な活用方法	授業内容の復習		
2		講義	Ableton Liveセッションビューについて	セッションビューについて復習		
3		講義	Ableton Liveアレンジメントビューについて	アレンジメントビューについて復習		
4		講義	Ableton LiveのWarpモードでの各パラメーターの特性	授業で学んだ特性について復習		
5		講義	舞台を想定したポン出しの仕込み1	仕込みと手順について復習1		
6		講義	舞台を想定したポン出しの仕込み2	仕込みと手順について復習2		
7		講義	MIDIコントローラーの設定と操作	設定と操作について復習		
8		講義	ライブ・コンサートでのマニピュレート技術を学習	授業内容の復習		
9		講義	ライブ・コンサートでのオケの仕込み	授業内容の復習		
10		講義	演者のイヤモニへ送るクリック・トラックの作成とルーティングを学習	授業内容の復習		
11		講義	ライブ・トラックのサイズや構成の変更を学習	授業内容の復習		
12		講義	内蔵エフェクトについて学習	授業で紹介した各エフェクトについて復習		
13		試験	実技試験	試験で作成したLiveセットを再度確認し内容を復習		
14		実習	イベント・実戦を通して、達成感やチームワークを学ぶ	レポート提出		
15		実習	イベント・実戦を通して、達成感やチームワークを学ぶ	レポート提出		
準備学習 時間外学習						
【使用教科書・教材・参考書】						

科目名	Ableton Live(2)	必修選択	選択	年次	2	担当教員 阿瀬 文彦						
		授業形態	講義	総時間(単位)	30 2単位							
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一											
教員の略歴												
授業の学習内容	コンサートや舞台などの現場を想定したAbleton Liveの使用法の学習。											
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・PA現場で必須となっているAbleton Liveのオペレートを習得。 ・現場でのLiveセットの仕込みをスピーディーに行える。 ・オーディオトラック、MIDIトラックの編集技術を習得。 											
評価方法と基準	定期テスト(実技試験:70%) 出席率30%											

授業計画・内容							
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習	時間外学習(学習課題)		
1		講義・実習	Ableton Liveでのオーディオレコーディング実習	授業内容の復習			
2		講義・実習	前回の授業でレコーディングしたオーディオ素材のエディット作業	学習したエディット方法の復習			
3		講義・実習	Ableton Liveでマルチマイクで収録したドラム素材のミックス処理	学習したミックスの復習			
4		講義・実習	Ableton Liveでの楽曲バラデータを使用してのミックスを学習1	授業で配布したデータの確認と整理1			
5		講義・実習	Ableton Liveでの楽曲バラデータを使用してのミックスを学習2	授業で配布したデータの確認と整理2			
6		講義・実習	MIDIトラックでの基本的な打ち込みを学習1	授業内容の復習			
7		講義・実習	MIDIトラックでの基本的な打ち込みを学習2	授業内容の復習			
8		講義・実習	Ableton Live内蔵サンプラーの学習	授業内容の復習			
9		講義・実習	Ableton Live内蔵シンセサイザーの学習	授業内容の復習			
10		講義・実習	Ableton Liveのグループクォンタイズについて学習	オーディオのクォンタイズについて復習			
11		講義・実習	サンブルエディタを使用したオーディオのタイミング補正を学習	タイミング補正について復習			
12		講義・実習	セッションビューを使用してのライブパフォーマンス。素材仕込み	授業で作成したデータの整理			
13		試験	実技試験	試験で作成したLiveセットを再度確認し内容をしっかり復習する			
14		実習	イベント・実戦を通して、達成感やチームワークを学ぶ	レポート提出			
15		実習	イベント・実戦を通して、達成感やチームワークを学ぶ	レポート提出			
準備学習 時間外学習							
【使用教科書・教材・参考書】							

科目名	Vector Works Advance(1)	必修選択	選択	年次	2	担当教員	川原宏幸
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業形態	講義	総時間(単位)	60 4単位		
教員の略歴							
授業の学習内容	ライブハウスから劇場・アリーナまでの各様々なサイズの公演図面を作成する。						
到達目標	実際の公演で使用される舞台図面を作成するスキルを身につける。						
評価方法と基準	実技試験						

授業計画・内容																	
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習	時間外学習(学習課題)												
1		講義	基本操作復習・確認	基本的なPC操作の復習レポートを作成。													
2		講義	図面を作成①:ライブハウスサイズ	ライブハウスサイズ図面作成の復習レポートを作成。													
3		講義	図面を作成②:ライブハウスサイズ	ライブハウスサイズ図面作成の復習レポートを作成。													
4		講義	図面を作成③:ホールサイズ	ホールサイズ図面作成の復習レポートを作成。													
5		講義	図面を作成④:学園祭セット図作成	学園祭図面作成の復習レポートを作成。													
6		講義	図面を作成⑤:学園祭まとめ	学園祭資料を整理													
7		講義	図面を作成⑥:ホールサイズ	ホールサイズ図面作成の復習レポートを作成。													
8		講義	図面を作成⑦:ホールサイズ	ホールサイズ図面作成の復習レポートを作成。													
9		講義	図面を作成⑧:舞台セット図基本	舞台セット図作成の復習レポートを作成。													
10		講義	図面を作成⑨:舞台セット図応用	舞台セット図作成の復習レポートを作成。													
11		講義	図面を作成⑩:舞台平面図作成	舞台平面図作成の復習レポートを作成。													
12		講義	図面を作成⑪:舞台断面図制作	舞台断面図作成の復習レポートを作成。													
13		講義	明日への扉の舞台演出部として参加。ミュージカル舞台の図面を作成する。	明日への扉の図面作成と資料の整理													
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出													
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出													
準備学習 時間外学習		授業内容の復習レポートを作成。															
【使用教科書・教材・参考書】																	
ベクターワークス トレーニングブックより抜粋・実公演図面																	

科目名	Vector Works Advance(2)	必修選択	選択	年次	2	担当教員	川原宏幸
		授業形態					
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	講義	総時間(単位)	60 4単位			
教員の略歴							
授業の学習内容	ライブハウスから劇場・アリーナまでの様々なサイズの公演図面を作成する。						
到達目標	実際の公演で使用される舞台図面を作成するスキルを身につける。						
評価方法と基準	実技試験						

授業計画・内容									
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習	時間外学習(学習課題)				
1		講義	前期内容を確認	基本的なベクターワークスの復習レポートを作成。					
2		講義	シンボル登録の理解	シンボル登録について復習レポートを作成。					
3		講義	シンボル登録の展開操作	シンボル登録について復習レポートを作成。					
4		講義	立体图形を創る	立体图形について復習レポートを作成。					
5		講義	立面図を作る①	立面図について復習レポートを作成。					
6		講義	立面図を作る②	立面図について復習レポートを作成。					
7		講義	外部リハーサル会場の図面作成①	リハーサル会場図面の復習レポートを作成。					
8		講義	外部リハーサル会場の図面作成②	リハーサル会場図面の復習レポートを作成。					
9		講義	we are!TSM渋谷演目別図面展開①	舞台セット図の復習レポートを作成。					
10		講義	we are!TSM渋谷演目別図面展開②	舞台セット図の復習レポートを作成。					
11		講義	we are!TSM渋谷演目別図面展開③	舞台セット図の復習レポートを作成。					
12		講義	we are!TSM渋谷演目別図面展開④	舞台セット図の復習レポートを作成。					
13		講義	卒業進級制作展の舞台進行チームとして参加。コンサートイベント舞台の図面を作成する。	卒業進級制作展の図面作成と資料の整理					
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出					
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出					
準備学習 時間外学習		授業内容の復習レポートを作成し、卒業進級制作展の準備を行う。							
【使用教科書・教材・参考書】									
ベクターワークス レーニングブックより抜粋・実公演図面									

科目名	舞台美術概論(1)	必修選択	選択	年次	2	担当教員	北英樹
		授業形態					
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	講義	総時間(単位)	30 2単位			
教員の略歴							
授業の学習内容	舞台美術(セット)はなくてはならない物です。それを理解することはコンサート系コースのどのコースにおいても必ず意味があります。この授業では、紀元前からの舞台史を学び、舞台美術の知識を通してイマジネイションを広げて、スキルを上げていきます。						
到達目標	舞台の歴史を知ることで、これから新しいイベント、舞台を創造しゆく知識を習得することができ、創造力豊かな舞台スタッフとしての人材を育成する。						
評価方法と基準	筆記試験 50% 実技試験 50%						

授業計画・内容													
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習	時間外学習(学習課題)								
1		講義	舞台美術全般についての概要を説明する。	授業内容について復習レポートを作成。									
2		講義	様々なジャンルのパフォーマンスについて学ぶ(日本のコンサート)	日本のコンサートについて復習レポートを作成。									
3		講義	様々なジャンルのパフォーマンスについて学ぶ(ミュージカル)	ミュージカルについて復習レポートを作成。									
4		講義	様々なジャンルのパフォーマンスについて学ぶ(ストレートプレイ)	ストレートプレイについて復習レポートを作成。									
5		講義	様々なジャンルのパフォーマンスについて学ぶ(ダンスパフォーマンス)	ダンスパフォーマンスについて復習レポートを作成。									
6		講義	様々なジャンルのパフォーマンスについて学ぶ(世界のコンサート)	世界のコンサートについて復習レポートを作成。									
7		講義	様々なジャンルのパフォーマンスについて学ぶ(ショップデザイン)	ショップデザインについて復習レポートを作成。									
8		講義	様々なジャンルのパフォーマンスについて学ぶ(ウインドウディスプレイ)	ウインドウディスプレイについて復習レポートを作成。									
9		講義	舞台美術スタッフの仕事を学ぶ	舞台美術スタッフの仕事をについて復習レポートを作成。									
10		講義	工具、道具の知識と扱い方を学ぶ	工具、道具の知識と扱い方について復習レポートを作成。									
11		講義	美術デザイナーの仕事について学ぶ	美術デザイナーの仕事について復習レポートを作成。									
12		講義	舞台演出について学ぶ	舞台演出について復習レポートを作成。									
13		講義	演劇公演の美術製作に関わる①	演劇公演の美術製作について復習レポートを作成。									
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出									
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出									
準備学習 時間外学習		準備学習 各授業のテーマを調べて下さい 時間外学習 授業日の曜日に必ず復習して下さい □											
【使用教科書・教材・参考書】													
学内にある全ての機材の使用													

科目名	舞台美術概論(2)	必修選択	選択	年次	2	担当教員	北英樹
		授業形態					
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	講義	総時間(単位)	30 2単位			
教員の略歴							
授業の学習内容	舞台美術(セット)はなくてはならない物です。それを理解することはコンサート系コースのどのコースにおいても必ず意味があります。この授業では、紀元前からの舞台史を学び、舞台美術の知識を通してイマジネイションを広げて、スキルを上げていきます。						
到達目標	舞台の歴史を知ることで、これから新しいイベント、舞台を創造しゆく知識を習得することができ、創造力豊かな舞台スタッフとしての人材を育成する。						
評価方法と基準	筆記試験 50% 実技試験 50%						

授業計画・内容													
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習	時間外学習(学習課題)								
1		講義・演習	オリエンテーション舞台美術概論の授業内容を理解する	授業日時間を把握する舞台美術とは何か調べる									
2		講義・演習	舞台美術デザインに関して理解する	デザインとは何か調べる									
3		講義・演習	舞台美術家に関して理解する	舞台美術家のとは何か調べる									
4		講義・演習	舞台美術家の役割に関して理解する	舞台美術家の役割とは何か調べる									
5		講義・演習	舞台美術家の作業内容に関して理解する	舞台美術家のやる事とは何か調べる									
6		講義・演習	舞台美術の素材に関して理解する	素材とは何か調べる									
7		講義・演習	中間試験及び復習講義	講義の内容の復習をする									
8		講義・演習	日本の舞台美術のに関して理解する	日本家屋とは何か調べる									
9		講義・演習	日本の歌舞伎舞台のに関して理解する	歌舞伎とは何か調べる									
10		講義・演習	日本の舞台美術単位に関して理解する	日本の長さの単位を何か調べる									
11		講義・演習	日本の舞台美術の現在に関して理解する	現在の舞台デザインを調べる									
12		講義・演習	日本の舞台美術の将来に関して理解する	様々な舞台デザインを想像する									
13		講義・演習	後期テスト(筆記及び実技)	授業内容の復習									
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出									
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出									
準備学習 時間外学習		準備学習 各授業のテーマを調べて下さい 時間外学習 授業日の曜日に必ず復習して下さい □											
【使用教科書・教材・参考書】													
学内に有る全ての機材の使用													

科目名	舞台史(1)	必修選択	選択	年次	2	担当教員	北英樹
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業形態	講義	総時間(単位)	30 2単位		
教員の略歴							
授業の学習内容	紀元前からの舞台の歴史や、劇場、舞台美術について学びます。舞台スタッフとして最低限必要な教養を身につけ、また舞台美術の知識を通してイマジネイションを広げていきます。						
到達目標	舞台の歴史を知ることで、これから新しいイベント、舞台を創造しゆく知識を習得することができ、創造力豊かな舞台スタッフとしての人材を育成する。						
評価方法と基準	レポート課題 50% 実技試験 50%						

授業計画・内容							
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習	時間外学習(学習課題)		
1		講義	舞台の歴史について概要説明し、流れを理解する。	レポート提出			
2		講義	古代ギリシア演劇～中世～	古代ギリシア演劇についてグループ研究し、レポートにまとめる			
3		講義	古代ギリシア演劇を映像で鑑賞する	古代ギリシア演劇についてグループ研究し、レポートにまとめる			
4		講義	シェイクスピアの作品に触れる	シェイクスピア作品についてグループ研究し、レポートにまとめる			
5		講義	シェイクスピア演劇を映像で鑑賞する	シェイクスピア作品についてグループ研究し、レポートにまとめる			
6		講義	紀元前からの劇場について学ぶ	紀元前からの劇場について調べ、レポートにまとめる			
7		講義	ローマ時代の劇場について学ぶ	ローマ時代の劇場について調べ、レポートにまとめる			
8		講義	フランス演劇、スペイン演劇、ロシア演劇について学ぶ	フランス演劇、スペイン演劇、ロシア演劇について調べ、レポートにまとめる			
9		講義	フランスのシュールレアリズム演劇、ミュージカル演劇、ビンターについて学ぶ	フランスのシュールレアリズム演劇、ミュージカル演劇、ビンターについて調べ、レポートにまとめる			
10		講義	日本の古典演劇、能、狂言、歌舞伎、落語について学ぶ	能、狂言、歌舞伎、落語について調べ、レポートにまとめる			
11		講義	日本舞台史～近世①～(新派・新劇の登場)について学ぶ	新派・新劇について調べ、レポートにまとめる			
12		講義	日本舞台史～近世②～(宝塚歌劇団、松竹少女歌劇団)について学ぶ	宝塚歌劇団、松竹少女歌劇団について調べ、レポートにまとめる			
13		講義	日本舞台史～現代～(小劇場演劇、アングラ演劇)について学ぶ	小劇場演劇、アングラ演劇について調べ、レポートにまとめる			
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出			
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出			
準備学習 時間外学習		授業内容の復習をレポートにまとめる。					
【使用教科書・教材・参考書】							

科目名	舞台史(2)	必修選択	選択	年次	2	担当教員	北英樹
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業形態	講義	総時間(単位)	30 2単位		
教員の略歴							
授業の学習内容	紀元前からの舞台の歴史や、劇場、舞台美術について学びます。舞台スタッフとして最低限必要な教養を身につけ、また舞台美術の知識を通してイマジネイションを広げていきます。						
到達目標	舞台の歴史を知ることで、これから新しいイベント、舞台を創造しやすく知識を習得することができ、創造力豊かな舞台スタッフとしての人材を育成する。						
評価方法と基準	レポート課題 50% 実技試験 50%						

授業計画・内容							
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習	時間外学習(学習課題)		
1		講義・演習	オリエンテーション舞台史の授業内容を理解する	授業日時間を把握する舞台史とは何か調べる			
2		講義・演習	西洋の起源古代中世に関して理解する	古代を中世とは何か調べる			
3		講義・演習	西洋のルネッサンス期に関して理解する	ルネッサンス期とは何か調べる			
4		講義・演習	西洋の18世紀19世紀に関して理解する	18世紀19世紀とは何か調べる			
5		講義・演習	西洋の20世紀に関して理解する	20世紀とは何か調べる			
6		講義・演習	アメリカの舞台史に関して理解する	アメリカの歴史を調べる			
7		講義・演習	中間試験及び復習講義	講義の内容の復習をする			
8		講義・演習	日本の舞台史の起源に関して理解する	日本の歴史の起源を調べる			
9		講義・演習	日本の江戸時代に関して理解する	江戸時代とは何か調べる			
10		講義・演習	日本の明治時代に関して理解する	明治時代とは何か調べる			
11		講義・演習	日本の大正時代に関して理解する	大正時代とは何か調べる			
12		講義・演習	日本の昭和時代現代に関して理解する	昭和時代現代とは何か調べる			
13		講義・演習	テスト(筆記)	レポート提出			
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出			
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出			
準備学習 時間外学習		授業内容の復習をレポートにまとめる。					
【使用教科書・教材・参考書】							

科目名	チーム制作プロジェクトC(1)	必修選択	選択	年次	1,2	担当教員	大島直子
		授業形態					
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	演習		総時間(単位)	60 4単位		
教員の略歴							
授業の学習内容	<p>[1] ライブイベントの企画制作についての基礎知識を学習する [2] ライブイベントの実施開催を通じて、イベント(コンサート/ライブ他)企画の実施についての基礎知識を学習する [3] 企業とライブイベントの実施準備協業を通じて、イベント制作者としての必要な業務を体験学習する</p>						
到達目標	<p>[1] ライブイベントの企画制作を依頼されても対応できる基礎知識を習得する [2] ライブイベントの実施開催を通じて、イベント(コンサート/ライブ他)企画の実施時における様々な事象の対応力を習得する [3] 企業とライブイベントの実施準備協業を通じて、イベント制作者としての必要なレベルの実務力を習得する</p>						
評価方法と基準	<p>[1] 定期試験 ※筆記試験(評価割合 40%) [2] 受講態度 ※課題提出(評価割合 60%)</p>						

授業計画・内容							
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習	時間外学習(学習課題)		
1		演習	プロジェクトの進め方の概要説明	プロフィールシートの作成			
2		演習	ライブイベント実施に向けて(打合せ)を学ぶ	打合せ準備資料の作成			
3		演習	ライブイベント実施[CIVILIAN]現場での動きを学ぶ	イベント実施打合せ・イベント後の終了報告書記入			
4		演習	ライブイベント実施[Chuning Candy]1st現場での動きを学ぶ	イベント実施打合せ・イベント後の終了報告書記入			
5		演習	ライブイベント実施[Aoyama Project]1st・[QUEENS]1st現場での動きを学ぶ	イベント実施打合せ・イベント後の終了報告書記入			
6		演習	ライブイベントを記録する(映像収録とWEB)の制作を学ぶ	ライブ映像の編集処理			
7		演習	各ライブイベント実施に向けて(打合せ)を学ぶ	運営マニュアルの作成			
8		演習	各ライブイベント実施に向けて(打合せ)を学ぶ	イベント実施打合せ・イベント後の終了報告書記入			
9		演習	ライブイベント実施[SUN MUSIC GET LIVE]1st現場での動きを学ぶ	イベント実施打合せ・イベント後の終了報告書記入			
10		演習	ライブイベント実施[QUEENS]2nd現場での動きを学ぶ	イベント実施打合せ・イベント後の終了報告書記入			
11		演習	ライブイベント実施[Chuning Candy]2nd現場での動きを学ぶ	イベント実施打合せ・イベント後の終了報告書記入			
12		演習	ライブイベント実施[SUN MUSIC GET LIVE]2nd現場での動きを学ぶ	イベント実施打合せ・イベント後の終了報告書記入			
13		演習	ライブイベント実施[Pro Musician FES!]現場での動きを学ぶ	運営マニュアルの作成・読み合わせ			
14		実習	イベント・実戦を通して、達成感やチームワークを学ぶ	レポート提出			
15		実習	イベント・実戦を通して、達成感やチームワークを学ぶ	レポート提出			
準備学習 時間外学習							
【使用教科書・教材・参考書】							

科目名	チーム制作プロジェクトC(2)	必修選択	選択	年次	1,2	担当教員	大島直子
		授業形態					
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業形態	演習	総時間(単位)	60 4単位		
教員の略歴							
授業の学習内容	<p>[1] ライブイベントの企画制作についての基礎知識を学習する [2] ライブイベントの実施開催を通じて、イベント(コンサート/ライブ他)企画の実施についての基礎知識を学習する [3] 企業とライブイベントの実施準備協業を通じて、イベント制作者としての必要な業務を体験学習する</p>						
到達目標	<p>[1] ライブイベントの企画制作を依頼されても対応できる基礎知識を習得する [2] ライブイベントの実施開催を通じて、イベント(コンサート/ライブ他)企画の実施時における様々な事象の対応力を習得する [3] 企業とライブイベントの実施準備協業を通じて、イベント制作者としての必要なレベルの実務力を習得する</p>						
評価方法と基準	<p>[1] 定期試験 ※筆記試験(評価割合 40%) [2] 受講態度 ※課題提出(評価割合 60%)</p>						

授業計画・内容							
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習	時間外学習(学習課題)		
1		演習	活動方針設定会議の概要を学ぶ	会議資料準備			
2		演習	ライブイベント実施に向けて(打合せ)を学ぶ	打合せ準備資料の作成			
3		演習	ライブイベントの告知と準備を学ぶ	イベント実施打合せ・プロモーション			
4		演習	ライブイベント実施[Chuning Candy]現場での動きを学ぶ	イベント後の終了報告書記入			
5		演習	ライブイベント実施[Aoyama Project]現場での動きを学ぶ	イベント後の終了報告書記入			
6		演習	ライブイベント実施に向けて(打合せ)を学ぶ	ライブ映像の編集処理			
7		演習	ライブイベントの告知と準備を学ぶ	運営マニュアルの作成			
8		演習	ライブイベント実施[QUEENS]現場での動きを学ぶ	イベント実施打合せ・イベント後の終了報告書記入			
9		演習	ライブイベントの告知と準備を学ぶ	イベント実施打合せ・プロモーション			
10		演習	ライブイベント実施[SUN MUSIC GET LIVE]現場での動きを学ぶ	イベント後の終了報告書記入			
11		演習	ライブイベント実施[Chuning Candy]現場での動きを学ぶ	イベント後の終了報告書記入			
12		演習	ライブイベントの内容企画を学ぶ	企画書の作成・イベント企画打合せ			
13		演習	ライブイベントの告知と準備を学ぶ	運営マニュアルの作成			
14		実習	イベント・実戦を通して、達成感やチームワークを学ぶ	レポート提出			
15		実習	イベント・実戦を通して、達成感やチームワークを学ぶ	レポート提出			
準備学習 時間外学習							
【使用教科書・教材・参考書】							

科目名	コンサートテクニック(1) (楽器テクニシャンワークショップ(1))	必修選択	選択	年次	1	担当教員	水見博											
		授業形態																
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一																	
教員の略歴																		
授業の学習内容	楽器テクニシャンとして基礎、機材メンテナンス、現場における所作まで実習を伴い学習する。ドラムセットのセッティング、ギター、ベース、アンプなどの扱い方、電源の取り方、サウンドメイキングなどを学び、アーティストとの関わり方やマナーも身につけて即戦力を養う。																	
到達目標	楽器テクニシャンとして 学内でのライブイベント等の現場を経験し、対応力、コミュニケーション、機材メンテナンスなどの技術を身につけることで、楽器テクニシャンとしての職業選択を持たせ、アーティストから必要とされる知識、技術を身につけることが出来る。																	
評価方法と基準	実技試験50% 筆記試験50%																	

授業計画・内容							
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習	時間外学習(学習課題)		
1		演習	前期講義と楽器テクニシャンについての概要説明のオリエンテーションを行う。	スケジュールの調整と必要な道具、備品を揃える。			
2		演習	楽器、機材のメンテナンスリストの作成を学ぶ(1)	メンテナンス機材の選定をする。			
3		演習	楽器、機材のメンテナンスリストの作成を学ぶ(2)	メンテナンス機材の復旧確認をする。			
4		演習	学内イベントに向けて考査、考察(1)	イベント実施内容資料収集			
5		演習	学内イベントで現場に必要な知識と技術を学ぶ。	実施イベント資料の復習			
6		演習	学園祭楽器テクニシャン業務について考査する。	実施イベント資料に基づいての考察			
7		演習	学園祭反省会と終了報告書作成する。	実施イベント資料に基づいての考察			
8		演習	楽器、機材のメンテナンスリストの作成を学ぶ(3)	メンテナンス機材の選定			
9		演習	楽器、機材のメンテナンスリストの作成を学ぶ(4)	メンテナンス機材の復旧確認			
10		演習	ミュージカル明日への扉について考察する。	昨年実施資料の復習、今年度資料の考察			
11		演習	校内機材への深認識、再確認をし共有する。	校内機材の使用方向考察			
12		演習	学内イベントに向けて考査、考察(2)	イベント実施内容の収集と資料作成。			
13		演習	明日への扉で楽器テクニシャンスタッフの実践経験を積む。	明日への扉の資料作成と反省点をまとめる。			
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出			
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出			
準備学習 時間外学習			授業内容の復習レポート、イベントの打合せ、資料の作成をおこなう。				
【使用教科書・教材・参考書】							

科目名	コンサートテクニック(1) (映像企画制作(1))	必修選択	選択	年次	1	担当教員	笠原 良介
		授業形態					
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	演習	総時間(単位)	120 8単位			
教員の略歴							
授業の学習内容	映像表現に必要な知識・スキルを実際に制作しながら学ぶ						
到達目標	映像作品を制作するうえでの企画書の作成方法、ロケーションハンティング(ロケハン)、構成、撮影方法、許可申請を学び理解を深める						
評価方法と基準	制作物評価:20% 到達度テスト(実技):80% ・到達目標にあるアプリケーションの基本操作のチェック						

授業計画・内容					
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習	時間外学習(学習課題)
1		講義	オリエンテーション	自己紹介、シラバスの確認、	
2		講義	映像作品の企画制作とは	映像作品の企画制作に関するレポート作成	
3		講義	映像作品の構成について	映像作品の構成に関するレポート作成	
4		講義・演習	カットのつなぎについて	カットに関するレポート作成	
5		講義・演習	カメラワーク・イマジナリーラインについて	カメラワーク・イマジナリーラインに関するレポート作成	
6		講義・演習	映像制作における企画書について	企画書の作成	
7		講義・演習	台本作成について	台本の作成	
8		講義・演習	ロケーションハンティング(ロケハン)について	授業復習	
9		講義・演習	ロケーションハンティング(ロケハン)について	全2回のロケハンに関するレポート作成	
10		講義・演習	撮影許可の申請について	許可申請に関するレポート作成	
11		講義・演習	ロケハン時の準備について	ロケハンに行く場所をネットで検索しあらかじめまとめておく	
12		講義・演習	ロケハン①	校舎内でのロケハンスポットのまとめ	
13		講義・演習	ロケハン②	学校近隣でのロケハンスポットのまとめ	
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出	
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出	
準備学習 時間外学習		授業内容の復習レポート、イベントの打合せ、資料の作成をおこなう。			
【使用教科書・教材・参考書】					

科目名	コンサートテクニック(1) (機材メンテナンス(1))	必修選択	選択	年次	1	担当教員	東徹郎
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業形態	講義	総時間(単位)	30 2単位		
教員の略歴							
授業の学習内容	基礎的な工具の使い方やハンダづけなどを習得し、日頃使用する機材のメンテナンス方法を学ぶことで、機材に対する知識と愛情を深めていく。						
到達目標	学んだ知識と技術を基に、日常使用する機材の保守メンテナンスを自ら行えるようにする。						
評価方法と基準	筆記試験 50% 実技試験 50%						

授業計画・内容							
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習	時間外学習(学習課題)		
1		講義	工具の種類と用途を理解し、注意すべき点を把握する。	工具の種類と用途についての復習レポートを作成。			
2		講義	半田付け①下処理を学ぶ。	半田付けの下処理について復習レポートを作成。			
3		講義	半田付け②キャノンフォンとケーブルの半田付けを学ぶ。	キャノンフォンとケーブルの半田付けについて復習レポートを作成。			
4		講義	半田付け③プラグとケーブルの半田付けを学ぶ。	プラグとケーブルの半田付けについて復習レポートを作成。			
5		講義	半田付け④NL4の半田付けを学ぶ。	NL4の半田付けについて復習レポートを作成。			
6		講義	マイクロフォンのメンテナンス方法を学ぶ。	マイクロフォンのメンテナンス方法について復習レポートを作成。			
7		講義	マイクスタンドのメンテナンス方法を学ぶ。	マイクスタンドのメンテナンス方法について復習レポートを作成。			
8		講義	パワーアンプのメンテナンス方法を学ぶ。	パワーアンプのメンテナンス方法について復習レポートを作成。			
9		講義	ケーブル類のメンテナンスを学ぶ(1)	ケーブル類のメンテナンスについて復習レポートを作成。			
10		講義	ケーブル類のメンテナンスを学ぶ(2)	ケーブル類のメンテナンスについて復習レポートを作成。			
11		講義	デジタルミキサーのメンテナンスを学ぶ。	デジタルミキサーのメンテナンスについて復習レポートを作成。			
12		講義	デジタルデータの整理方法を学ぶ。	デジタルデータの整理方法について復習レポートを作成。			
13		講義	明日への扉で使用する音響機材のメンテナンスを事前に行なう。	メンテナンスした機材のリストを整理する。			
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出			
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出			
準備学習 時間外学習		授業内容についての復習レポートを作成し、学校のPA機材のメンテナンスを各自で行なう。					
【使用教科書・教材・参考書】							

科目名	コンサートテクニック(1) (イベントスタッフワーク(1))	必修選択	選択	年次	1	担当教員	大島直子
		授業形態					
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一		演習	総時間(単位)	60 4単位		
教員の略歴							
授業の学習内容	進級制作でもある「weareTSM渋谷!DA TOKYO!」のイベントにおける制作業務を学び、報告書の作成を学ぶ。1年間の集大成のイベントを各学科・コースや合同日(葛西校)を連携しながら、進行及び制作業務を行う。						
到達目標	各学科・コースの枠を超えて、イベントを新規で作り上げていく為のコミュニケーション能力を身につけることが出来る。 イベント本番の役割をシミュレーションし、事前準備の大切さや見やすい資料作成の基本を習得することが出来る。						
評価方法と基準	実技試験(イベントでの制作業務と作成された報告書を評価する。) 50% 資料作成のレポート提出を評価 50%						

授業計画・内容							
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習	時間外学習(学習課題)		
1		演習	「学園祭」「明日への扉」の概要を知り、舞台・制作・運営のチーム分け・演目担当分けを行う。各担当ごとに連絡先交換と各グループで挨拶をする。	今後1つのチームとして作業するため、授業以外でもコミュニケーションをとる意識を持つ。			
2		演習	「学園祭」の演目を理解する。「学園祭」の昨年の資料確認する。	データを管理し、いつでも見れる見せられる環境を整えておく。			
3		演習	舞台監督と制作の役割・内容を学ぶ。打合せ内容の共有をする。	授業内容について復習しレポートを作成。			
4		演習	各演目担当チームごとに、担当教務に挨拶に行く。打合せ内容の共有をする。	イベント資料を管理し、チームで共有する環境を整えておく。			
5		演習	各演目の現状確認(報告会)、昨年の反省点の確認・改善点を共有する。	※舞台・運営と合同ミーティング情報共有をする。			
6		演習	各演目の現状確認(報告会)、必要資料を作成する。制作チームごとにミーティングを行い、シーカーの使い方を学ぶ。	※舞台・運営と合同ミーティング情報共有をする。			
7		演習	「学園祭」の反省会、資料まとめを行う。「明日への扉」映像を見る。	イベント資料を管理し、次年度のために整理しておく。			
8		演習	「明日への扉」結団式にて主旨、目的を理解する。	結団式内容をレポートにまとめる。			
9		演習	「明日への扉」の舞台監督と制作の役割・内容説明と担当割り、スケジュール確認	資料作成。			
10		演習	「明日への扉」現状確認(報告会)、昨年の反省点の確認・改善点を共有する。稽古場のパミリを行う。	資料作成。			
11		演習	「明日への扉」台本読み、ト書きを学ぶ。 外部リハーサルに向けての資料作り・控室おさえを行う。	資料作成。			
12		演習	「明日への扉」の制作スタッフとして稽古に立会い、内容変更等情報共有する。	打合せ、資料等を完成させ、イベントの成功を目指す準備をしっかりと行なう。			
13		演習	「明日への扉」の舞台監督、制作スタッフとして本番を行う。	打合せ、資料等を完成させ、イベントの成功を目指す準備をしっかりと行なう。			
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出			
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出			
準備学習 時間外学習		授業内容についての復習レポートを作成し、学校のPA機材のメンテナンスを各自で行なう。					
【使用教科書・教材・参考書】							

科目名	コンサートテクニック(1) (楽器テクニシャンワークショップ(3))	必修選択	選択	年次	2	担当教員	水見博
		授業形態	演習	総時間(単位)	90 6単位		
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一						
教員の略歴							
授業の学習内容	楽器テクニシャンとして基礎、機材メンテナンス、現場における所作まで実習を伴い学習する。ドラムセットのセッティング、ギター、ベース、アンプなどの扱い方、電源の取り方、サウンドメイキングなどを学び、アーティストとの関わり方やマナーも身につけて即戦力を養う。						
到達目標	楽器テクニシャンとして 学内でのライブイベント等の現場を経験し、対応力、コミュニケーション、機材メンテナンスなどの技術を身につけることで、楽器テクニシャンとしての職業選択を持たせ、アーティストから必要とされる知識、技術を身につけることが出来る。						
評価方法と基準	実技試験50% 筆記試験50%						

授業計画・内容							
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習	時間外学習(学習課題)		
1		演習	前期講義と楽器テクニシャンについての概要説明のオリエンテーションを行う。	スケジュールの調整と必要な道具、備品を揃える。			
2		演習	楽器、機材のメンテナンスリストの作成を学ぶ(1)	メンテナンス機材の選定をする。			
3		演習	楽器、機材のメンテナンスリストの作成を学ぶ(2)	メンテナンス機材の復旧確認をする。			
4		演習	学内イベントに向けて考査、考察(1)	イベント実施内容資料収集			
5		演習	学内イベントで現場に必要な知識と技術を学ぶ。	実施イベント資料の復習			
6		演習	学園祭楽器テクニシャン業務について考査する。	実施イベント資料に基づいての考察			
7		演習	学園祭反省会と終了報告書作成する。	実施イベント資料に基づいての考察			
8		演習	楽器、機材のメンテナンスリストの作成を学ぶ(3)	メンテナンス機材の選定			
9		演習	楽器、機材のメンテナンスリストの作成を学ぶ(4)	メンテナンス機材の復旧確認			
10		演習	ミュージカル明日への扉について考察する。	昨年実施資料の復習、今年度資料の考察			
11		演習	校内機材への深認識、再確認をし共有する。	校内機材の使用方向考察			
12		演習	学内イベントに向けて考査、考察(2)	イベント実施内容の収集と資料作成。			
13		演習	明日への扉で楽器テクニシャンスタッフの実践経験を積む。	明日への扉の資料作成と反省点をまとめる。			
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出			
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出			
準備学習 時間外学習		授業内容の復習レポート、イベントの打合せ、資料の作成をおこなう。					
【使用教科書・教材・参考書】							

科目名	コンサートテクニック(1) (映像企画制作(3))	必修選択	選択	年次	2	担当教員	笠原 良介
		授業形態					
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一						
教員の略歴							
授業の学習内容	映像表現に必要な知識・スキルを実際に制作しながら学ぶ						
到達目標	映像作品を制作するうえでの企画書の作成方法、ロケーションハンティング(ロケハン)、構成、撮影方法、許可申請を学び理解を深める						
評価方法と基準	制作物評価:20% 到達度テスト(実技):80% ・到達目標にあるアプリケーションの基本操作のチェック						

授業計画・内容					
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習	時間外学習(学習課題)
1		講義	オリエンテーション	自己紹介、シラバスの確認、	
2		講義	映像作品の企画制作とは	映像作品の企画制作に関するレポート作成	
3		講義	映像作品の構成について	映像作品の構成に関するレポート作成	
4		講義・演習	カットのつなぎについて	カットに関するレポート作成	
5		講義・演習	カメラワーク・イマジナリーラインについて	カメラワーク・イマジナリーラインに関するレポート作成	
6		講義・演習	映像制作における企画書について	企画書の作成	
7		講義・演習	台本作成について	台本の作成	
8		講義・演習	ロケーションハンティング(ロケハン)について	授業復習	
9		講義・演習	ロケーションハンティング(ロケハン)について	全2回のロケハンに関するレポート作成	
10		講義・演習	撮影許可の申請について	許可申請に関するレポート作成	
11		講義・演習	ロケハン時の準備について	ロケハンに行く場所をネットで検索しあらかじめまとめておく	
12		講義・演習	ロケハン①	校舎内でのロケハンスポットのまとめ	
13		講義・演習	ロケハン②	学校近隣でのロケハンスポットのまとめ	
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出	
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出	
準備学習 時間外学習		授業内容の復習レポート、イベントの打合せ、資料の作成をおこなう。			
【使用教科書・教材・参考書】					

科目名	コンサートテクニック(1) (機材メンテナンス(3))	必修選択	選択	年次	2	担当教員	東徹郎
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業形態	講義	総時間(単位)	30 2単位		
教員の略歴							
授業の学習内容	基礎的な工具の使い方やハンダづけなどを習得し、日頃使用する機材のメンテナンス方法を学ぶことで、機材に対する知識と愛情を深めていく。						
到達目標	学んだ知識と技術を基に、日常使用する機材の保守メンテナンスを自ら行えるようにする。						
評価方法と基準	筆記試験 50% 実技試験 50%						

授業計画・内容							
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習	時間外学習(学習課題)		
1		講義	工具の種類と用途を理解し、注意すべき点を把握する。	工具の種類と用途についての復習レポートを作成。			
2		講義	半田付け①下処理を学ぶ。	半田付けの下処理について復習レポートを作成。			
3		講義	半田付け②キャノンフォンとケーブルの半田付けを学ぶ。	キャノンフォンとケーブルの半田付けについて復習レポートを作成。			
4		講義	半田付け③プラグとケーブルの半田付けを学ぶ。	プラグとケーブルの半田付けについて復習レポートを作成。			
5		講義	半田付け④NL4の半田付けを学ぶ。	NL4の半田付けについて復習レポートを作成。			
6		講義	マイクロフォンのメンテナンス方法を学ぶ。	マイクロフォンのメンテナンス方法について復習レポートを作成。			
7		講義	マイクスタンドのメンテナンス方法を学ぶ。	マイクスタンドのメンテナンス方法について復習レポートを作成。			
8		講義	パワーアンプのメンテナンス方法を学ぶ。	パワーアンプのメンテナンス方法について復習レポートを作成。			
9		講義	ケーブル類のメンテナンスを学ぶ(1)	ケーブル類のメンテナンスについて復習レポートを作成。			
10		講義	ケーブル類のメンテナンスを学ぶ(2)	ケーブル類のメンテナンスについて復習レポートを作成。			
11		講義	デジタルミキサーのメンテナンスを学ぶ。	デジタルミキサーのメンテナンスについて復習レポートを作成。			
12		講義	デジタルデータの整理方法を学ぶ。	デジタルデータの整理方法について復習レポートを作成。			
13		講義	明日への扉で使用する音響機材のメンテナンスを事前に行なう。	メンテナンスした機材のリストを整理する。			
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出			
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出			
準備学習 時間外学習		授業内容についての復習レポートを作成し、学校のPA機材のメンテナンスを各自で行なう。					
【使用教科書・教材・参考書】							

科目名	コンサートテクニック(1) (イベントスタッフワーク(3))	必修選択	選択	年次	2	担当教員	大島直子
		授業形態					
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一		演習	総時間(単位)	60 4単位		
教員の略歴							
授業の学習内容	進級制作でもある「weareTSM渋谷!DA TOKYO!」のイベントにおける制作業務を学び、報告書の作成を学ぶ。1年間の集大成のイベントを各学科・コースや合同日(葛西校)を連携しながら、進行及び制作業務を行う。						
到達目標	各学科・コースの枠を超えて、イベントを新規で作り上げていく為のコミュニケーション能力を身につけることが出来る。 イベント本番の役割をシミュレーションし、事前準備の大切さや見やすい資料作成の基本を習得することが出来る。						
評価方法と基準	実技試験(イベントでの制作業務と作成された報告書を評価する。) 50% 資料作成のレポート提出を評価 50%						

授業計画・内容							
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習	時間外学習(学習課題)		
1		演習	「学園祭」「明日への扉」の概要を知り、舞台・制作・運営のチーム分け・演目担当分けを行う。各担当ごとに連絡先交換と各グループで挨拶をする。	今後1つのチームとして作業するため、授業以外でもコミュニケーションをとる意識を持つ。			
2		演習	「学園祭」の演目を理解する。「学園祭の昨年の資料確認する。	データを管理し、いつでも見れる見せられる環境を整えておく。			
3		演習	舞台監督と制作の役割・内容を学ぶ。打合せ内容の共有をする。	授業内容について復習しレポートを作成。			
4		演習	各演目担当チームごとに、担当教務に挨拶に行く。打合せ内容の共有をする。	イベント資料を管理し、チームで共有する環境を整えておく。			
5		演習	各演目の現状確認(報告会)、昨年の反省点の確認・改善点を共有する。	※舞台・運営と合同ミーティング情報共有をする。			
6		演習	各演目の現状確認(報告会)、必要資料を作成する。制作チームごとにミーティングを行い、シーカーの使い方を学ぶ。	※舞台・運営と合同ミーティング情報共有をする。			
7		演習	「学園祭」の反省会、資料まとめを行う。「明日への扉」映像を見る。	イベント資料を管理し、次年度のために整理しておく。			
8		演習	「明日への扉」結団式にて主旨、目的を理解する。	結団式内容をレポートにまとめる。			
9		演習	「明日への扉」の舞台監督と制作の役割・内容説明と担当割り、スケジュール確認	資料作成。			
10		演習	「明日への扉」現状確認(報告会)、昨年の反省点の確認・改善点を共有する。稽古場のパミリを行う。	資料作成。			
11		演習	「明日への扉」台本読み、ト書きを学ぶ。 外部リハーサルに向けての資料作り・控室おさえを行う。	資料作成。			
12		演習	「明日への扉」の制作スタッフとして稽古に立会い、内容変更等情報共有する。	打合せ、資料等を完成させ、イベントの成功を目指す準備をしっかりと行なう。			
13		演習	「明日への扉」の舞台監督、制作スタッフとして本番を行う。	打合せ、資料等を完成させ、イベントの成功を目指す準備をしっかりと行なう。			
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出			
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出			
準備学習 時間外学習		授業内容についての復習レポートを作成し、学校のPA機材のメンテナンスを各自で行なう。					
【使用教科書・教材・参考書】							

科目名	コンサートテクニック(2) (楽器テクニシャンワークショップ(2))	必修選択	選択	年次	1	担当教員 水見博						
		授業形態	演習	総時間(単位)	90 6単位							
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	教員の略歴										
授業の学習内容	楽器テクニシャンとして基礎、機材メンテナンス、現場における所作まで実習を伴い学習する。ドラムセットのセッティング、ギター、ベース、アンプなどの扱い方、電源の取り方、サウンドメイキングなどを学び、アーティストとの関わり方やマナーも身につけて即戦力を養う。											
到達目標	楽器テクニシャンとして 学内でのライブイベント等の現場を経験し、対応力、コミュニケーション、機材メンテナンスなどの技術を身につけることが出来る、楽器テクニシャンとしての職業選択を持たせ、アーティストから必要とされる知識、技術を身につける。											
評価方法と基準	筆記試験 50% 実技試験 50%											

授業計画・内容						
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習	時間外学習(学習課題)	
1		演習	前期講義と楽器テクニシャンについての概要説明のオリエンテーションを行う。	スケジュールの調整と必要な道具、備品を揃える。		
2		演習	楽器、機材のメンテナンスリストの作成を学ぶ(5)	メンテナンス機材の選定をする。		
3		演習	楽器、機材のメンテナンスリストの作成を学ぶ(6)	メンテナンス機材の復旧を確認しておく。		
4		演習	学内イベントに向けて考査、考察(3)	イベント実施内容資料を収集する。		
5		演習	学内イベントに向けて考査、考察(4)	イベント実施内容資料を収集する。		
6		演習	学内イベントに向けて考査、考察(5)	イベント実施内容資料を収集する。		
7		演習	楽器、機材のメンテナンスリストの作成を学ぶ(7)	メンテナンス機材の選定をする。		
8		演習	楽器、機材のメンテナンスリストの作成を学ぶ(8)	メンテナンス機材の復旧を確認しておく。		
9		演習	WE ARE TSM渋谷への考察	昨年実施資料の復習、今年度資料の考察		
10		演習	WE ARE TSM渋谷リハーサルの準備、考察	昨年実施資料の復習、今年度資料の考察		
11		演習	WE ARE TSM渋谷リハーサルの準備、考察	昨年実施資料の復習、今年度資料の考察		
12		演習	WE ARE TSM渋谷外部ホールリハーサルの準備、考察	昨年実施資料の復習、今年度資料の考察		
13		演習	WE ARE TSM渋谷のスタッフとして現場実習を行う。	WE ARE TSM渋谷の打合せ、資料作成。		
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出		
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出		
準備学習 時間外学習		授業内容の復習レポート、イベントの打合せ、資料の作成をおこなう。				
【使用教科書・教材・参考書】						

科目名	コンサートテクニック(2) (映像企画制作(2))	必修選択	選択	年次	1	担当教員	笠原 良介
		授業形態					
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一						
教員の略歴							
授業の学習内容	映像表現に必要な知識・スキルを実際に制作しながら学ぶ						
到達目標	映像作品を制作するうえでの企画書の作成方法、Adobe Premiere Proの使用法、構成、撮影機材、撮影方法、編集の基本操作知識、理解						
評価方法と基準	制作物評価:20% 到達度テスト(実技):80% ・到達目標にあるアプリケーションの基本操作のチェック						

授業計画・内容							
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習	時間外学習(学習課題)		
1		講義	オリエンテーション	自己紹介、シラバスの確認、			
2		講義	映像表現基礎①映像表現の基本的な方法を学ぶ	レポートにて提出			
3		講義	映像表現基礎②映像表現の基本的な方法を学ぶ	レポートにて提出			
4		講義・演習	映像作品の企画書作成について①	テーマに基づき映像作品の企画書の作成			
5		講義・演習	映像作品の企画書作成について②	作成した企画書のブラッシュアップ			
6		講義・演習	作成した企画の発表	それぞれのメンバーがどのような映像作品制作するかの共有			
7		講義・演習	撮影技術について①映像を撮影する際に必要となる基本的知識を学ぶ	使用機材・撮影方法に関しての復習・事前学習			
8		講義・演習	撮影技術について②映像を撮影する際に必要となる基本的知識を学ぶ	使用機材・撮影方法に関しての復習・事前学習			
9		講義・演習	映像撮影①	企画書に基づき自身の映像作品の撮影			
10		講義・演習	映像撮影②	企画書に基づき自身の映像作品の撮影			
11		講義・演習	映像編集①Adobe premiereの基本的な使用方法を学ぶ	映像編集に関しての予習・復習			
12		講義・演習	映像編集②	撮影した映像の編集			
13		講義・演習	発表①	全員で全員の作品を見て評価を行う			
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出			
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出			
準備学習 時間外学習		授業内容の復習レポート、イベントの打合せ、資料の作成をおこなう。					
【使用教科書・教材・参考書】							

科目名	コンサートテクニック(2) (機材メンテナンス(2))	必修選択	選択	年次	1	担当教員	東徹郎
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業形態	講義	総時間(単位)	30 2単位		
教員の略歴							
授業の学習内容	基礎的な工具の使い方やハンドづけなどを習得し、日頃使用する機材のメンテナンス方法を学ぶことで、機材に対する知識と愛情を深めていく。						
到達目標	学んだ知識と技術を基に、日常使用する機材の保守メンテナンスを自ら行えるようにする。						
評価方法と基準	筆記試験 50% 実技試験 50%						

授業計画・内容							
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習	時間外学習(学習課題)		
1		講義	スピーカーのメンテナンス方法を学ぶ(1)	学内にあるスピーカーの状態を調べておく。			
2		講義	スピーカーのメンテナンス方法を学ぶ(2)	スピーカーの構造をあらためて復習する。			
3		講義	スピーカーのメンテナンス方法を学ぶ(3)	学内機材のメンテナンスを進めておく。			
4		講義	アナログミキサーのメンテナンスを学ぶ(1)	学内にあるアナログミキサーの状態を調べておく。			
5		講義	アナログミキサーのメンテナンスを学ぶ(2)	授業内容の復習レポートを作成する。			
6		講義	アナログミキサーのメンテナンスを学ぶ(3)	学内機材のメンテナンスを進めておく。			
7		講義	ワイヤレスシステムのトラブル対策を学ぶ(1)	学内にあるワイヤレスシステムの状態を調べておく。			
8		講義	ワイヤレスシステムのトラブル対策を学ぶ(2)	授業内容の復習レポートを作成する。			
9		講義	ワイヤレスシステムのトラブル対策を学ぶ(3)	学内機材のメンテナンスを進めておく。			
10		講義	We areで使用する機材のメンテナンスをする、(1)	学内にある機材の状態を調べる。			
11		講義	We areで使用する機材のメンテナンスをする、(2)	メンテナンスした機材のリストを整理する。			
12		講義	We areで使用する機材のメンテナンスをする、(3)	メンテナンスを各自進めておく。			
13		講義	We areで不具合の出た機材のメンテナンスをする。	イベント時に問題が起きた機材の情報をまとめておく。			
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出			
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出			
準備学習 時間外学習		授業内容についての復習レポートを作成し、学校のPA機材のメンテナンスを各自で行なう。					
【使用教科書・教材・参考書】							

科目名	コンサートテクニック(2) (イベントスタッフワーク(2))	必修選択	選択	年次	1	担当教員	大島直子
		授業形態					
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一				60 4単位		
教員の略歴							
授業の学習内容	2年生は卒業制作であり、「weareTSM渋谷!DA TOKYO!」のイベントにおける制作業務を学び、報告書の作成を学ぶ。1年間の集大成のイベントを各学科・コースや合同日(葛西校)を連携しながら、進行及び制作業務を行う。						
到達目標	各学科・コースの枠を超えて、イベントを新規で作り上げていく為のコミュニケーション能力を身につけることが出来る。 イベント本番の役割をシミュレーションし、事前準備の大切さや見やすい資料作成の基本を習得することが出来る。						
評価方法と基準	実技試験(イベントでの制作業務と作成された報告書を評価する。) 50% 資料作成のレポート提出を評価 50%						

授業計画・内容							
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習	時間外学習(学習課題)		
1		演習	「weareTSM渋谷!DA TOKYO!」の概要説明、舞台・制作・運営のチーム分け、演目担当分け、各担当ごとに連絡先交換と各グループで挨拶を行う。	今後1つのチームとして作業するため、授業以外でもコミュニケーションをとる意識を持つ。			
2		演習	「weareTSM渋谷!DA TOKYO!」の演目について理解する。	授業内容について復習しレポートを作成。			
3		演習	「weareTSM渋谷!DA TOKYO!」の昨年の映像確認し、内容を把握する。	映像データを管理し、いつでも見れる見せられる環境を整えておく。			
4		演習	「weareTSM渋谷!DA TOKYO!」の昨年の映像確認と舞台監督と制作の役割・内容を理解する。	映像データを管理し、いつでも見れる見せられる環境を整えておく。			
5		演習	各演目担当チームごとに、担当教務に挨拶にいく。	イベント資料を管理し、チームで共有する環境を整えておく。			
6		演習	各演目の現状確認(報告会)、昨年の反省点の確認・改善点を共有する。	申し送り事項について復習しレポートを作成。			
7		演習	各演目の現状確認(報告会)、昨年の反省点の確認・改善点を共有する。	※舞台・運営と合同ミーティング情報共有をする。			
8		演習	各演目の現状確認(報告会)、必要資料を作成する 制作チームごとにミーティングとシーバーの使い方を学ぶ。※資料の締め切り確認 ※葛西制作と顔合わせ	授業内容について復習しておく。			
9		演習	各演目の現状確認(報告会)、必要資料を作成する。リハーサルに向けての資料作り・控室おさえを行う。 ※資料の締め切り確認	資料作成。			
10		演習	各演目の現状確認(報告会)、必要資料を作成する。リハーサルに向けての資料作り・控室おさえを行う。 ※資料の締め切り確認	資料作成。			
11		演習	各演目の現状確認(報告会)、必要資料を作成する。リハーサルに向けての資料作り・控室おさえを行う。 ※資料の締め切り確認	資料作成。			
12		演習	「weareTSM渋谷!DA TOKYO!」の制作スタッフとしてイベントに取り組む。	打合せ、資料等を完成させ、イベントの成功を目指す準備をしっかり行なう。			
13		演習	「weareTSM渋谷!DA TOKYO!」の制作スタッフとしてイベントに取り組む。	打合せ、資料等を完成させ、イベントの成功を目指す準備をしっかり行なう。			
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出			
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出			
準備学習 時間外学習							
【使用教科書・教材・参考書】							

科目名	コンサートテクニック(2) (楽器テクニシャンワークショップ(4))	必修選択	選択	年次	2	担当教員	水見博								
		授業形態	演習	総時間(単位)	90 6単位										
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	教員の略歴													
授業の学習内容	楽器テクニシャンとして基礎、機材メンテナンス、現場における所作まで実習を伴い学習する。ドラムセットのセッティング、ギター、ベース、アンプなどの扱い方、電源の取り方、サウンドメイキングなどを学び、アーティストとの関わり方やマナーも身につけて即戦力を養う。														
到達目標	楽器テクニシャンとして 学内でのライブイベント等の現場を経験し、対応力、コミュニケーション、機材メンテナンスなどの技術を身につけることが出来る、楽器テクニシャンとしての職業選択を持たせ、アーティストから必要とされる知識、技術を身につける。														
評価方法と基準	筆記試験 50% 実技試験 50%														

授業計画・内容											
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習	時間外学習(学習課題)						
1		演習	前期講義と楽器テクニシャンについての概要説明のオリエンテーションを行う。	スケジュールの調整と必要な道具、備品を揃える。							
2		演習	楽器、機材のメンテナンスリストの作成を学ぶ(5)	メンテナンス機材の選定をする。							
3		演習	楽器、機材のメンテナンスリストの作成を学ぶ(6)	メンテナンス機材の復旧を確認しておく。							
4		演習	学内イベントに向けて考査、考察(3)	イベント実施内容資料を収集する。							
5		演習	学内イベントに向けて考査、考察(4)	イベント実施内容資料を収集する。							
6		演習	学内イベントに向けて考査、考察(5)	イベント実施内容資料を収集する。							
7		演習	楽器、機材のメンテナンスリストの作成を学ぶ(7)	メンテナンス機材の選定をする。							
8		演習	楽器、機材のメンテナンスリストの作成を学ぶ(8)	メンテナンス機材の復旧を確認しておく。							
9		演習	WE ARE TSM渋谷への考察	昨年実施資料の復習、今年度資料の考察							
10		演習	WE ARE TSM渋谷リハーサルの準備、考察	昨年実施資料の復習、今年度資料の考察							
11		演習	WE ARE TSM渋谷リハーサルの準備、考察	昨年実施資料の復習、今年度資料の考察							
12		演習	WE ARE TSM渋谷外部ホールリハーサルの準備、考察	昨年実施資料の復習、今年度資料の考察							
13		演習	WE ARE TSM渋谷のスタッフとして現場実習を行う。	WE ARE TSM渋谷の打合せ、資料作成。							
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出							
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出							
準備学習 時間外学習		授業内容の復習レポート、イベントの打合せ、資料の作成をおこなう。									
【使用教科書・教材・参考書】											

科目名	コンサートテクニック(2) (映像企画制作(4))	必修選択	選択	年次	2	担当教員 笠原 良介						
		授業形態	演習	総時間(単位)	120 8単位							
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一											
教員の略歴												
授業の学習内容	映像表現に必要な知識・スキルを実際に制作しながら学ぶ											
到達目標	映像作品を制作するうえでの企画書の作成方法、Adobe Premiere Proの使用法、構成、撮影機材、撮影方法、編集の基本操作知識、理解											
評価方法と基準	制作物評価:20% 到達度テスト(実技):80% ・到達目標にあるアプリケーションの基本操作のチェック											

授業計画・内容					
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習	時間外学習(学習課題)
1		講義	オリエンテーション	自己紹介、シラバスの確認、	
2		講義	映像表現基礎①映像表現の基本的な方法を学ぶ	レポートにて提出	
3		講義	映像表現基礎②映像表現の基本的な方法を学ぶ	レポートにて提出	
4		講義・演習	映像作品の企画書作成について①	テーマに基づき映像作品の企画書の作成	
5		講義・演習	映像作品の企画書作成について②	作成した企画書のブラッシュアップ	
6		講義・演習	作成した企画の発表	それぞれのメンバーがどのような映像作品制作するかの共有	
7		講義・演習	撮影技術について①映像を撮影する際に必要となる基本的知識を学ぶ	使用機材・撮影方法に関しての復習・事前学習	
8		講義・演習	撮影技術について②映像を撮影する際に必要となる基本的知識を学ぶ	使用機材・撮影方法に関しての復習・事前学習	
9		講義・演習	映像撮影①	企画書に基づき自身の映像作品の撮影	
10		講義・演習	映像撮影②	企画書に基づき自身の映像作品の撮影	
11		講義・演習	映像編集①Adobe premiereの基本的な使用方法を学ぶ	映像編集に関しての予習・復習	
12		講義・演習	映像編集②	撮影した映像の編集	
13		講義・演習	発表①	全員で全員の作品を見て評価を行う	
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出	
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出	
準備学習 時間外学習		授業内容の復習レポート、イベントの打合せ、資料の作成をおこなう。			
【使用教科書・教材・参考書】					

科目名	コンサートテクニック(2) (機材メンテナンス(4))	必修選択	選択	年次	2	担当教員 東徹郎						
		授業形態	講義	総時間(単位)	30 2単位							
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一											
教員の略歴												
授業の学習内容	基礎的な工具の使い方やハンドづけなどを習得し、日頃使用する機材のメンテナンス方法を学ぶことで、機材に対する知識と愛情を深めていく。											
到達目標	学んだ知識と技術を基に、日常使用する機材の保守メンテナンスを自ら行えるようにする。											
評価方法と基準	筆記試験 50% 実技試験 50%											

授業計画・内容					
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習	時間外学習(学習課題)
1		講義	スピーカーのメンテナンス方法を学ぶ(1)	学内にあるスピーカーの状態を調べておく。	
2		講義	スピーカーのメンテナンス方法を学ぶ(2)	スピーカーの構造をあらためて復習する。	
3		講義	スピーカーのメンテナンス方法を学ぶ(3)	学内機材のメンテナンスを進めておく。	
4		講義	アナログミキサーのメンテナンスを学ぶ(1)	学内にあるアナログミキサーの状態を調べておく。	
5		講義	アナログミキサーのメンテナンスを学ぶ(2)	授業内容の復習レポートを作成する。	
6		講義	アナログミキサーのメンテナンスを学ぶ(3)	学内機材のメンテナンスを進めておく。	
7		講義	ワイヤレスシステムのトラブル対策を学ぶ(1)	学内にあるワイヤレスシステムの状態を調べておく。	
8		講義	ワイヤレスシステムのトラブル対策を学ぶ(2)	授業内容の復習レポートを作成する。	
9		講義	ワイヤレスシステムのトラブル対策を学ぶ(3)	学内機材のメンテナンスを進めておく。	
10		講義	We areで使用する機材のメンテナンスをする、(1)	学内にある機材の状態を調べる。	
11		講義	We areで使用する機材のメンテナンスをする、(2)	メンテナンスした機材のリストを整理する。	
12		講義	We areで使用する機材のメンテナンスをする、(3)	メンテナンスを各自進めておく。	
13		講義	We areで不具合の出た機材のメンテナンスをする。	イベント時に問題が起きた機材の情報をまとめておく。	
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出	
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出	
準備学習 時間外学習		授業内容についての復習レポートを作成し、学校のPA機材のメンテナンスを各自で行なう。			
【使用教科書・教材・参考書】					

科目名	コンサートテクニック(2) (イベントスタッフワーク(4))	必修選択	選択	年次	2	担当教員	大島直子
		授業形態					
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一				60 4単位		
教員の略歴							
授業の学習内容	2年生は卒業制作であり、「weareTSM渋谷!DA TOKYO!」のイベントにおける制作業務を学び、報告書の作成を学ぶ。1年間の集大成のイベントを各学科・コースや合同日(葛西校)を連携しながら、進行及び制作業務を行う。						
到達目標	各学科・コースの枠を超えて、イベントを新規で作り上げていく為のコミュニケーション能力を身につけることが出来る。 イベント本番の役割をシミュレーションし、事前準備の大切さや見やすい資料作成の基本を習得することが出来る。						
評価方法と基準	実技試験(イベントでの制作業務と作成された報告書を評価する。) 50% 資料作成のレポート提出を評価 50%						

授業計画・内容							
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習	時間外学習(学習課題)		
1		演習	「weareTSM渋谷!DA TOKYO!」の概要説明、舞台・制作・運営のチーム分け、演目担当分け、各担当ごとに連絡先交換と各グループで挨拶を行う。	今後1つのチームとして作業するため、授業以外でもコミュニケーションをとる意識を持つ。			
2		演習	「weareTSM渋谷!DA TOKYO!」の演目について理解する。	授業内容について復習しレポートを作成。			
3		演習	「weareTSM渋谷!DA TOKYO!」の昨年の映像確認し、内容を把握する。	映像データを管理し、いつでも見れる見せられる環境を整えておく。			
4		演習	「weareTSM渋谷!DA TOKYO!」の昨年の映像確認と舞台監督と制作の役割・内容を理解する。	映像データを管理し、いつでも見れる見せられる環境を整えておく。			
5		演習	各演目担当チームごとに、担当教務に挨拶にいく。	イベント資料を管理し、チームで共有する環境を整えておく。			
6		演習	各演目の現状確認(報告会)、昨年の反省点の確認・改善点を共有する。	申し送り事項について復習しレポートを作成。			
7		演習	各演目の現状確認(報告会)、昨年の反省点の確認・改善点を共有する。	※舞台・運営と合同ミーティング情報共有をする。			
8		演習	各演目の現状確認(報告会)、必要資料を作成する 制作チームごとにミーティングとシーバーの使い方を学ぶ。※資料の締め切り確認 ※葛西制作と顔合わせ	授業内容について復習しておく。			
9		演習	各演目の現状確認(報告会)、必要資料を作成する。リハーサルに向けての資料作り・控室おさえを行う。 ※資料の締め切り確認	資料作成。			
10		演習	各演目の現状確認(報告会)、必要資料を作成する。リハーサルに向けての資料作り・控室おさえを行う。 ※資料の締め切り確認	資料作成。			
11		演習	各演目の現状確認(報告会)、必要資料を作成する。リハーサルに向けての資料作り・控室おさえを行う。 ※資料の締め切り確認	資料作成。			
12		演習	「weareTSM渋谷!DA TOKYO!」の制作スタッフとしてイベントに取り組む。	打合せ、資料等を完成させ、イベントの成功を目指す準備をしっかり行なう。			
13		演習	「weareTSM渋谷!DA TOKYO!」の制作スタッフとしてイベントに取り組む。	打合せ、資料等を完成させ、イベントの成功を目指す準備をしっかり行なう。			
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出			
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出			
準備学習 時間外学習							
【使用教科書・教材・参考書】							